Panasonic

取扱説明書

大便器

\New/ 節水キレイ洗浄

アラウーノV

A·La·Uno V



※写真は、便座「Newアラウーノ V専用トワレ」（別売）を組み合わせた場合です。

■品番一覧

タイプ		便器
床排水タイプ	手洗い付き	CH3010WST■(7)(L)
	手洗い無し	CH3010WS■(7)(L)
壁排水タイプ	手洗い付き	CH3010PWST
	手洗い無し	CH3010PWS

(7)：寒冷地仕様　(L)：タイル床仕様
■：アルファベットが入る場合があります

●オプション

便器洗浄リモコン	CH300S■
台輪	CH301Z（壁排水155タイプの場合必要）

目的に合わせてすばやく探す

よくあるご質問 3ページ
もくじ 3ページ
使いかた 8ページ
お手入れ 16ページ
凍結防止・トラブル対処 21ページ
故障かな？と思ったら 29ページ

このたびは、アラウーノをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■ **ご使用前に「安全上のご注意」（4 ～ 5ページ）を必ずお読みください。**
■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

お好きな便座を組み合わせれば、

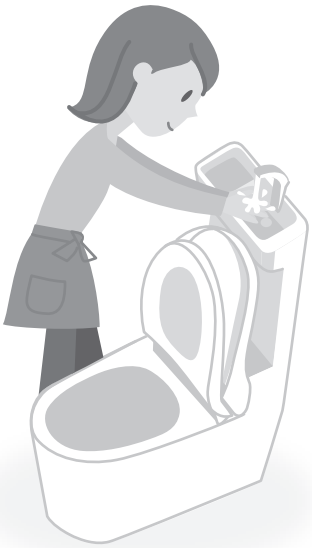
あなただけのトイレスタイル完成。

1 便座に座る

※便座の使いかたは、便座に付属の説明書を参照してください。



2 手洗い付きの場合 便器洗浄し、手を洗う



■便器洗浄［大］または［小］ボタンを押す

便器洗浄と同時に手洗い吐水口から吐水します。

※ご使用時の水圧によっては同時に使用することができません。

14ページ

※大便時は、便器洗浄［大］ボタンで便器洗浄してください。

手洗いのみの使用もできます

■［手洗い止 / 出］ボタンを押す

手洗い吐水口から吐水します。
再び［手洗い止 / 出］ボタンを押すと止まります。

だから使いやすい、もっとずっと使いやすい。



心も暮らしも
気持ちいい。

ひとふき形状
フラットデザイン

便器の凹凸が少なく、
すみずみまでふき取れます。
便器のフチ裏がないので
お掃除がひとふきです。

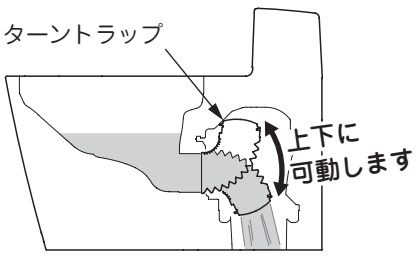
ボタンひとつで
便器水位調節

お手入れのときに
水位を下げることができます。
輪ジミのお掃除に便利です。

18ページ

静音・節水に優れた
ターントラップ洗浄方式

ターントラップが上下に可動し洗浄します。
従来の便器と比べ、節水･静音に優れています。



有機ガラス系
新素材

水アカがつきにくく
汚れをはじく新素材。
お掃除の手間を
軽減します。

独自の洗浄方法で
洗浄水を節約

ターントラップ洗浄方式で
1回あたりの洗浄水量が、
約4.6Lの節水タイプです。

製品に関する情報は、ホームページにて詳しくご紹介しています。住まいの設備と建材のサイト https://sumai.panasonic.jp/

手洗い無しの場合

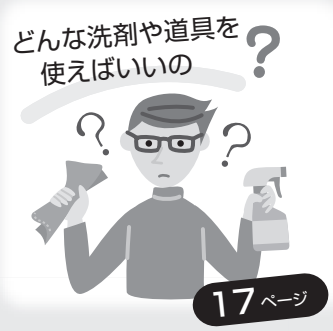
便器洗浄する

■ 便器洗浄 [大] または [小] ボタンを押す

※大便時は、便器洗浄 [大] ボタンで便器洗浄してください。



よくあるご質問



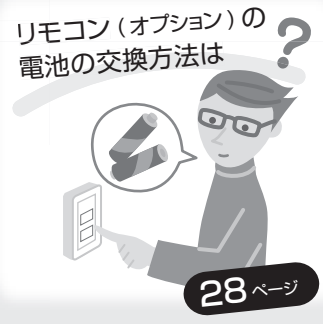
17ページ



8ページ



16ページ



28ページ



24ページ

29 ページの
「故障かな?と思ったら」も
ご参照ください。

もくじ

■ はじめに

● **製品のご紹介 2**
よくあるご質問 3
もくじ 3
● **安全上のご注意 4**
● **知っておいていただきたいこと 6**

■ 使いかた

● **各部のなまえ 8**
● **操作ボタンの使いかた 9**
● **準備する 10**
● **設定する 11**
便器洗浄時の手洗い吐水時間の変更 11
洗浄水量の変更 12
便器洗浄水の勢いが弱いとき 14

■ お手入れ

● **お手入れの前に 16**
汚れの種類や程度によるお掃除方法 16
台輪（オプション）をお掃除する 16
お手入れカレンダー 17
使用する洗剤と道具 17
● **お手入れする 18**
日常のお手入れ 18
月1回のお手入れ 18
便器水位ボタンの便利な使いかた 18
湿布法によるお掃除 19
ストレーナのお掃除 20

■ 凍結防止・トラブル対処

● **凍結を防ぐ 21**
● **水抜きをする（凍結防止・長期間使用しないとき） ... 22**
手洗い付きの場合 22
手洗い無しの場合 23
再び使用するときは 23
● **停電・断水したときの排水方法 24**
停電用ハンドルを回して排水する 24
水を注いで排水する 25
停電・断水が復旧したら 25
● **便器が詰まったとき 26**
停電用ハンドルを回して詰まりをとる 26
ラバーカップを使って詰まりをとる 27
● **リモコン（オプション）の電池が切れたら ... 28**

■ 故障かな？と思ったら

● **ご確認の流れ 29**

定格・仕様 31
便座交換について 31
定期的な点検のお願い（有料） 31
保証とアフターサービス ..... 裏表紙

安全上のご注意

◎人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図の記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

⃠ 禁止

便器・手洗いに関すること

- **分解したり、修理・改造をしない**
  修理はお買い上げの販売店にご相談ください。
- **浴室内など湿気の多い場所、水洗い洗浄ができる床に設置しない**
- **便器が破損したり、故障したまま使用しない**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **便器や便座、手洗いボール、吐水口に乗ったり、ぶら下がったり強い衝撃を加えない**
  製品の変形や破損(割れ)により、転倒し、けがの原因になります。
- **便器や手洗いの操作部に水や汚水･熱湯をかけない、また水がかかったまま使用しない**
  内部に電気部品を使用しています。
  感電・火災・けがの原因になります。

電気に関すること

- **電源プラグに水や汚水をかけない、また水がかかったまま使用しない**
- **ぬれた手で電源プラグを触らない**
- **傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない、また電源コードを曲げたり、破損するようなことをしない**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **電源プラグにほこりが付着したまま使用しない**
  ほこりが付着したまま使用すると火災の原因になります。

電池に関すること[リモコン(オプション)]

- **電池は誤った使い方をしない**
  - 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち込んだり保管しない。
  - 新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。
  - 加熱、分解したり、水、火の中に入れたりしない。

  取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。

❗ 必ず守る

電気に関すること

- **電源プラグは確実に根元まで差し込む**
  感電や火災の原因になります。
- **コンセントから電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持つ**
  コードを引っ張ると破損し、感電、ショート、発火の原因になります。
- **必ず交流100Vで使用する**
- **コンセントや配線器具は必ず定格内で使用する**
  たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電池に関すること[リモコン(オプション)]

- **電池は正しく取り扱う**
  - ⊕、⊖ は正しく入れる。
  - 長期間使用しないときは取り出しておく。
  - 乳幼児の手の届かないところにおく。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
  - 使い切った電池はすぐに器具から取り出す。
  - 電池を破棄する場合は、テープなどで絶縁する。
  - 液が体についたときはよく水で洗い流す。
  - 液が目に入ったときは、目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと医師に相談する。(失明のおそれがあります。)

  取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。万一液漏れが起こったら、販売店にご相談ください。



⚠注意

禁　止

便器・手洗いに関すること

- **便器・手洗いが、がたついたまま使用しない**
  水漏れや破損、転倒によるけがの原因になります。
- **便器・手洗いに固いものや重いもの、とがったものを落としたり、当てたりしない**
  変形・破損によるけがの原因になります。
- **便器や手洗いの上に重い物や割れ物を置かない**
- **手洗いにもたれかからない**
  破損によるけがの原因になります。
- **手洗いボール面に飾り物を置かない**
  手洗いボール・排水口が詰まり、手洗いから汚水があふれる原因となります。
- **便器にヒーターなどを近づけすぎない**
  便器の変形、破損によるけがや水漏れ、火災の原因になります。
  特にハロゲンヒータータイプの暖房器具は、便器から1m以上離してご使用ください。
- **便器にタバコを捨てない**
  破損によるけがや火災の原因になります。
- **手洗いに異物を流さない**
  便器が詰まり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。

凍結防止

- **不凍液を直接便器に入れない**
  便器の破損による水漏れの原因になります。
  不凍液を使用する場合は、便器内の溜め水を排水し、不凍液を入れたビニール袋で排水口をふさいでください。

水漏れの防止

- **給水ホースや排水管、吐水口などに力を加えない**
- **ホースを故意に折り曲げない**
- **給水ホースやナットに洗剤、薬品、芳香剤などをかけない**
- **ホースが傷ついていたり、ふくれている状態のまま使用しない**
- **水面から便器内部にホースや固いものなどを挿入しない**
  水漏れの原因になります。
- **止水栓を開いたままストレーナを外さない**
  水が噴き出し拡大損害になります。

禁　止

便器洗浄に関すること

- **便器に新聞紙やオムツ・生理用品、便器が詰まるようなものを流さない**
- **一度に大量のトイレットペーパーを流さない**
  便器が詰まり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。
- **便器や手洗いが詰まったまま続けて流さない**
  便器や手洗いから汚水があふれる原因になります。
- **便器洗浄中・手洗い吐水中に、便器吐水口や手洗い吐水口をブラシなどでふさがない**
  水漏れの原因になります。

お手入れに関すること

- **お手入れするときなどに電源コードを曲げない**
  コード内の芯線が切断し、異常発熱や発煙の原因になります。
- **便器のお手入れには下記洗剤を使用しない**
  製品が割れてけがをしたり、製品内部が露出し、感電の原因になります。
  【使用してはいけない洗剤】
  - 酸性洗剤
  - アルカリ性洗剤*1
  - 重曹、アルコールを含む洗剤*2
  - トイレ掃除用ペーパー*3
  - オレンジオイルを含む洗剤
  - 柑橘系の香りを有する洗剤
  - 消臭剤
  - 滴下するタイプの消臭液
  - 苛性ソーダや強塩酸などの薬品
  - シンナー、ベンジン、消毒薬、その他薬品

  *1：湿布法(19ページ参照)で行う場合は使用可能です。
  *2：エタノール、イソプロピルアルコールなど。
  *3：花王製トイレクイックルは使用可能です。
  （当社試験により確認済み）
- **便器に熱湯(約80℃以上)をかけない**
  便器が割れて、水漏れの原因になります。

必ず守る

凍結防止

- **凍結するおそれがある場合は、凍結防止(水抜きをし、凍結防止ヒータープラグをコンセントに差し込む)をする**
- **寒冷地以外の地域でも冬場周囲温度が0℃以下になる場合、下記の対策を実施する**
  - 止水栓、給水ホースに断熱材を巻く
  - 屋外配管、露出配管は、適切な凍結予防対策を施工業者に依頼する

  凍結すると配管、便器内部が破損して水漏れの原因となります。

水漏れの防止

- **ストレーナのねじ部に異物がないようにきれいに水洗いする**
- **ストレーナふたをしっかり締めつける**
  水漏れの原因になります。

知っておいていただきたいこと

使用上のご注意



服用する薬の種類によっては便の性状が変化し、排水経路が詰まりやすくなることがあります

- 配管清掃業者にご相談のうえ、定期的に排水経路の洗浄をしてください。

便器上ケース・手洗いボールのウェットエリアに、ハンドソープや芳香剤を置くことができます

- ワレモノや重いもの、不安定なものなど、落下したら危険なものは置かないでください。
- 上ケースの上にものを置く場合は、便ふたに当たらないよう大きさにご注意ください。大きいものを置くと便ふたが開いたときにあたって便ふたが傷ついたり、変形するおそれがあります。



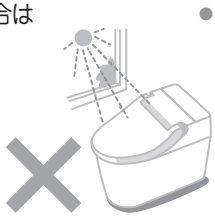
- アルコールを含む芳香剤は使えません。

大便時は「大洗浄」で洗浄してください

- 「小洗浄」で洗浄すると、十分な洗浄水量が得られないため、便やトイレットペーパーが便器洗浄面に残ったり、排水管が詰まることがあります。

直射日光や強いライトをあてないでください

- 直射日光があたる場合はカーテンなどで光を遮断してください。製品が変色したり劣化したりするおそれがあります。

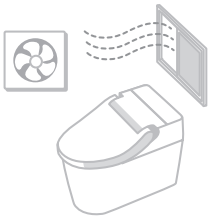


シリコーン配合のヘアケア製品などを多く使用する周囲環境では

- 洗浄不良(便器洗浄しない)などが起こる可能性があります。シリコーン配合のヘアケア製品などの使用量を減らしていただくか、トイレルーム以外での換気を十分に行ってください。

レンジフードなどの換気時は

- レンジフードなどの換気時に、トイレルーム内と排水管内との圧力差が生じない様、窓を開けるなど十分な給気を行ってください。
- 給気が不十分な場合、便器洗浄時に飛沫がかかったり排水管から臭いが逆流することがあります。



サイドカバーを外したまま使用しないでください

- 取り外したまま使用すると、サイドカバー内に直接光が入り、動作不良を起こす場合があります。

トイレ用芳香洗浄剤はご使用いただけません

- 手洗器の排水は便器洗浄面に排水されないため、市販のトイレ用芳香洗浄剤をお使いいただいても効果は得られません。



金属部に水や汚水がかかったまま、または結露したまま使用しないでください

- サイドカバーを外すと中に金属部品があります。
- 金属部に水や汚水がかかったまま使用すると、さびによる製品の損傷や汚れの原因になります。

手洗い部から出る水は、手洗いや清掃の水としてお使いください

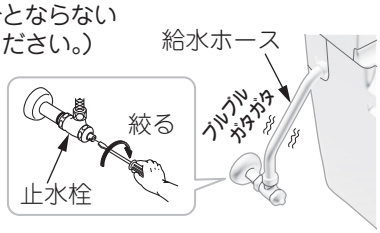
- 飲用には適していません。

故障ではありません



給水ホースが振動したら

- 便器洗浄中、給水ホースが振動したり、給水音が大きい場合があります。
  これは水道水圧が高いことによるもので、故障ではありません。
- この場合は、止水栓を絞ってください。
  (ただし止水栓を絞りすぎて洗浄性能が不十分とならないように注意してください。)



排水管で「ピタ」「ピチャ」などの音が発生する場合があります

- 便器洗浄後に便器の封水を確保するために、ターントラップの水が若干あふれる仕組みになっています。
- そのときに排水管で「ピタ」「ピチャ」などの音が発生する場合がありますが、異常ではありません。



便器洗浄時の音について

- 洗浄開始時や洗浄中は、水の吐出音や衝突音、「チョロチョロ」という流水音がしますが異常ではありません。



手洗い止水時の音について

- 使用水圧などによっては、手洗い吐水を止めたときに水撃作用(ウォーターハンマー)により「ドン」という衝撃音がすることがありますが異常ではありません。

知っておいていただきたいこと

使用水圧範囲は 0.05MPa(流動時) ～ 0.75MPa(静止時)です

- 水圧が足りない場合は、洗浄水が十分に流れず便器に汚物が残ったり、ため水が少なくなるおそれがあります。必ず使用水圧範囲内でご使用ください。
- 「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合の使用水圧範囲は、0.1MPa(流動時) ～ 0.75MPa(静止時)です。
- 使用水圧が0.05MPa ～ 0.75MPa(流動時)の場合、便器洗浄中に温水洗浄便座のおしり洗浄を行うと、おしり洗浄の水勢が弱くなることがあります。
- 上水道で加圧ポンプを使用している場合、便器洗浄の吐水が遅れる場合があります。

便器の耐荷重(着座時静荷重)は

- 便器の耐荷重(着座時静荷重)は100kgです。

便器の汚れについて

- 汚物の性質によっては、便器洗浄面に汚物が付着することがあり、便器洗浄時に洗い流せない場合があります。
- 便器は発生した微生物汚れ、カビは洗い流すことができません。汚れ発生時には定期的なお掃除が必要です。

温水洗浄便座の種類によるお願い

- 温水洗浄便座の種類によっては、便座と便器の接触部で摩擦音がしたり、便器が変色したり傷つくことがあります。

水の勢いについて



- キッチンなど他の蛇口が開いたり、便器洗浄と手洗いの水を同時に使用した場合、水の勢いが弱くなることがあります。
- 下記の場合は、便器洗浄と手洗い吐水のタイミングを変更してください。(14ページ参照)

①低水圧の地域での使用で、「便器洗浄と手洗い吐水が同時に行われる設定」において便器洗浄水の流れが弱い場合
②低水圧ランプが点滅している場合

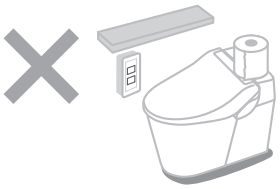
下記のような場合、リモコンが作動しにくいことがあります

- リモコン受光部・発光部に直射日光が当たっている。

  直射日光をカーテンなどで遮断してください。

- リモコン受光部・発光部の上に棚などの障害物がある。または、トイレットペーパーなどの物を置いている。

  障害物を取り除いてください。



- インバータ照明などでの特定の照明のもとでは、作動しにくいことがあります。

  照明を消すと正常に作動する場合は、照明器具の交換をご検討ください。

- 壁や天井の色が黒色である。

  黒色や濃い色の壁紙や天井の場合、リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。壁・天井の色の変更をご検討ください。

- 便器の受光部やリモコンの発光部にほこりがたまっている。

  定期的にお手入れしてください。

長期間(数か月)使用しない場合は



- ため水が蒸発し、排水管から腐食性のガスが流入して金属、電気部品にさびが発生するおそれがあります。

  ため水を足すか、ビニール袋に水を入れて排水口をふさいでください。(24ページ参照)

停電時は水はでません

上手な使いかた

男性も座って小便をしましょう

- 立小便をすると、小便が跳ねて、便器外へ飛び出すことがあります。
- 水跳ねを軽減させるため、男性も座って小用を足すことをお勧めします。



便器のため水や小便が跳ね返る場合があります

- ご使用されている方に便器のため水や小便が跳ね返る場合があります。
- 水の跳ね返りが気になる場合は、トイレットペーパーを水面に浮かべて、跳ね返りがやわらぐよう、クッション代わりにご使用ください。

手を洗うときは

- 周囲に水が飛び散らないように注意してください。
- 周囲に水がかかった場合はふき取ってください。

汚れの種類や程度によるお掃除方法について

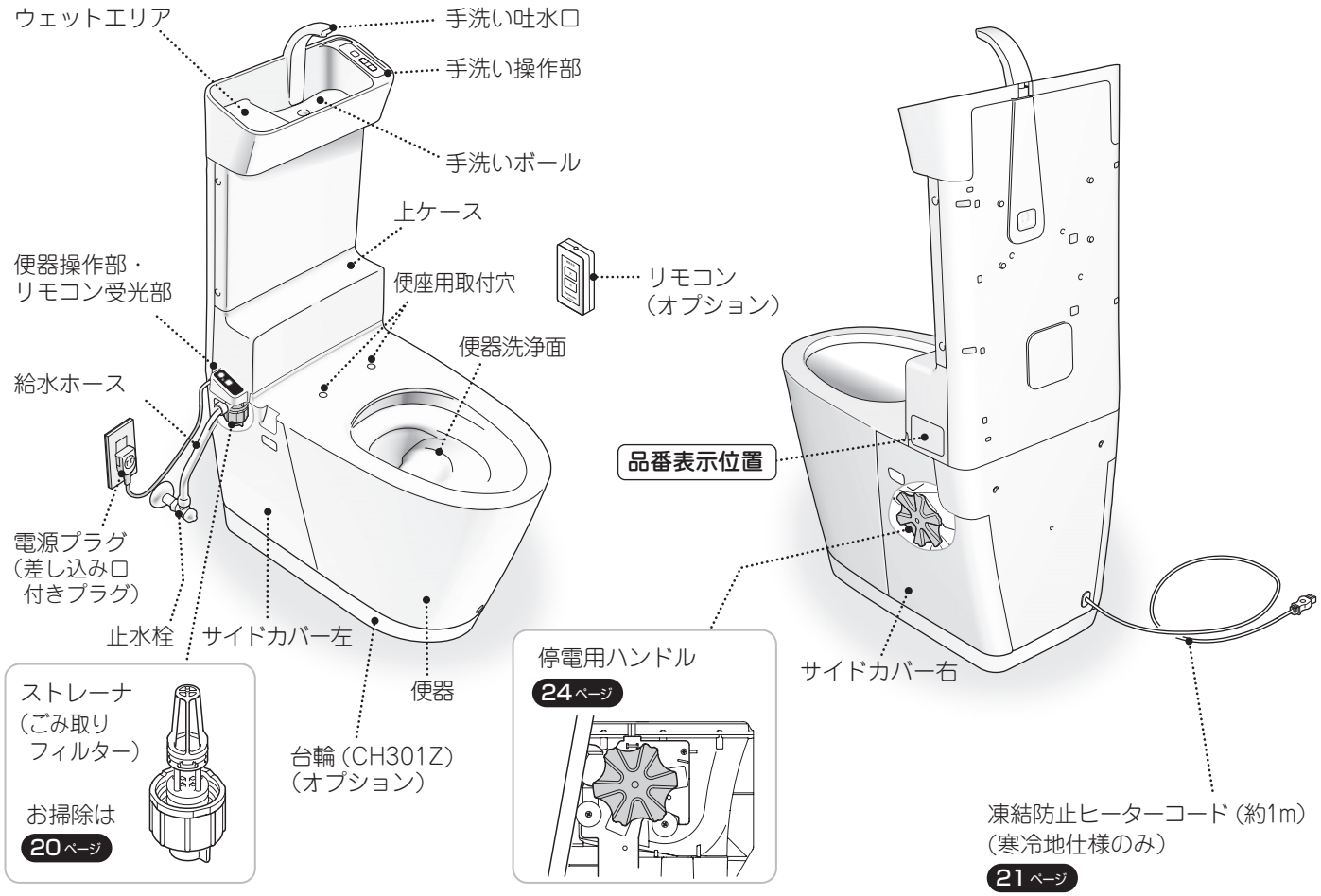
16 ページ

各部のなまえ

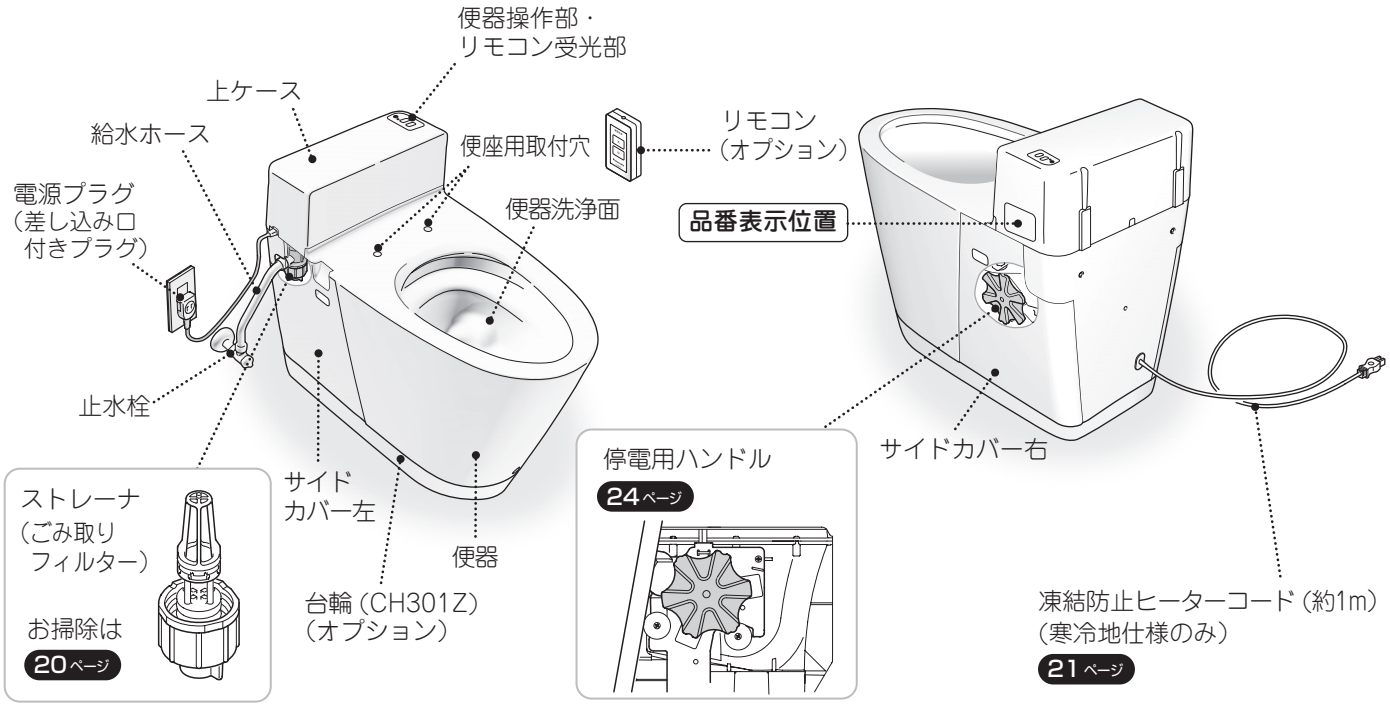
便座については便座に付属の
説明書をご覧ください。



手洗い付き



手洗い無し

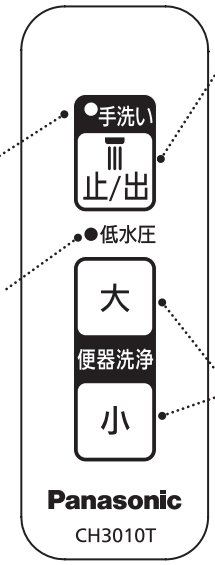


操作ボタンの使いかた

使いかたは
とてもシンプル
です。



手洗い付き・手洗い操作部



手洗い・止/出ボタン

手洗い吐水のみの操作ができます
（便器洗浄は行いません）

ボタンを押すと手洗い吐水口から吐水し、
もう一度押すと止水します

何も操作しなくても
1分経過すると自動で止水します
手洗い吐水中に便器洗浄をした場合は
「便器洗浄時の手洗い吐水時間」の
設定により自動で止水します

便器洗浄ボタン

便器洗浄を行い、同時に
手洗い吐水口から吐水します
大：大洗浄
小：小洗浄

低水圧ランプ点灯時は、
手洗いの吐水後に便器洗浄します

手洗いランプ

「便器洗浄時の手洗い吐水時間」の設定により点灯します

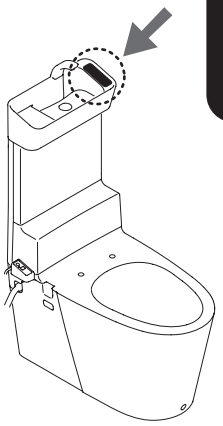
- 手洗い吐水時間：7秒･15秒のとき　→【点灯】
- 手洗い吐水時間：0秒のとき　→【消灯】

11ページ

低水圧ランプ

- 「便器洗浄と手洗い吐水が同時に行われる設定」のときで便器洗浄の水勢が弱い場合 →【点滅】
- 「手洗い吐水後に便器洗浄する設定」のとき　→【点灯】

14ページ



手洗い付き・便器操作部

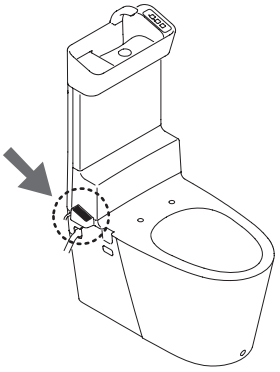


リモコン受光部

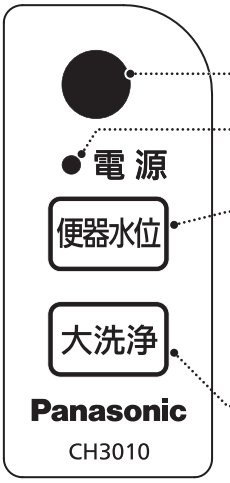
電源ランプ

便器水位ボタン 18ページ

便器水位を下げます
もう一度押すと、
便器洗浄され
水位が戻ります



手洗い無し・便器操作部



リモコン受光部

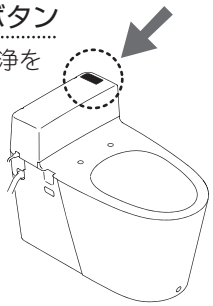
電源ランプ

便器水位ボタン 18ページ

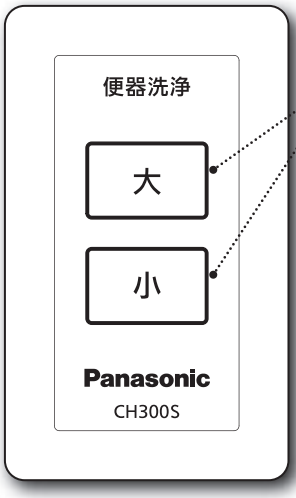
便器水位を下げます
もう一度押すと、
便器洗浄され
水位が戻ります

大洗浄ボタン

便器大洗浄を
行います



リモコン（オプション）



便器洗浄ボタン

大：大洗浄
小：小洗浄

手洗い付き

便器洗浄を行い、
手洗い吐水口から吐水します

低水圧ランプ点灯時は、
手洗いの吐水後に便器洗浄します

手洗い無し

便器洗浄を行います

※小洗浄の目安はトイレットペーパー3mまでです。
それ以上は大洗浄を行ってください。
配管の詰まりの原因となります。

※リモコンの効きが悪くなりましたら電池が切れている可能性があります。
その場合は新しい電池に交換してください。28ページ

準備する

さっそく
使ってみましょう。

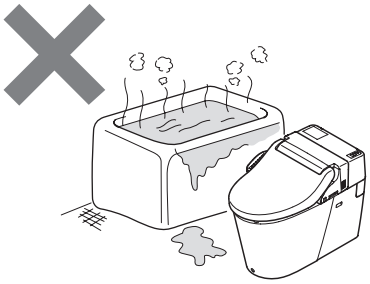


はじめて
使うとき

準備の流れ

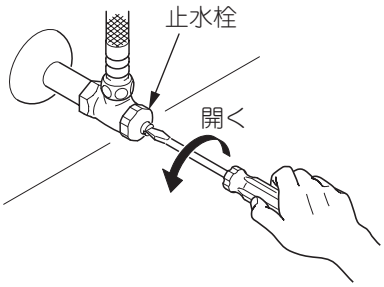
1 設置場所を確認する

- 浴室など湿気の多い場所では設置、使用できません。
  感電や火災の原因になります。



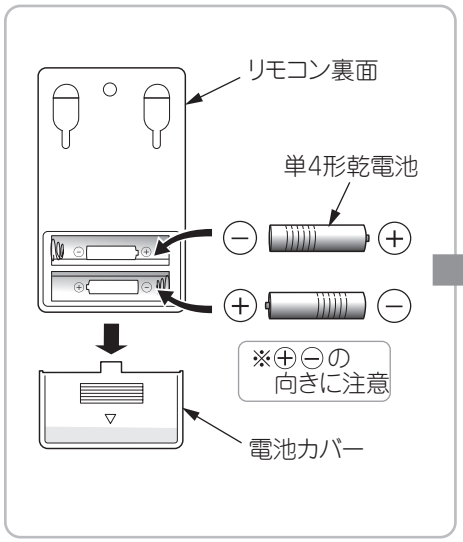
2 止水栓を開く

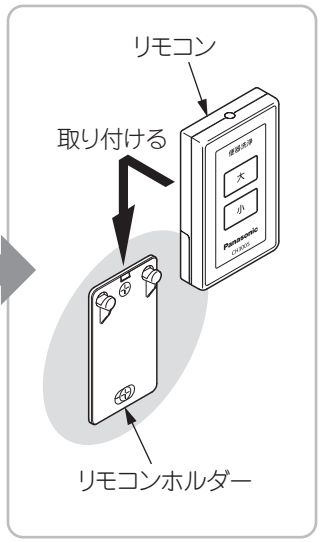
- 止水栓が閉じている場合は、開いてください。
- 水漏れはありませんか。もし水漏れがあれば、
  施工店にご相談ください。



3 リモコンに電池を入れ、リモコンホルダーに取り付ける（※リモコンはオプションです）

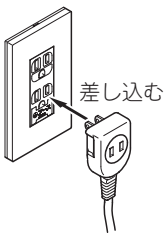
- 単4形乾電池を2個ご使用ください。
- 電池の⊕、⊖を正しく入れてください。
- 電池寿命は約1年です。交換するときには2個とも新しい単4形乾電池に交換してください。
- 4ページの「安全上のご注意」をご確認ください。





4 電源プラグをコンセントに差し込む

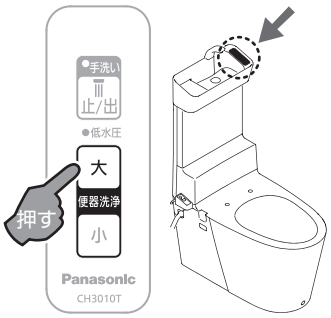
- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
- 「ピッ」と音がして、電源ランプが点灯します。



5 便器洗浄[大]ボタンを押し、便器に給水する

- 電源を入れた後、1回目の便器洗浄は、配管内の空気を抜くために通常よりも洗浄時間を長くしています。
  （手洗い吐水時間は設定時間通りです。手洗い吐水時間の変更方法は11ページで説明しています。）
  その際に「ピーピーピー」というブザー音がする場合がありますが故障ではありません。
  その場合、再び便器洗浄[大]ボタンを押し、給水してください。

手洗い付き



手洗い無し



リモコン（オプション）



使いかた

設定する

必要に応じて設定してください。
電源プラグを抜いた場合には、直前の設定が記憶されます。(停電時も同様です。)



設定 1 便器洗浄時の手洗い吐水時間の変更 手洗い付きのみ

出荷時

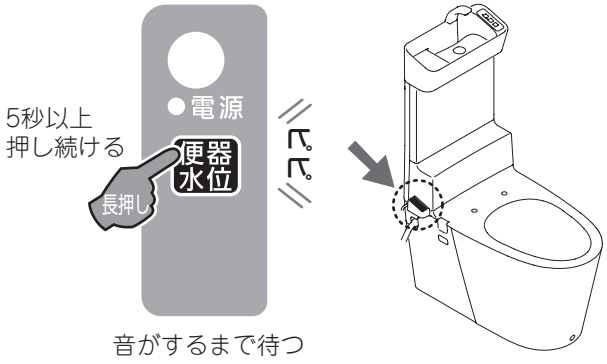
0秒 | 7秒 | 15秒

► 便器洗浄ボタンを押したときの手洗い吐水時間が変更できます。

● [手洗い止／出]ボタンを押したときの吐水時間の長さ(1分間)は変更できません。

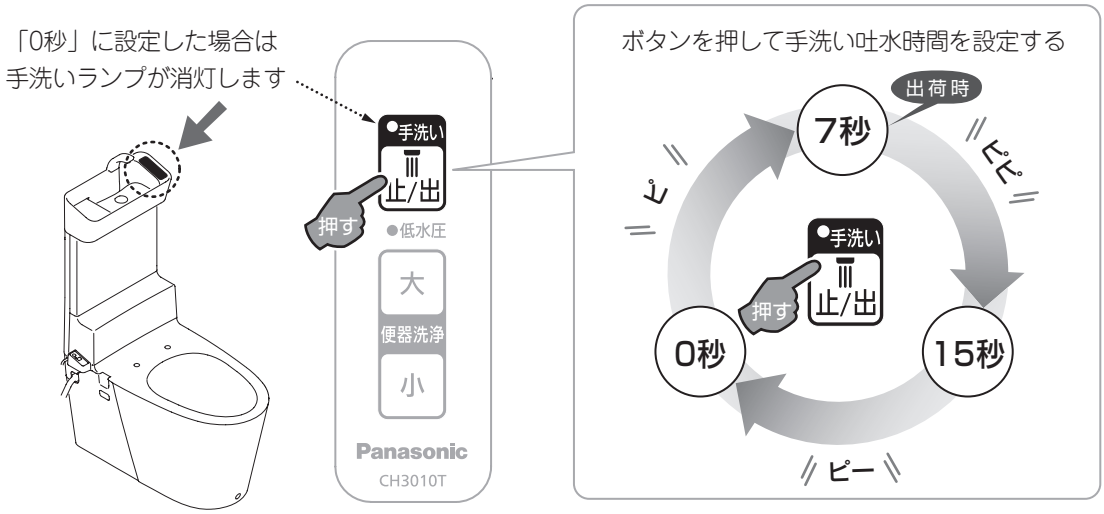
1 [便器水位]ボタンを5秒以上押し続け、設定変更モードにする

● [便器水位]ボタンを押すと「ピ」と音がします。そのままボタンを5秒以上押し続けると「ピピ」と音がして電源ランプが点滅し、設定変更モードになります。



2 手順 1 の後、10秒以内に [手洗い止／出]ボタンを押して、手洗い吐水時間を設定する

10秒以上放置すると設定変更ができなくなります。その場合は、便器洗浄ボタンを押して一度便器洗浄をした後、再び手順 1 からやり直してください。便器洗浄をしないと設定変更ができません。



3 設定を変更後、約10秒待つ、または[便器水位]ボタンを押してください

● 「ピー」と音がして、電源ランプが点灯に変わり、通常動作に戻ります。

・通常動作に戻らないと便器洗浄および手洗い吐水ができません。また便器水位を下げることができません。

設定
2

洗浄水量の変更

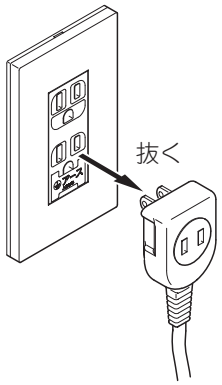
► 便器洗浄の水量が変更できます。

出荷時

標準 4.6L　増量 5.7L　増量 8L

- 下水管の設置条件が悪い(下水本管までの距離が長い、下水管の曲がり部が多い、下水管勾配が緩いなどの)場合、洗浄水量が少ないと汚物が下水管内で詰まるおそれがあります。その場合、洗浄水量を増量モードに変更してください。
(下水管の設置条件については、水道工事事業者(施工店)に確認してください。)
【注 : 増量モードにしても便器洗浄面の洗浄能力は変わりません】
- お住まいの自治体で便器の使用条件が決められている場合は、下水道局などの指示にしたがって、増量8Lモードに設定してご使用ください。

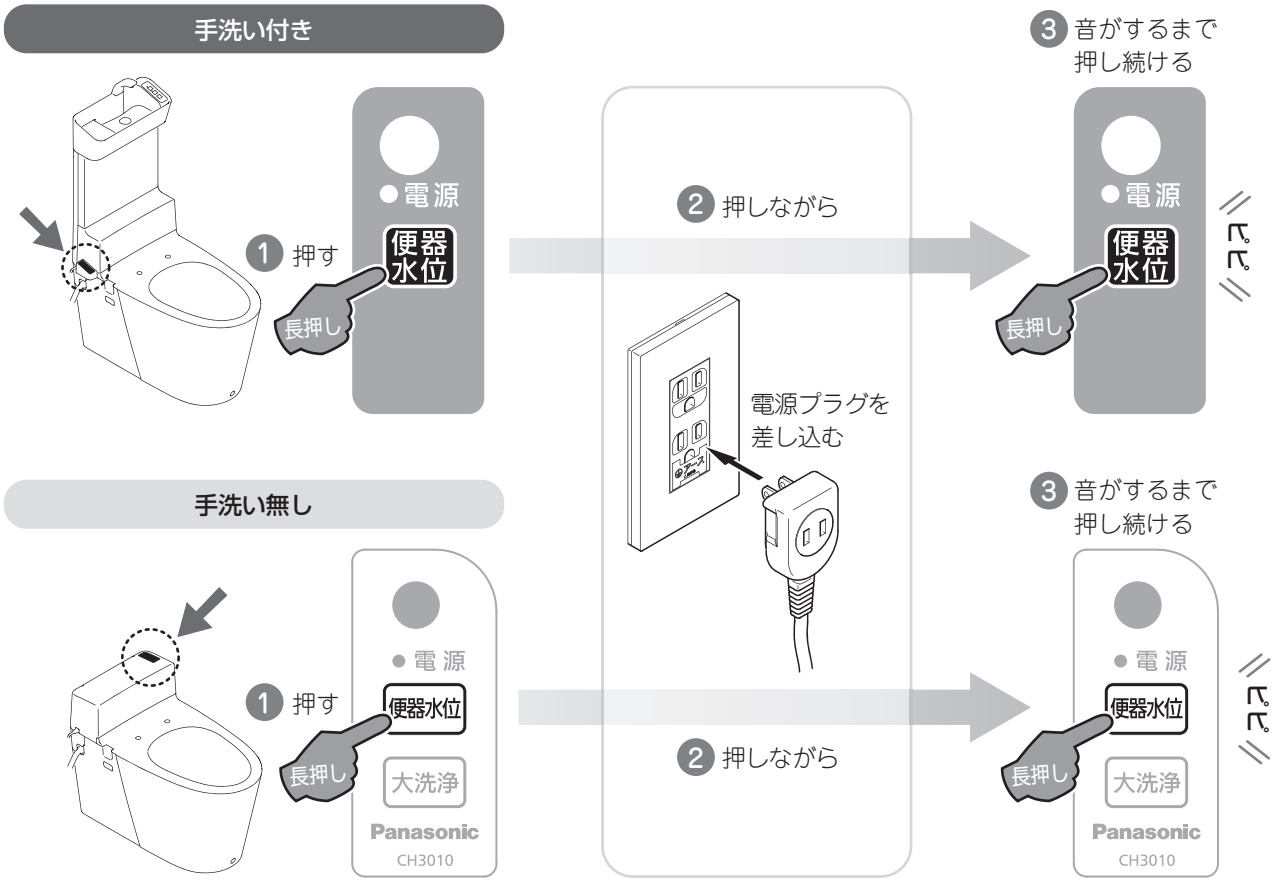
1 電源プラグをコンセントから抜く



2 10秒以上待つ

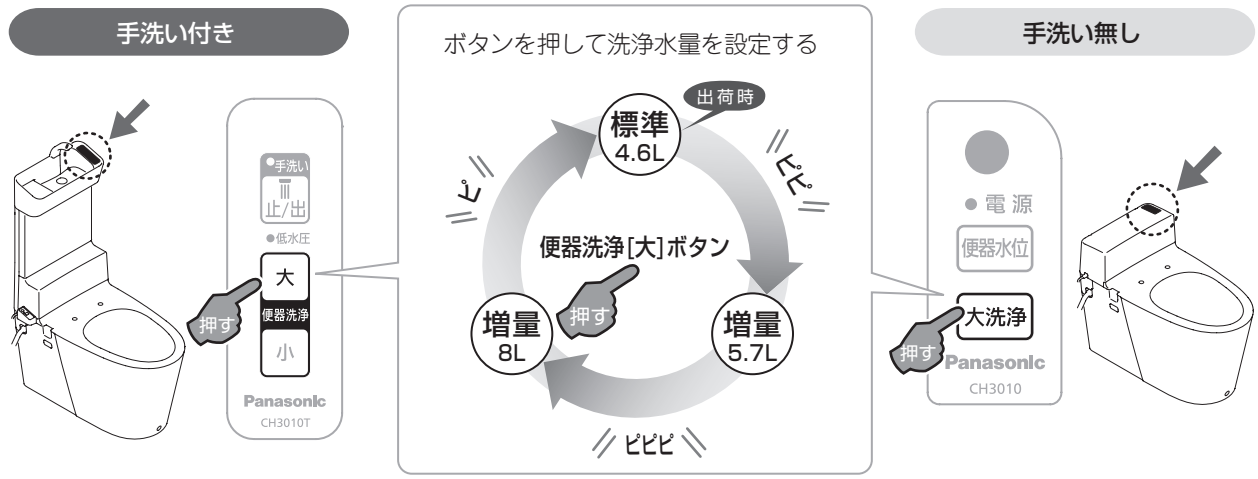
3 便器操作部の[便器水位]ボタンを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込み、設定変更モードにする

- [便器水位]ボタンを押し続けると「ピピ」と音がして設定変更モードになります。



4 手順 3 の後、10秒以内に 手洗い操作部または便器操作部の便器洗浄[大]ボタンを押して、洗浄水量を設定する

・10秒以上放置すると設定変更ができなくなります。その場合は再び手順 1 からやり直してください。
・リモコン(オプション)の[大]ボタンでは設定できません。



5 設定を変更後、約10秒待つ

●「ピー」と音がして、電源ランプが点灯に変わり、通常動作に戻ります。

・通常動作に戻らないと便器洗浄および手洗い吐水ができません。また便器水位を下げることができません。

こんなときには

便器洗浄水の勢いが弱いとき 手洗い付きのみ

● 止水栓が全開になっていることをあらかじめご確認ください。

■ 下記の場合は、「手洗い吐水後に便器洗浄をする設定」に変更してください。

出荷時は「便器洗浄と手洗い吐水が同時に行われる設定」になっています。

- **便器洗浄水の勢いが弱く、便器洗浄水が1周回らないとき**
- **低水圧ランプが点滅するとき**

設定を変更しても
便器洗浄水が1周回らないときは、
水圧が不足しています。
水圧をご確認ください。 7 ページ

低水圧ランプが
点滅するとき





■ 便器洗浄ボタンを押したときの動作の違い

手洗い付き



どちらかのボタンを押すと

リモコン（オプション）



どちらかのボタンを押すと

■便器洗浄と手洗い吐水のタイミング

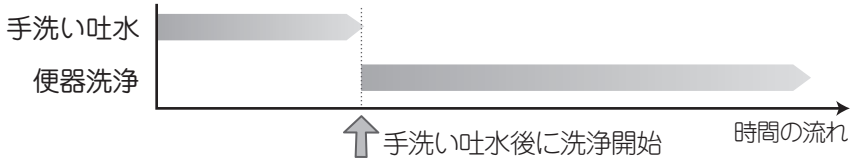
便器洗浄と手洗い吐水が同時に行われる設定

便器洗浄ボタンを押すと



手洗い吐水後に便器洗浄をする設定

便器洗浄ボタンを押すと



■ 設定しないと・・・

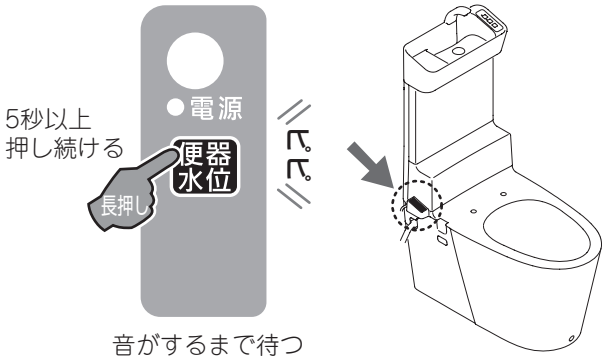
● 設定しないと十分な洗浄水量が得られないため、
便やトイレットペーパーが便器洗浄面に残ったり、排水管が詰まることがあります。



設定の変更方法

1 [便器水位]ボタンを5秒以上押し続け、設定変更モードにする

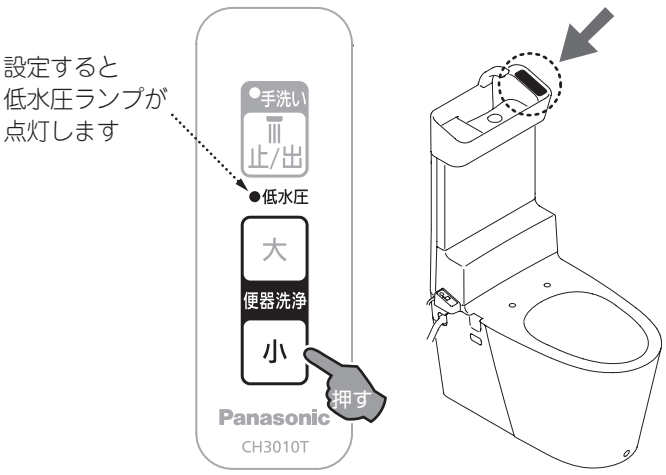
- [便器水位]ボタンを押すと「ピ」と音がします。そのままボタンを5秒以上押し続けると「ピピ」と音がして電源ランプが点滅し、設定変更モードになります。



2 手順 1 の後、10秒以内に便器洗浄[小]ボタンを押す

- 便器洗浄[小]ボタンを押すと「ピ」と音がして、低水圧ランプが点灯し、「手洗い吐水後に便器洗浄する設定」に変更されます。

・10秒以上放置すると設定変更ができなくなります。その場合は、便器洗浄ボタンを押して一度便器洗浄をした後、再び手順 1 からやり直してください。便器洗浄をしないと設定変更ができません。
・リモコン(オプション)の[小] ボタンでは設定できません。



3 設定を変更後、約10秒待つ、または[便器水位]ボタンを押す

- 「ピー」と音がして、電源ランプが点灯に変わり、通常動作に戻ります。

・通常動作に戻らないと便器洗浄および手洗い吐水ができません。また便器水位を下げることができません。

4 元に戻したい場合は、再び 1 ～ 3 と同じ手順を行う

- 「ピー」と音がして、「便器洗浄と手洗い吐水が同時に行われる設定」に変更され、低水圧ランプが消灯します。

お手入れの前に

お手入れ時の注意事項や、
効率的なお手入れのために
知っておいていただきたい
ことをご紹介しています。



汚れの種類や程度によるお掃除方法

- 汚れの種類にあわせたお手入れ方法で行えば、もっとラクになります。
- 便座のお手入れ方法は、便座に付属の説明書をご覧ください。

赤・ピンク・黄色・茶かっ色汚れ

場所 便器のため水面
手洗いボール
便器や床

原因 バクテリア

空気中に存在する
バクテリア類の細菌で
水温や水質などの特定の
条件下で繁殖します。

尿による汚れ

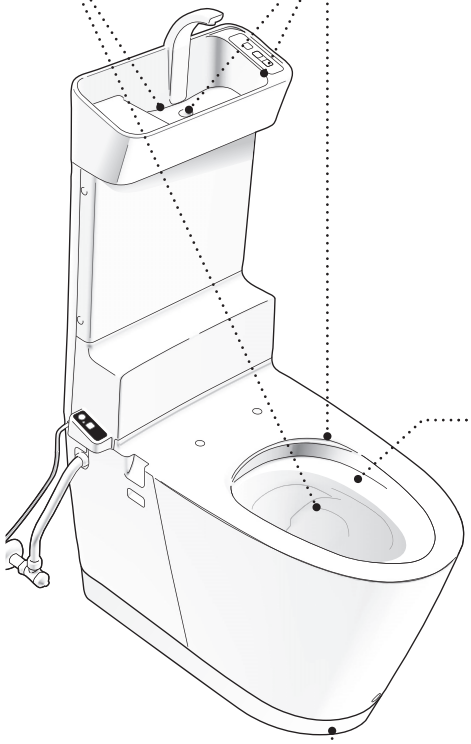
お手入れ方法

早めに

・トイレ用洗剤(中性)と柔らかい布で落としましょう。
・ガンコな汚れは、漂白剤を使った湿布法（19ページ）で落としましょう。

洗剤と道具





台輪（CH301Z）
（オプション）

黒い汚れ

場所 便器・手洗いのふち
手洗い排水口

原因 カビによる汚れ

お手入れ方法

早めに

・トイレ用洗剤（中性）や、柔らかい布で落としましょう。
・ガンコな汚れは、漂白剤を使った湿布法（19ページ）で落としましょう。
・手洗い排水口の汚れは18ページの方法で落としましょう。

洗剤と道具



バリウム（医療用造影剤）

場所 便器

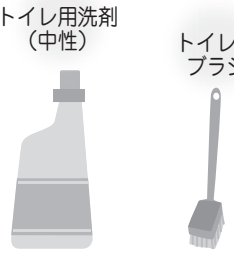
原因 バリウムによる汚れ

お手入れ方法

早めに

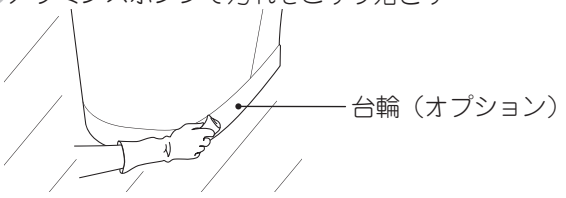
トイレ用洗剤（中性）とトイレ用ブラシで落としましょう。

洗剤と道具



汚れが気になったら　台輪（オプション）をお掃除する

●メラミンスポンジで汚れをこすり落とす



お願い

- **メラミンスポンジは、台輪以外では使用しない**
  傷の原因となります。



■お手入れに関する情報はホームページでも詳しくご紹介しています。

住まいの設備と建材のサイト
https://sumai.panasonic.jp/

住まいと暮らしの総合サイト「すむすむ」
https://sumai.panasonic.jp/sumu2/

お手入れカレンダー

● 汚れすぎてからではお掃除が大変！使用頻度や汚れ具合に応じたスケジュールで効率的にお手入れしましょう。

	日常	月1回	状況に応じて
便器（内側）	ブラシ洗い		ガンコな汚れを湿布法で落とす（19ページ）
便器（外側）	水ぶき（床も水ぶき）		
手洗い	外側・手洗いボール内側・手洗い吐水口を水ぶき	手洗い排水口をお掃除	
ストレーナ			水の出が悪ければ掃除する（20ページ）
電源プラグ		ほこりをお掃除	



使用する洗剤と道具

● 洗剤や道具を正しく選べば、製品を傷つけずにキレイが長持ちします。

トイレ用洗剤（中性）	トイレ用ブラシ	トイレ用漂白剤	歯ブラシ	柔らかい布
				
日常の汚れを落とします。	PP（ポリプロピレン）製 ※研磨剤入りやナイロンブラシは使用できません。傷の原因になります。	カビなどの黒ずみや黄ばみを落とします。 ※湿布法（19ページ）でお手入れを行う場合のみ使用可能です。	細部のお手入れに便利です。	使い古したTシャツや柔らかいタオルぞうきんなどをご用意ください。

● アラウーノフォーム、台所用合成洗剤（中性）は薄めることで拭き掃除に使用できます。

⚠注意

禁　止

● **便器のお手入れには下記洗剤を使用しない**
製品が割れてけがをしたり、製品内部が露出し、感電の原因になります。

【使用してはいけない洗剤】

- **酸性**
- **アルカリ性洗剤**＊1
- **重曹、アルコールを含む洗剤**＊2
- **トイレ掃除用ペーパー**＊3
- **オレンジオイルを含む洗剤**
- **柑橘系の香りを有する洗剤**
- **消臭剤**
- **滴下するタイプの消臭液**
- **苛性ソーダや強塩酸などの薬品**
- **シンナー、ベンジン、消毒薬、その他薬品**



＊1…湿布法（19ページ参照）で行う場合は使用可能です。
＊2…エタノール、イソプロピルアルコールなど
＊3…花王製トイレクイックルは使用可能です。（当社試験により確認済み）

お願い

- **金属部に水や汚水がかかったまま、または結露したまま使用しない**
- **金属部に洗剤を使用しない**
さびによる製品の損傷や汚れの原因になります。
- **研磨剤の入っているトイレ用ブラシやナイロンたわしおよび洗剤は使用しない**
製品の損傷の原因になります。

お手入れする

汚れを放っておくと、悪臭の原因になったり、ガンコな汚れになります。こまめなお掃除がキレイのコツです。



日常　ブラシ洗い・水ぶきする

1 便器の外側・手洗いの外側と床を柔らかい布で水ぶきする

- トイレ掃除用ペーパーを使用しないでください。

※花王製トイレクイックルはご使用いただけます。(当社試験により確認済み)

2 便器内をトイレ用ブラシで水洗いする

- PP（ポリプロピレン)製で研磨剤の入っていないブラシをご使用ください。
- 研磨剤入りナイロンたわしは、器具の表面を傷つけますので、絶対に使用しないでください。

3 手洗いボール内側、手洗い吐水口を柔らかい布で水ぶきする

- トイレ掃除用ペーパーを使用しないでください。

※花王製トイレクイックルはご使用いただけます。(当社試験により確認済み)

月1回　ほこりをお掃除する

1 電源プラグ・コンセントにほこりがついていたら乾いた布でふき取る

- 放置しておくと火災の原因になります。
- お手入れのときには必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



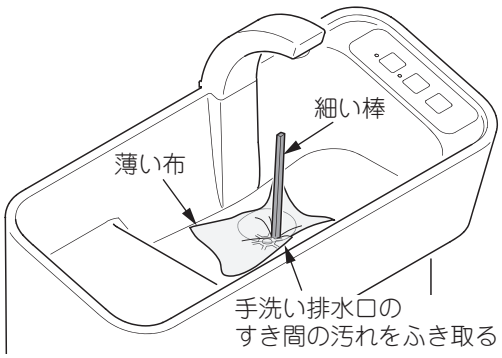
手洗い排水口をお掃除する　手洗い付きのみ

- 薄い布と細い棒(割りばしなど)を用意してください。

1 手洗い排水口に薄い布をかぶせる

2 手洗い排水口の格子のすき間に、細い棒(割りばしなど)を差し込んで汚れをふき取る

- 細い棒を格子内に落とさないようにご注意ください。



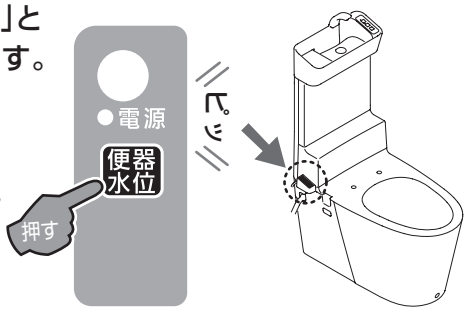
便器水位ボタンの便利な使いかた

■ **輪ジミのお手入れに便利です。**

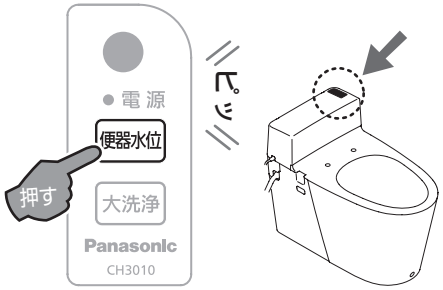
■ **[便器水位]ボタンを押すと「ピッ」と音がして便器水位が下がります。**

- 便器水位を元に戻すには、便器洗浄ボタンまたは[便器水位]ボタンを押してください。便器洗浄され、元の水位に戻ります。
- 何も操作しなくても、20分以上経過すると自動的に便器洗浄され、元の水位に戻ります。

手洗い付き



手洗い無し



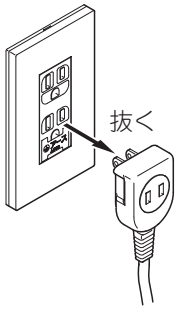
ガンコな汚れには

湿布法によるお掃除

- 浄化槽※をご使用の場合は湿布法に使用したトイレットペーパーを流さないでください。
- まわりをよくふいて、漂白剤がなるべく浄化槽※へ流れないようにしてください。

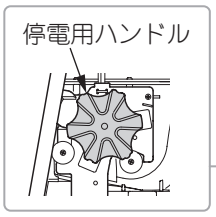
※単独浄化槽（し尿のみ）の場合。合併浄化槽（し尿および生活排水）や下水道は除く。

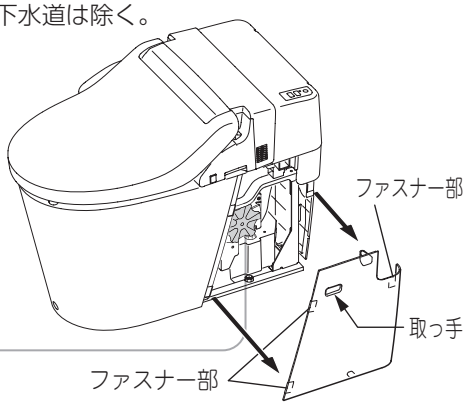
1 電源プラグをコンセントから抜く



2 サイドカバー右を外す

- サイドカバーの取っ手部分を持って引っぱってください。



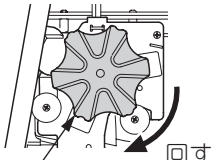


3 停電用ハンドルを時計回りに回す

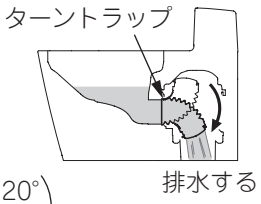
（床排水：約120°・壁排水：約80°）

- ターントラップが下を向き便器洗浄面の水を排水します。

ハンドルを回しすぎると破損のおそれがあります。



（床排水：約 120°
壁排水：約 80°）

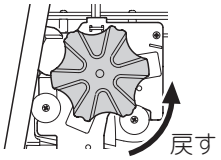


4 停電用ハンドルを元の位置に戻す

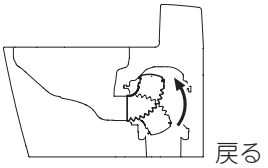
（床排水：約120°・壁排水：約80°）

- ターントラップが元に戻ります。

ハンドルを回しすぎると破損のおそれがあります。



（床排水：約 120°
壁排水：約 80°）

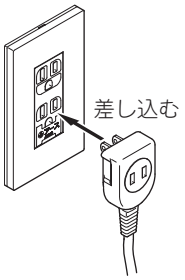


5 便器にトイレットペーパーを敷き、漂白剤をかけて、3分間放置する

- 換気を十分に行ってください。
- 湿布法によるお掃除中は、下水のにおいが上がってくることがあります。
- トイレットペーパー以外は使用しないでください。
- トイレットペーパーは一度に3m以上使用しないでください。

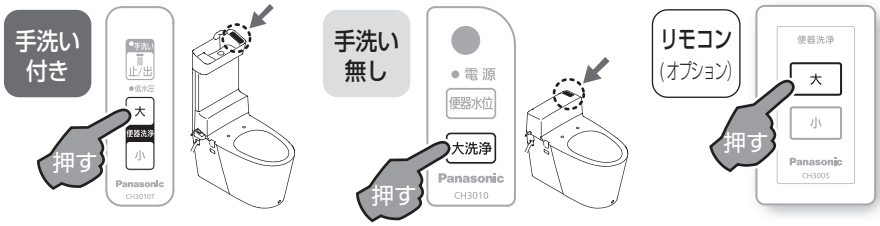


6 電源プラグをコンセントに差し込む



7 便器洗浄[大]ボタンを押す

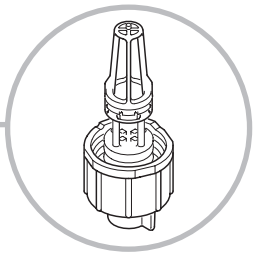
- トイレットペーパーを洗い流します。
- 漂白剤が残らないように数回、便器洗浄をします。



8 サイドカバー右を元通りに取り付ける

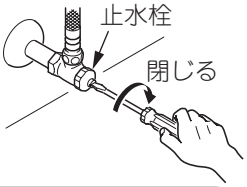
水の出が悪いときは

ストレーナのお掃除



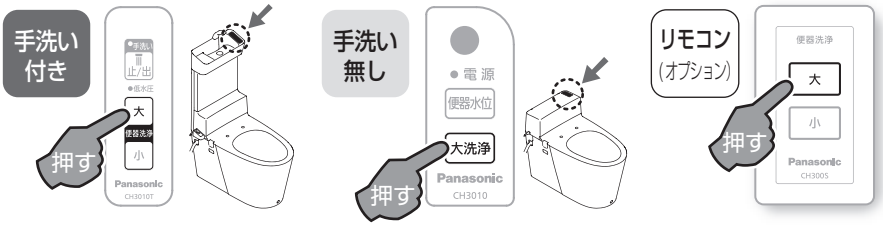
- ストレーナとは、水中の水アカやごみなどの便器への混入を防ぐフィルターです。
- ストレーナに水アカやごみなどが詰まると適正な洗浄水量が得られなくなります。水の出が悪くなったときは、ストレーナの掃除をしてください。

1 止水栓を閉じる



2 便器洗浄[大]ボタンを押す

- 給水管内の圧力を抜きます。



⚠注意

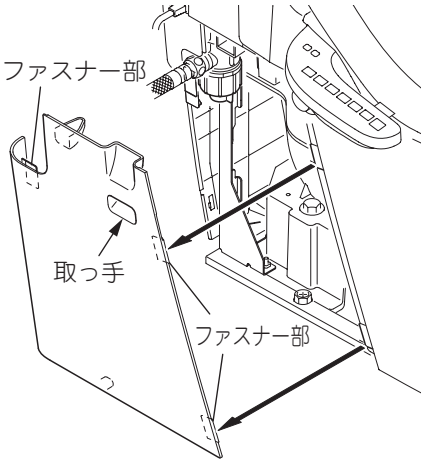
禁 止

- **止水栓を開いたままストレーナを外さない**

水が噴き出し拡大損害になります。

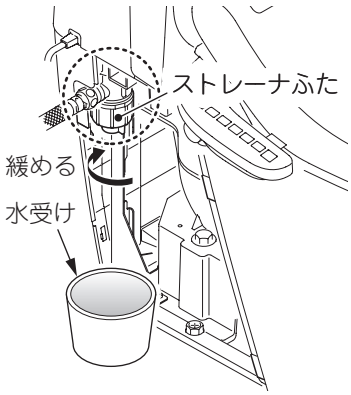
3 サイドカバー左を外す

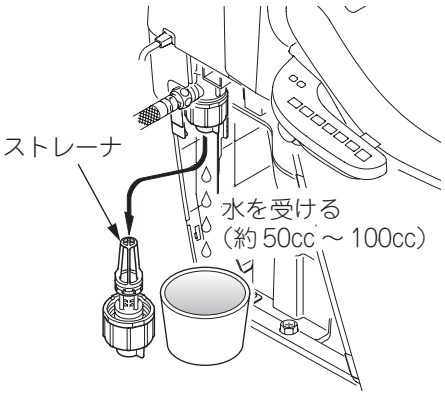
- サイドカバーの取っ手部分を持って引っぱってください。



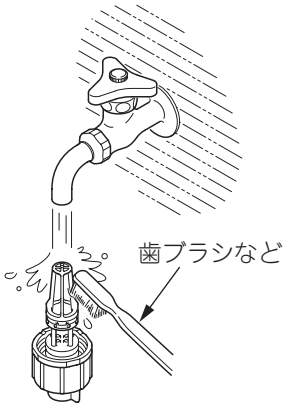
4 ストレーナふたを緩めてストレーナを外す

- 約50cc ～ 100ccの水が出ますので、ストレーナを締めるまで水受けをご使用ください。
- 取り外しの際は指をはさみこまないようにご注意ください。
- 便器や床に水がかかった場合は必ずふき取ってください。



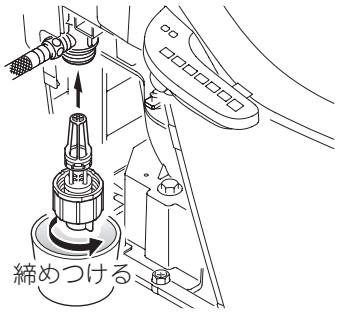


5 ストレーナを水洗いする

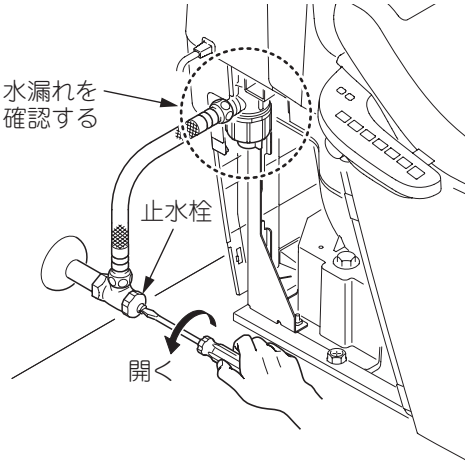


6 ストレーナを元通りに取り付ける

- ストレーナふたを「カチッ」となるまで締めつけてください。



7 止水栓を開け、水漏れがないことを確認する



⚠注意

必ず守る

- **ストレーナのねじ部に異物がないようにきれいに水洗いする**
- **ストレーナふたをしっかり締めつける**

水漏れの原因になります。

8 サイドカバー左を元通りに取り付ける

凍結を防ぐ



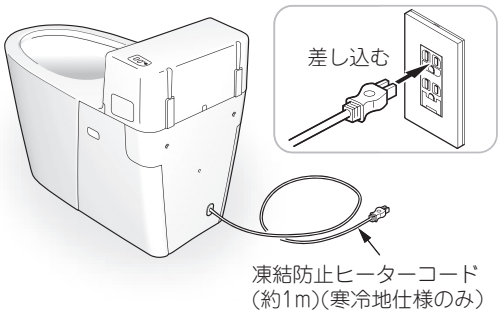
● トイレルーム内が0℃以下になる場合は、凍結防止を実施してください。
本体内部や配管内部の水が凍結すると、破損や水漏れを起こすことがあります。
凍結を防ぐために、**トイレルームを暖める**か、凍結予防を行ってください。

● 寒冷地仕様の場合は、凍結防止ヒーターを併用してください。

寒冷地仕様のみ　凍結防止ヒーターを使用する（便器洗浄面のため水の凍結防止）

凍結防止ヒータープラグをコンセントに差し込む

- 製品品番末尾に(7)が付いていれば寒冷地仕様です。(品番表示位置：8ページ)
- 凍結防止ヒーターは便器のため水を保温します。
凍結防止限界温度は－15℃です。トイレルーム内の温度が－15℃以下になる場合は、暖房器具などでトイレルーム内を－15℃以上に保ってください。
- 凍結防止ヒーターは、3℃以下の温度になると温めを開始し、8℃以上になると温めを停止します。
- 凍結のおそれがなくなったら、凍結防止ヒータープラグをコンセントから抜いてください。



■ 24時間以上不在にする場合
水抜きをする（便器内部の水の凍結防止）

22 ～ 23ページを参照し、水抜きをする

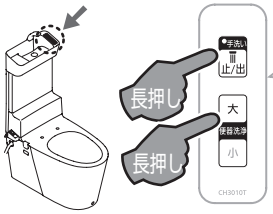
凍結防止機能を設定する
（便器洗浄面のため水・便器内部の水の凍結防止〈流動式凍結防止〉）



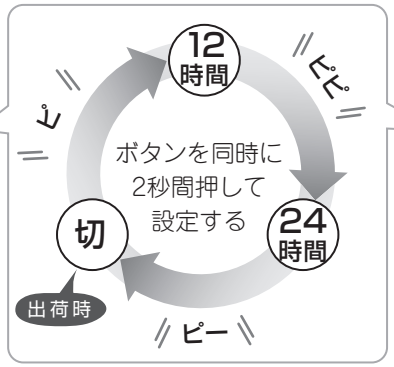
凍結のおそれがある場合、事前の設定が必要です。

- 設定した時間の間、流動式凍結防止機能をONにすることができます。
- 10分に1回、自動で便器に水を流して凍結を予防します。
- 便器への通水経路の凍結防止です。
- 1回あたり、約2L※の水が流れます。
※12時間：約144L
24時間：約288L
- 便器使用中でも時間になると水が流れます。
- 手洗いから水は出ません。

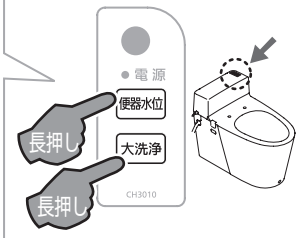
手洗い付き



[手洗い止／出]ボタンと、便器洗浄[大]ボタンを同時に2秒間押す



手洗い無し



[便器水位]ボタンと、[大洗浄]ボタンを同時に2秒間押す

⚠注意

必ず守る

- **凍結するおそれがある場合は、凍結防止（水抜きをし、凍結防止ヒータープラグをコンセントに差し込む）をする**
- **寒冷地以外の地域でも冬場周囲温度が0℃以下になる場合、下記の対策を実施する**
  - 止水栓、給水ホースに断熱材を巻く
  - 屋外配管、露出配管は、適切な凍結予防対策を施工業者に依頼する

凍結すると配管、便器内部が破損して水漏れの原因となります。

禁止

- **便器にヒーターなどを近づけすぎない**
便器の変形、破損によるけがや水漏れ、火災の原因になります。特にハロゲンヒータータイプの暖房器具は、便器から1m以上離してご使用ください。
- **不凍液を直接便器に入れない**
便器の破損による水漏れの原因になります。不凍液を使用する場合は、便器内のため水を排水し、不凍液を入れたビニール袋で排水口をふさいでください。

水抜きをする（凍結防止・長期間使用しないとき）

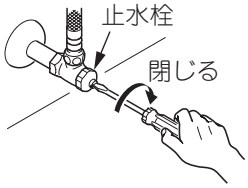


水の腐敗や凍結防止のため、次のようなときは水抜きをしてください。

・凍結のおそれがあるとき
・長期間（7日以上）使用しないとき

手洗い付きの場合

1 止水栓を閉じる



⚠注意

禁止

● **止水栓を開いたまま ストレーナを外さない**
水が噴き出し 拡大損害になります。

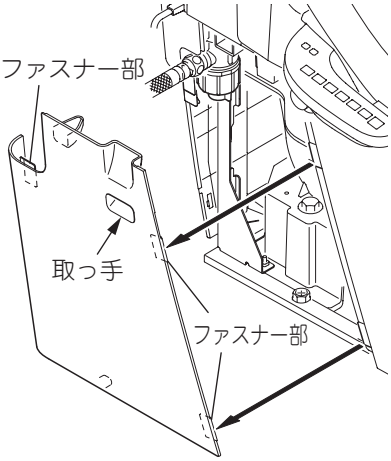
2 便器洗浄[大] ボタンを押す

- ボタンを押して、配管内の圧力を抜いてください。
- しばらくすると、「ピピピ・ピピピ」の後に「ピー」という音が鳴ります。



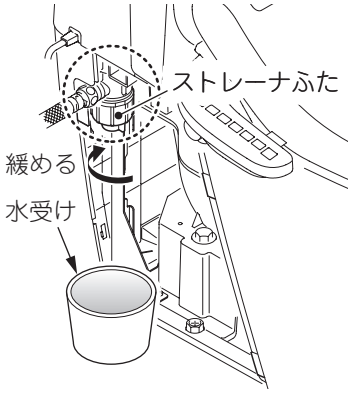
3 サイドカバー左を外す

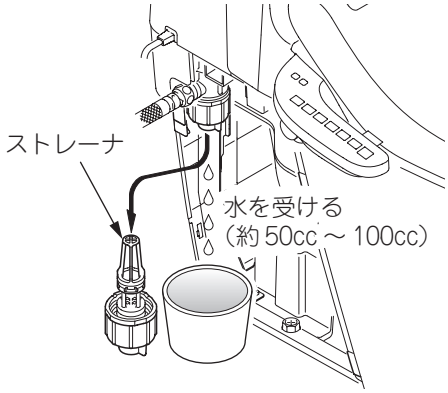
- サイドカバーの取っ手部分を持って引っぱってください。



4 ストレーナふたを緩めてストレーナを外す

- 約50cc ～ 100ccの水が出ますので、ストレーナを締めるまで水受けをご使用ください。
- 取り外しの際は指をはさみこまないようにご注意ください。
- 便器や床に水がかかった場合は必ずふき取ってください。





5 [手洗い止／出]ボタンを5秒以上押し続ける

- 手洗い給水ホース内の水を抜きます。
- 「ピピ」と音がして手洗いランプが点滅します。



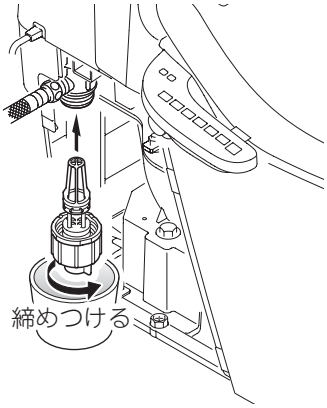
6 10分以上待って手洗いランプが点滅しなくなったら、ストレーナを元通りに取り付ける

- ストレーナふたを「カチッ」となるまで締めつけてください。

⚠注意

必ず守る

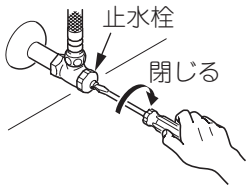
● **ストレーナふたをしっかり締めつける**
水漏れの原因になります。



7 サイドカバー左を元通りに取り付ける

手洗い無しの場合

1 止水栓を閉じる



⚠注意

禁止

● **止水栓を開いたまま ストレーナを外さない**
水が噴き出し 拡大損害になります。

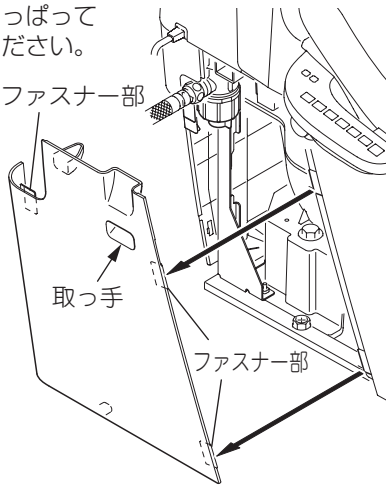
2 便器洗浄[大]ボタンを押す

- ボタンを押して、配管内の圧力を抜いてください。
- しばらくすると、「ピピピ・ピピピ」の後に「ピー」という音が鳴ります。



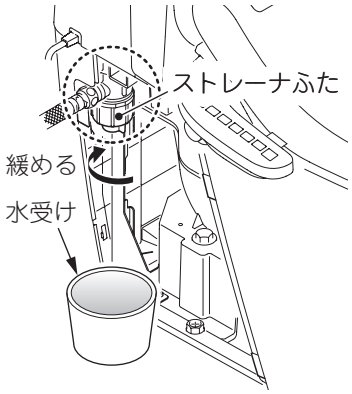
3 サイドカバー左を外す

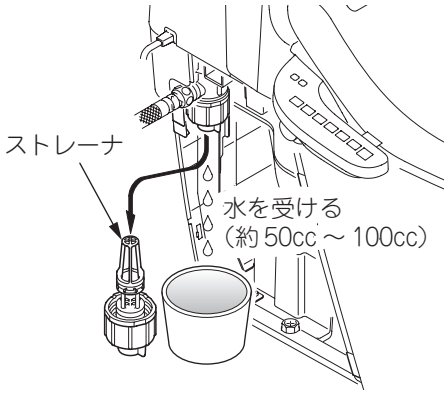
- サイドカバーの取っ手部分を持って引っぱってください。



4 ストレーナふたを緩めてストレーナを外す

- 約50cc ～ 100ccの水が出ますので、ストレーナを締めるまで水受けをご使用ください。
- 取り外しの際は指をはさみこまないようにご注意ください。
- 便器や床に水がかかった場合は必ずふき取ってください。





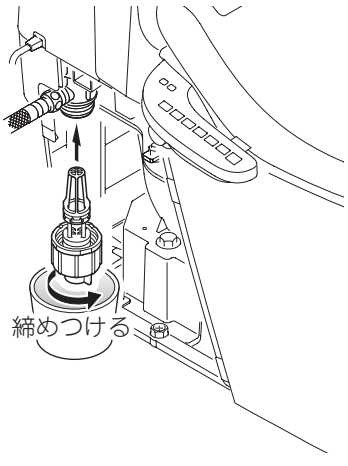
5 ストレーナを元通りに取り付ける

- ストレーナふたを「カチッ」となるまで締めつけてください。

⚠注意

必ず守る

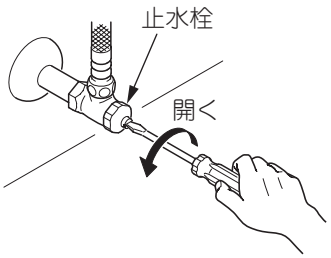
● **ストレーナふたを しっかり締めつける**
水漏れの原因になります。



6 サイドカバー左を元通りに取り付ける

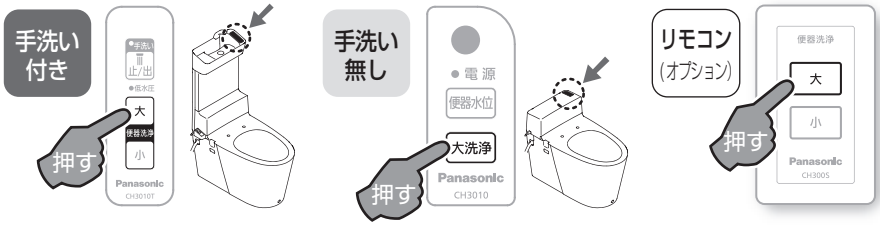
再び使用するときは

1 止水栓を開く



2 便器洗浄[大]ボタンを押す

- ボタンを押してください。便器に給水され、元の状態に戻ります。

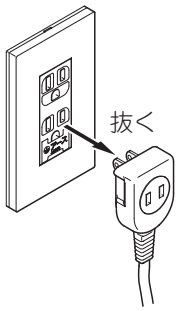


停電・断水したときの排水方法



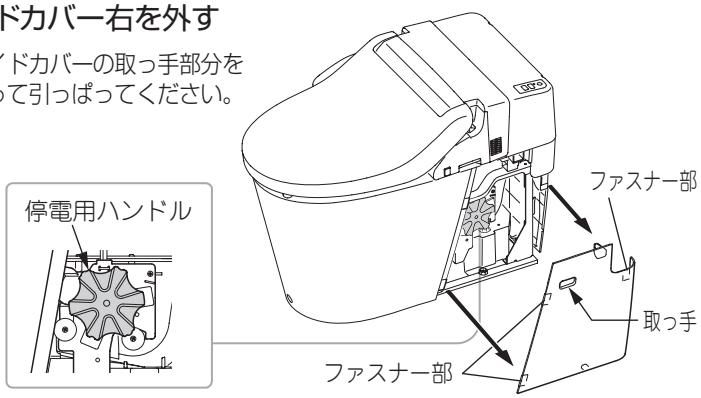
停電用ハンドルを回して排水する

1 電源プラグをコンセントから抜く



2 サイドカバー右を外す

- サイドカバーの取っ手部分を持って引っぱってください。

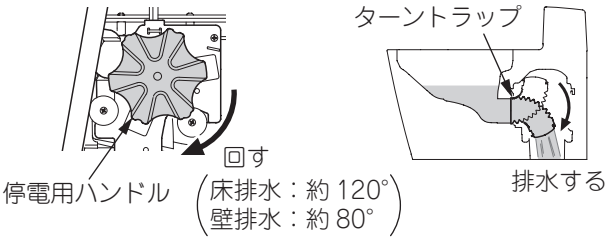


3 停電用ハンドルを時計回りに回す
(床排水：約120°・壁排水：約80°)

- ターントラップが下を向き便器洗浄面の水を排水します。

ハンドルを回しすぎると破損のおそれがあります。

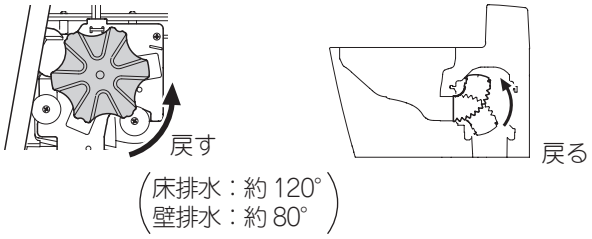
- 完全に排水できない場合は、ターントラップが下を向いたままの状態で便器洗浄面にバケツで水を入れ排水してください。



4 停電用ハンドルを元の位置に戻す
(床排水：約120°・壁排水：約80°)

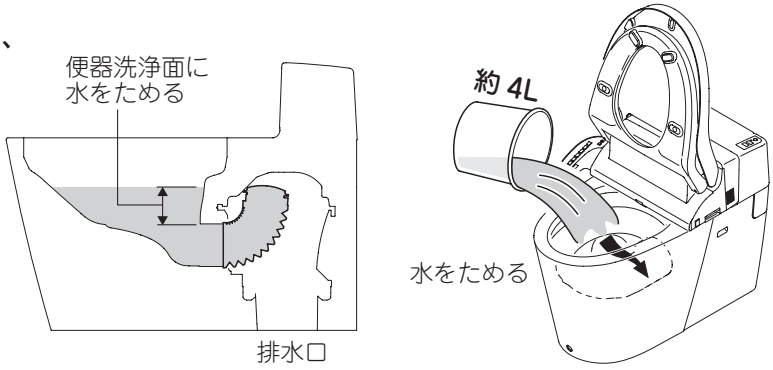
- ターントラップが元に戻ります。

ハンドルを回しすぎると破損のおそれがあります。



5 便器洗浄面にバケツで水(約4L)を入れ、水をためる

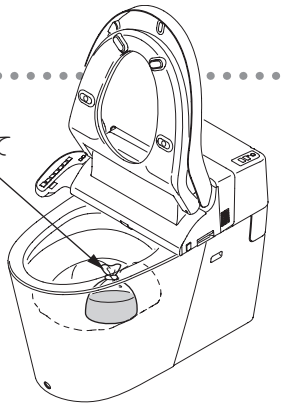
- 下水管からの有害ガス、悪臭、害虫の侵入を防ぐために便器洗浄面のため水が必要となります。
必ず約4Lの水を入れてください。



万が一、水をためられない場合は

ビニール袋に水を入れて排水口をふさぐ

- 下水管から臭いが逆流しますので、ビニール袋(幅15～20cm)に水を入れて排水口をふさいでください。



停電ハンドルが回せない場合は

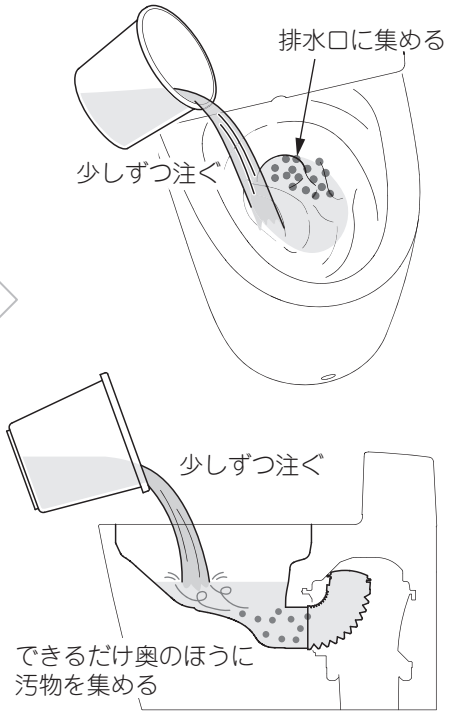
水を注いで排水する

1 バケツに約5Lの水を用意する



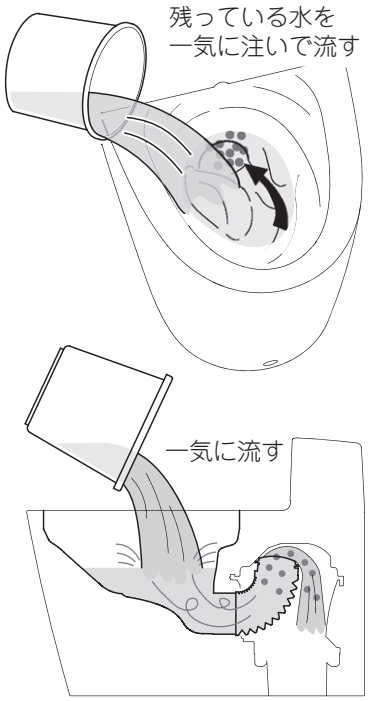
2 まず、汚物が排水口に集まるように少しずつ水を注いで、汚物を排水口に集める

- 水を使い切らないようにしてください。



3 残っている水を排水口に一気に注ぐ

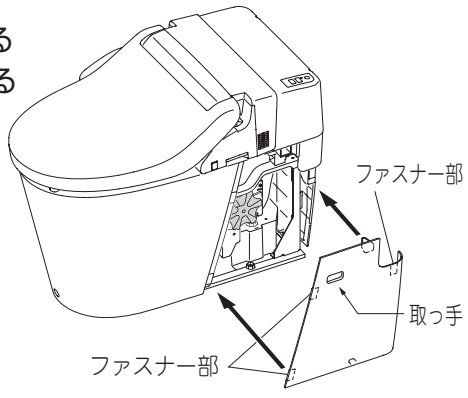
- 汚物が流れきらない場合は、さらに約5Lの水を用意して排水してください。
- トイレットペーパーは、完全に流しきれず残る場合があります。



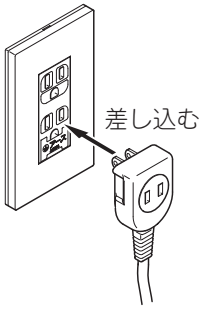
停電・断水が復旧したら

1 サイドカバー右を外している場合は、元通りに取り付ける

- 取り外したまま使用すると、サイドカバー内側に直接光が入り、動作不良を起こす場合があります。

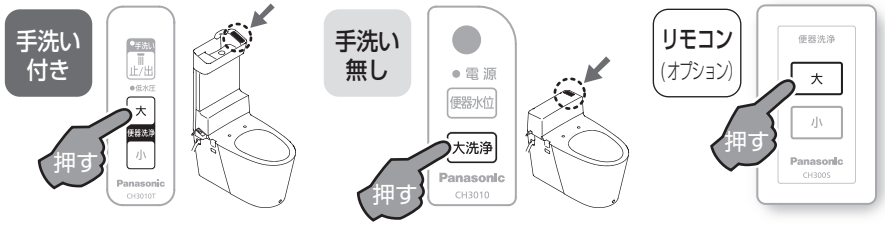


2 電源プラグを抜いている場合は、コンセントに差し込む



3 便器洗浄[大]ボタンを押す

- ビニール袋で排水口をふさいでいる場合は必ず取り除いてから行ってください。



便器が詰まったとき



⚠注意

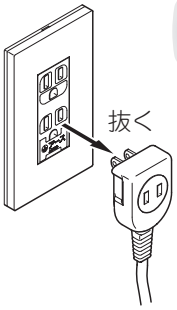
禁 止

● **便器が詰まった場合は、続けて洗浄操作しない**
便器から汚水があふれる原因になります。

方法 1 停電用ハンドルを回して詰まりをとる

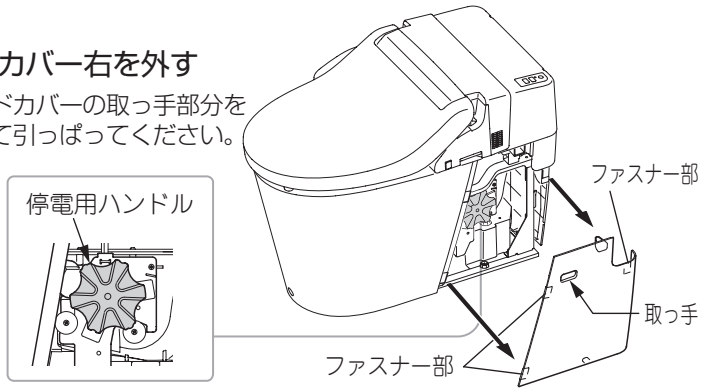
● まずこちらの方法をお試しください。
● 汚物およびトイレットペーパー以外が詰まっている場合は、販売店、施工業者へご依頼ください。
異物を排水管に詰まらせるおそれがあります。

1 電源プラグをコンセントから抜く



2 サイドカバー右を外す

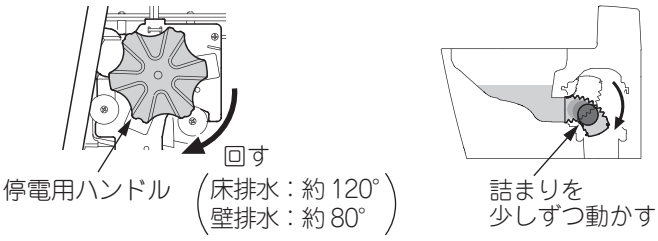
● サイドカバーの取っ手部分を持って引っぱってください。



3 停電用ハンドルを時計回りに回す
(床排水：約120°・壁排水：約80°)

● ターントラップが下を向き便器洗浄面の水を排水します。

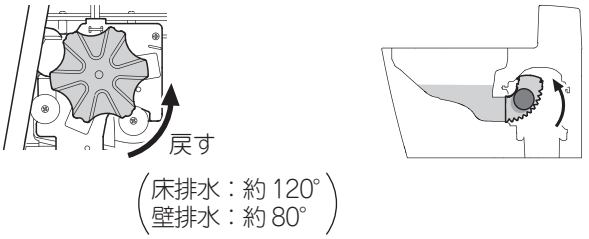
ハンドルを回しすぎると破損のおそれがあります。



4 停電用ハンドルを元の位置に戻す
(床排水：約120°・壁排水：約80°)

● ターントラップが元に戻ります。

ハンドルを回しすぎると破損のおそれがあります。



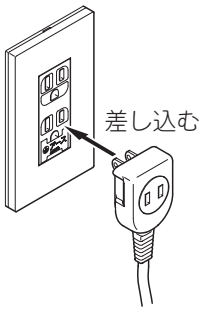
5 詰まりがとれるまで 手順 3 、4 を数回繰り返す

● それでも詰まりがとれない場合は、方法2を行ってください。

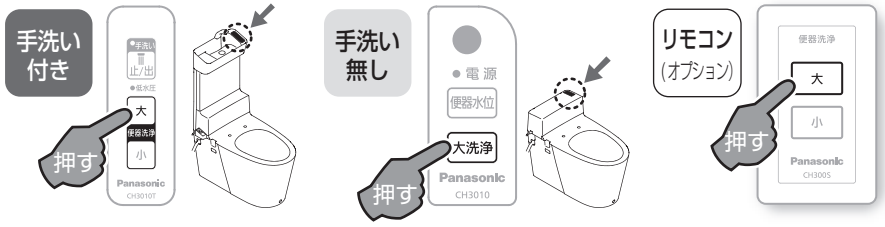
6 詰まりがとれたら、サイドカバー右を元通りに取り付ける

● ため水が排水されたら、汚物つまりは解消されています。

7 電源プラグをコンセントに差し込む



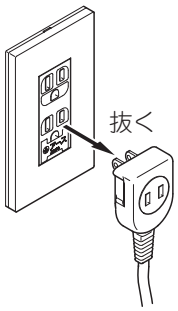
8 便器洗浄[大]ボタンを押す



方法2 ラバーカップを使って詰まりをとる

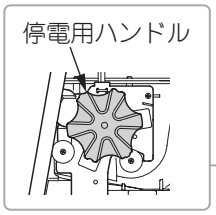
- 方法1でうまく詰まりがとれないときに行ってください。
- 詰まりを取るために大きめのスポンジが必要です。

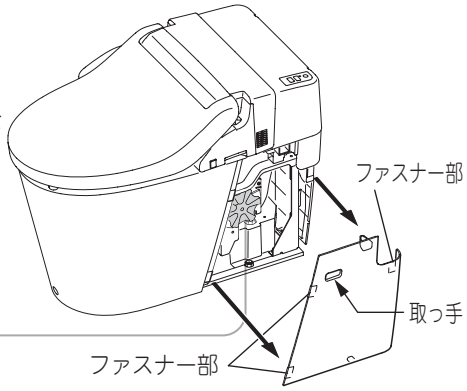
1 電源プラグをコンセントから抜く



2 サイドカバー右を外す

- サイドカバーの取っ手部分を持って引っぱってください。

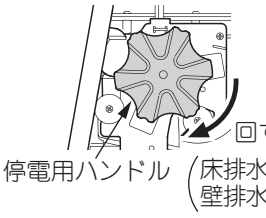


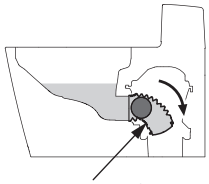


3 停電用ハンドルを時計回りに回す
(床排水：約120°・壁排水：約80°)

- ターントラップが下を向いている状態にします。

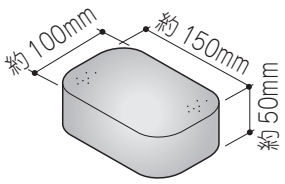
ハンドルを回しすぎると破損のおそれがあります。





4 排水口の凹凸部分をスポンジで覆う

- 幅150mm×100mm、高さ50mm程度の市販の柔らかいスポンジを用意してください。

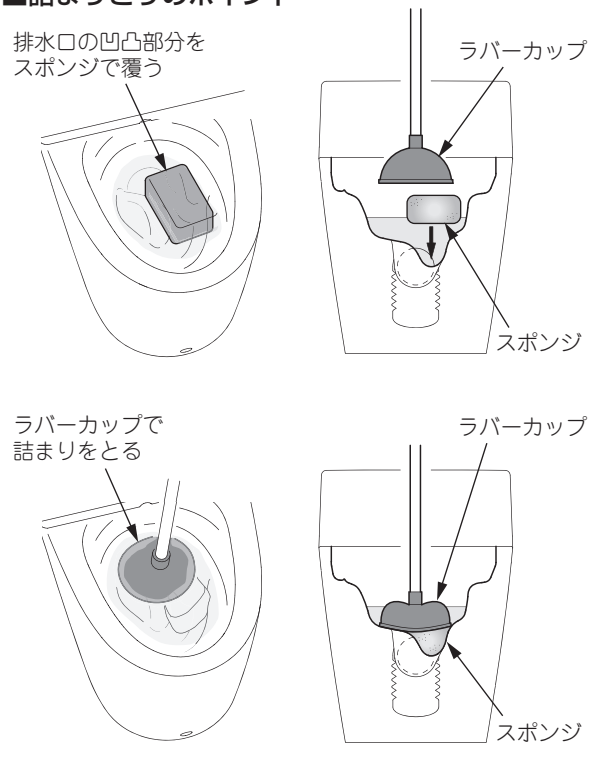


5 ビニールシートなどで便器・手洗い部*を覆う

- ラバーカップ使用時に水がはねます。

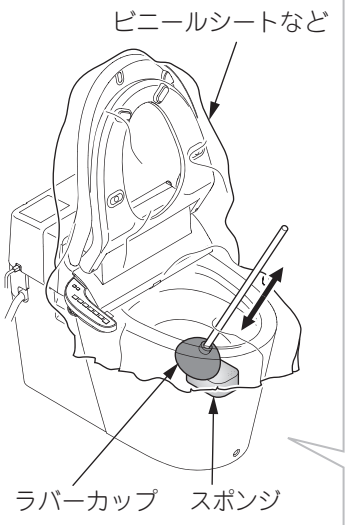
*アラウーノV手洗い付、もしくは専用手洗い併設の場合

■詰まりとりのポイント



6 市販のラバーカップ(推奨直径約165mm)でスポンジの上から排水口を繰り返し押す

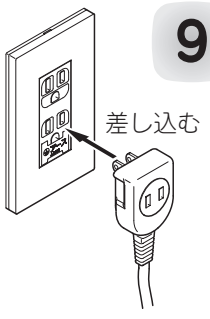
- 便器洗浄面のため水が少なくなり、ラバーカップが水につからなくなったら、便器洗浄面に水を足してラバーカップが水につかる状態で排出してください。
- ラバーカップが使用できるのは、汚物やトイレットペーパーが詰まったときです。それ以外の物(ボールペン、生理用品など固形の異物)が詰まった場合は、無理にとらずにお近くの工事店にご相談ください。



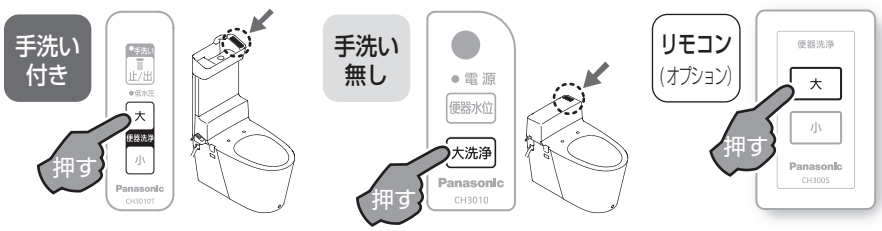
7 詰まりがとれたら、サイドカバー右を元通りに取り付ける

- 使用したスポンジは、便器へ流さず取り除いてください。

8 電源プラグをコンセントに差し込む



9 便器洗浄[大]ボタンを押す

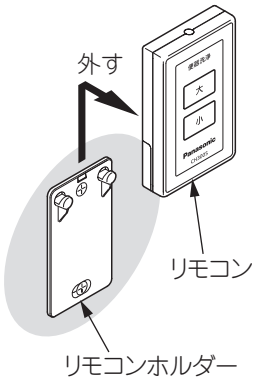


リモコン(オプション)の電池が切れたら

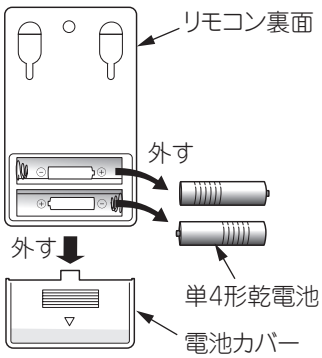


- リモコンの効きが悪くなりましたら電池が切れている可能性があります。
  その場合は、新しい電池に交換してください。
- 電池の取り扱いについては、4ページの「安全上のご注意」をご確認ください。

1 リモコンホルダーからリモコンを外す

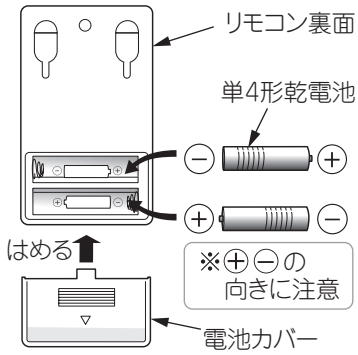


2 電池カバーを外し、電池を外す

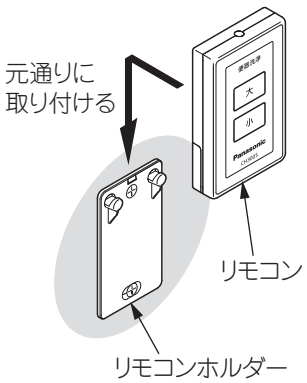


3 新しい電池を入れ、電池カバーをはめる

- 単4形乾電池を2個ご使用ください。
- 電池の⊕、⊖を正しく入れてください。
- 電池寿命は約1年です。
  交換するときは2個とも新しい単4形乾電池に
  交換してください。
- 長期間使用しないときは電池を取り出してください。



4 リモコンホルダーに リモコンを元通りに取り付ける



故障かな？と思ったら

修理をご依頼いただく前に、
まずこちらの内容をご覧いただき、
対処方法があればお試しください。



お問い合わせの前に

ご確認の流れ

● お問い合わせの前に、下記の手順にしたがい、確認を行ってください。

はじめに 1	▶▶ 2	▶▶ 解決しなければ 3	▶▶ 解決しなければ 4	▶▶ ご相談ください 5
調べる	**対処方法を試す**	**電源プラグを差し直す**	**品番を調べる**	**連絡する**
● 3ページの「よくあるご質問」および下記の表の中に該当する内容がないか確認してください。	● 該当する内容があれば、対処方法を行ってください。	● 電源プラグを抜き、10秒以上時間をおいてから差し込みなおしてください。	● 8ページの「各部のなまえ」で品番表示位置を確認してください。	● お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。





ご確認の流れ

■ 電源ランプ

現　象	原　因	処　置	参照ページ
電源ランプが点灯しない	電源プラグが完全に差し込まれていない。	電源プラグを根元まで完全に差し込んでください。	10ページ

■ 便器部

現　象	原　因	処　置	参照ページ
「ピピピ」と音が鳴り、洗浄できない 電源ランプが点滅している	断水している。	汚物を流す場合は「停電・断水したときの排水方法」にしたがって排水してください。	24ページ
	止水栓が閉じている。	止水栓を開けてください。	10ページ
	ストレーナが詰まっている。	ストレーナを掃除してください。	20ページ
	使用水圧（流動時）が低い。	販売店・施工業者に適正な水圧（流動時）が確保されているかを確認してください。	7ページ
「ピーピーピー」と音が鳴り、洗浄できない 電源ランプが点滅している	ターントラップの位置がずれている。	一度電源プラグを抜き、10秒以上おいてから差し込みなおし、再度操作してください。復帰しない場合は 販売店・修理ご相談窓口にご相談ください。	–
便器洗浄水の勢いが弱い 便器洗浄水が1周回らない 便器洗浄面のため水が少ない	止水栓を絞りすぎている。	止水栓を開けてください。	10ページ
	ストレーナが詰まっている。	ストレーナを掃除してください。	20ページ
	使用水圧（流動時）が低い。	販売店・施工業者に適正な水圧（流動時）が確保されているかを確認してください。	7ページ
	キッチン、お風呂場などの水を同時に使用しているため、一時的に水圧が低下している。【手洗い付きタイプ】便器と手洗いの水を同時に使用しているため、一時的に水圧が低下している。	使用環境や条件によるもので故障ではありません。【手洗い付きタイプ】便器洗浄水を確保するために、「手洗い吐水後に便器洗浄をする設定」に変更することをお勧めします。	7・14ページ
便器洗浄水の勢いが強く、水がはねる 便器洗浄音が大きい	使用水圧（流動時）が高い。	止水栓を絞ってください。	7・10ページ
便器洗浄水の勢いが強すぎて「ピピピ」と音が鳴り、電源ランプが点滅している	給水弁が故障している。	至急、止水栓を絞って 販売店・修理ご相談窓口にご相談ください。	–
便器の洗浄水が止まらない	給水弁が故障している。	至急、止水栓を閉じて 販売店・修理ご相談窓口にご相談ください。	–

■ 便器部（前ページからの続き）

現　象	原　因	処　置	参照ページ
便器洗浄後に便器から「ピタ」、「ピチャ」という音がする	洗浄後、ターントラップからあふれる水の音です。	故障ではありません。洗浄後の便器洗浄面のため水を確保するものです。	6ページ
便器洗浄時に「チョロチョロ」という音がする	節水性の高い洗浄のために発生する水の音です。	故障ではありません。	6ページ
便器洗浄面のため水が確保できない	次のいずれかの方法で封水を確保してください。 ■ 方法1：便器洗浄[大]ボタンを押す。 ■ 方法2：電源プラグをコンセントから抜き、10秒後に再びコンセントに差し込む。その後、便器洗浄[大]ボタンを押す。 ■ 方法3：ストレーナの掃除をする（20ページ参照）。その後、便器洗浄[大]ボタンを押す。 それでも解決されない場合は、販売店・修理ご相談窓口にご相談ください。		
傷がついた	固い物やとがった物などを便器に落とした。ぶつけた。	細かな傷であれば歯磨き粉や市販のアクリル用コンパウンドでの補修が可能です。（ただし深い傷の場合は補修できません）	
汚物が便器洗浄面に付着する	便質によっては付着することがあります。	定期的なお手入れをお願いします。	18ページ

■ 手洗い付きタイプ

現　象	原　因	処　置	参照ページ
低水圧ランプが消えている	「便器洗浄と手洗い吐水が同時に行われる設定」になっている。	故障ではありません。	14ページ
低水圧ランプが点滅している	便器と手洗いの水を同時に使用しているため、一時的に水圧が低下している。	故障ではありません。 便器洗浄水を確保するために、「手洗い吐水後に便器洗浄をする設定」に変更してください。	7・14ページ
	上水道で加圧ポンプが設置されている場合、水圧の立ち上がりが遅れることがある。	故障ではありません。必要に応じて手洗い吐水時間設定を変更してください。	11ページ
低水圧ランプが点灯している	「手洗い吐水後に便器洗浄する設定」になっている。	故障ではありません。	14ページ
手洗い操作部のボタンを押しても動作しない	コネクタが正しく接続されていない。	販売店・修理ご相談窓口にご相談ください。	−
	設定が「特別モード」になっている。	故障ではありません。	施工説明書51ページ
便器洗浄ボタンを押しても手洗いから水が出ない	手洗い吐水時間の設定が「0秒」になっている（手洗いランプが消えている）。	故障ではありません。必要に応じて手洗い吐水時間設定を変更してください。	11ページ
[手洗い 止/出]ボタンで水を出している時に便器洗浄をしたら水が勝手に止まる	手洗い吐水時間の設定に従って止まっている。	故障ではありません。 製品仕様によるものです。	9ページ
設定変更ができない	設定変更モードにした後10秒以上経っている。	便器洗浄ボタンを押して一度便器洗浄をした後、再び設定変更を行ってください。	11·15ページ
手洗い洗浄水の勢いが極端に弱い	給水弁が故障している。	販売店·修理ご相談窓口にご相談ください。	−
手洗い洗浄水の勢いが強く水がはねる	給水弁が故障している。	手洗い吐水時間を「0秒」に設定し、販売店·修理ご相談窓口にご相談ください。	11ページ
手洗いの洗浄水が止まらない	給水弁が故障している。	至急、止水栓を閉じて、販売店·修理ご相談窓口にご相談ください。	−
便器洗浄後に手洗い吐水口から勝手に水がでる	施工直後であったり、水抜きをしたため通水経路内に空気が残っている。	故障ではありません。何度か通水すると止まります。	−

■ リモコン（オプション）

現　象	原　因	処　置	参照ページ
リモコンが作動しない	リモコン受光部（便器側）、リモコン発光部に直射日光が当たっている。	カーテンなどで直射日光が当たらないようにしてください。	7ページ
	リモコン受光部（便器側）、リモコン発光部が汚れている。	リモコン受光部（便器側）、リモコン発光部を柔らかい布でふいてください。	7ページ
	リモコン受光部（便器側）、リモコン発光部の上方に棚などの障害物がある。	障害物を取り除いてください。	7ページ
	リモコンの位置が便器から遠くに取り付いている。	リモコンの取付位置を変更してください。	施工説明書共通の手順3・4
	リモコンの電池が切れている。	新しい電池に交換してください。	28ページ
	電池の⊕、⊖が逆になっている。	電池を正しい向きに入れてください。	28ページ
	部屋の壁や天井が黒色など濃い色である。	トイレルームの壁や天井の色を明るい色に変更してください。	7ページ

定格・仕様

品番			手洗い付き	手洗い無し
			CH3010WST■(7)(L), CH3010PWST	CH3010WS■(7)(L), CH3010PWS
電源			AC100V 50/60Hz	
最大消費電力			15W（寒冷地は、38W）	9W（寒冷地は、32W）
電源コード長さ			1.0m	
便器	洗浄方式		ターントラップ式	
	洗浄水量		大：4.6L/回　小：3L/回　（流動時0.2MPa時）	
	凍結防止	流動式※	流動水量：12 L/h（間欠流動方式：10分に1回　2 L/回）	
		ヒーター	AC100 V 50 / 60 Hz 26.4 W（電源コード有効長　約1.0 m）[寒冷地仕様のみ]	
	保護装置		バイメタルスイッチ・温度ヒューズ[寒冷地仕様のみ]	
手洗い	吐水量		約2L/分	−
リモコン（オプション）			ワイヤレスリモコン（単4形乾電池2個）	
使用水圧範囲			0.05MPa(流動時) ～ 0.75MPa(静止時)	
給水温度範囲			0℃～ 35℃	
周囲使用温度範囲			0℃～ 40℃	
寸法　幅×奥行×高さ			380mm×700mm×1065mm	380mm×700mm×535mm
製品質量			17.6kg	12.5kg

※水圧0.2MPa(流動時)。便器洗浄部のみ。ノズルは対応していません。設定後、12時間または24時間、間欠的に給水します。

(7)：寒冷地仕様　(L)：タイル床仕様

■：アルファベットが入る場合があります

便座交換について

お近くの販売店に取り付け可能な機種をご確認ください

- 一部の機種で、便ふたが開いた状態では、手洗いボールが便ふたにかくれて手が洗いにくくなる場合があります。
- ソフト閉止機構付きの便座をご使用ください。
  （便座のソフト閉止機構が壊れた場合はすみやかに交換してください。）

定期的な点検のお願い（有料）

- 逆流防止装置（バキュームブレーカー）は、５年を目安に定期点検を受けていただくことをお勧めします。
  なお、点検は修理ご相談窓口にご相談ください。

保証とアフターサービス よくお読みください

2512-M

使いかた・お手入れ・修理などのご相談は…

■まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	
電　話	（　　）　－
お引き渡し日	年　月　日

■保証書（別添付）

お引き渡し日・販売店名などの記入を確かめ、お買い上げの販売店からお受け取り、保管してください。

保証期間：お引き渡し日から本体 2 年間
（ただし、電気部品は 1 年間）

■補修用性能部品の保有期間 7 年

当社は、本製品の機能を維持するために必要な部品を、製造打ち切り後 7 年保有しています。

延長保証をご希望の場合は、**有料で、無料修理を行う期間を延長できます。**（免責事項を除く） ※延長保証はパナソニック テクノサービス株式会社が運営しています。

長期安心修理サービス
https://sumai.panasonic.jp/anshin/
お申込みはウェブサイトから 長期安心 検索

お引き渡し日から10か月以内にお申込みください。
対象商品はウェブサイトをご覧ください。
※商品によりご契約の対象外となる場合があります。

●インターネットがご利用できない場合は
長期安心修理サポートセンター
0120-911-822
※携帯電話からもご利用になれます。
【受付時間】月～金（平日）/ 9:00～17:00
※年末年始・夏季休暇・所定休日を除く。

修理を依頼されるとき

■まず、使用機器の電気・水道などの元を断ち、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■長期安心修理サービスのご契約者様は専用窓口へご連絡ください。

▼ご連絡いただきたい内容
①品名
②品番（品番記載位置は 8 ページ）
③お引き渡し日
④異常の状況（できるだけ具体的に）

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。
●保証期間を過ぎているときは、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
●修理料金は次の内容で構成されています。
【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用です。
【部品代】修理に使用した部品および補助材料代です。
【出張料】お客様のご依頼により技術者を派遣する費用です。

※この商品は日本国内専用品ですので、日本国外で使用しないでください。万一、日本国外で使用された場合は、修理サービスはお受けになれません。

商品の情報は パナソニック　住まい 検索 https://sumai.panasonic.jp/

■転居などでお困りの場合は、以下のお客様相談窓口にご相談ください。

インターネットでのご用命なら 24 時間、365 日依頼可能です。
ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

消耗品・交換部品・後付パーツのご用命は

ハイ・パーツショップ（一般のお客様用）
https://sumai.panasonic.jp/parts/

●インターネットがご利用できない場合は
0120-055-802
※携帯電話からもご利用になれます。
【受付時間】
月～金 / 9:00～18:00
土・日・祝日 / 9:00～17:00
※GW休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。
※ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問い合わせください。
●上記番号がご利用できない場合は **06-6906-1224**

修理のご用命は

修理ご相談窓口
https://sumai.panasonic.jp/support/repair/

●インターネットがご利用できない場合は
0120-872-150
※携帯電話からもご利用になれます。
【受付時間】
月～土 / 9:00～19:00
日・祝日・年末年始 / 9:00～18:00
●上記番号がご利用できない場合は **06-6906-1090**

商品のお問い合わせは

住宅設備・建材商品ご相談窓口
https://sumai.panasonic.jp/support/

●インターネットがご利用できない場合は
【受付時間】9:00～18:00
※1月1日～1月3日を除く

個人のお客様
0120-878-093
※携帯電話からもご利用になれます。
●上記番号がご利用できない場合は
06-6780-5779

法人のお客様
0120-187-150
※携帯電話からもご利用になれます。
●上記番号がご利用できない場合は
06-6904-7270
FAX 0120-872-460

ご相談窓口における お客様の個人情報の お取り扱いについて

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検 長年ご使用の便器の点検を！

こんな症状はありませんか？
●電源コードを動かしたときに電気が入ったり、切れたりしませんか。
●本体・プラグ・電源コードや便座コードがさわれないほど熱くなっていませんか。
●コードにキズはありませんか。
●異常な臭い（焦げるような）や音が出ていませんか。
●触ると電気（ビリビリ）を感じることはありませんか。
●プラグ刃のがたつきがありませんか。

▶ このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
水廻りシステム事業部
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co.,Ltd. 2019-2026

TOMS104
2026年5月発行　Si0919-3056

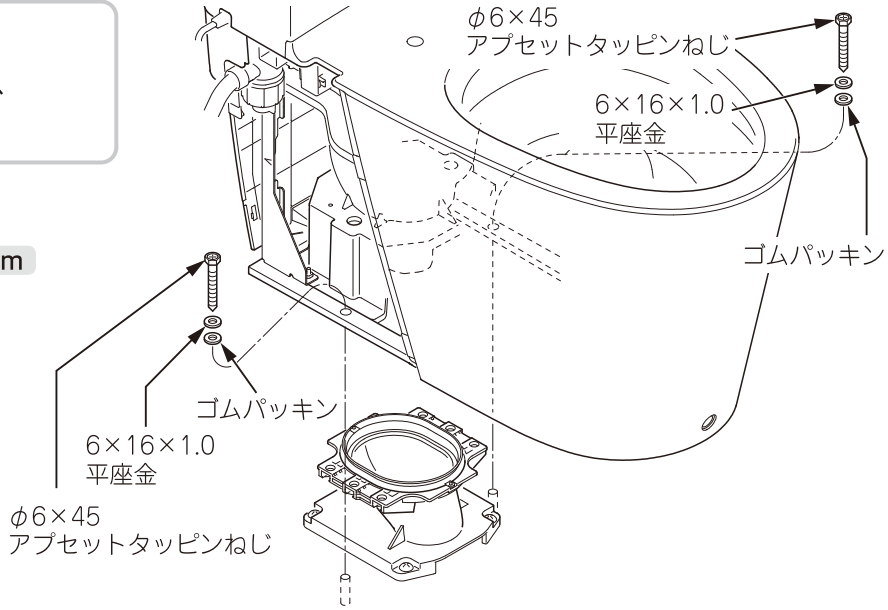
Newアラウーノ V タイル床設置用

便器の取り付け・シーリング方法について

1 便器の取り付けはゴムパッキン(左右1枚ずつ)を使用してください。

便器の施工説明書 18ページ
「手順6.便器の取り付け」を参照し、
⑦は下記を参照してください。

⑦ 便器を床に
アプセットタッピンねじ φ6×45 mm
と平座金 6×16×1.0 mm
とゴムパッキンで固定する 2か所



2 シーリング防水をしてください。

現場手配必要部材：床面シーリング剤

便器の施工説明書 30ページまでの工程を行ってから、シーリング防水をしてください。

お願い

サイドカバーを取り付ける前に作業をしてください。
先にサイドカバーを取り付けるとサイドカバーが外れなくなるおそれがあります。

1 A部・B部・C部にシーリング防水する

シーリング防水をしないと、便器内部に水が浸入し、故障の原因となります。

シーリング防水が必要な箇所

- **A部：フレームと床面のすき間**
- **B部：便器と床面のすき間**
- **C部：便器の内側とフレームのすき間でシーリングの注入口が差し込める部分**

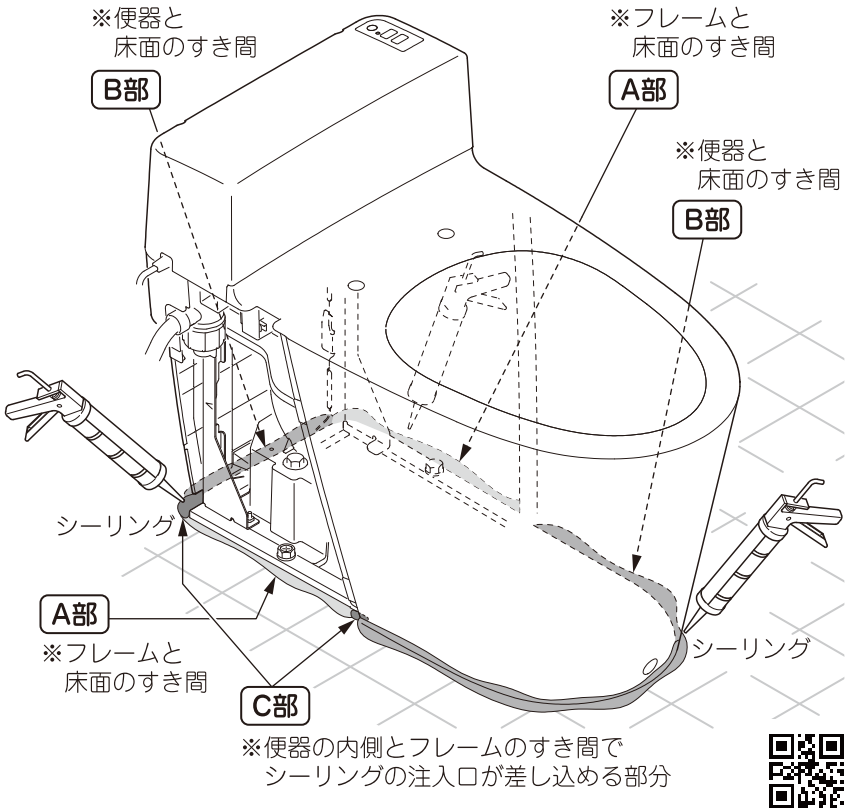
2 シーリング剤を完全に乾かす

お願い

シーリング剤が完全に乾いていることを確認してください。
乾燥が不十分な場合、防水不良の原因となります。

3 サイドカバーを取り付ける

便器の施工説明書 31ページ
「手順9.サイドカバーの取り付け」
を参照してください。



TIMS084

Panasonic

施工説明書

大便器

\New/ 節水キレイ洗浄

アラウーノV

A·La·Uno V

品番

タイプ		便器	給排水部材セット	排水芯(mm)
標準	手洗い付き	CH3010WST■(7)(L)	CH301F■(CH301FM■)	120/200
		CH3010WSTG(7)		
	手洗い無し	CH3010WS■(7)(L)		
		CH3010WSG(7)		
リフォーム	手洗い付き	CH3010WST■(7)(L)	CH301FR■(CH301FM■)	305～470
		CH3010WSTG(7)		
	手洗い無し	CH3010WS■(7)(L)		
		CH3010WSG(7)		
ダイレクトリフォーム	手洗い付き	CH3010WST■(7)(L)	CH301FW■	305～510
		CH3010WSTG(7)		
	手洗い無し	CH3010WS■(7)(L)		
		CH3010WSG(7)		
壁排水	手洗い付き	CH3010PWST	CH301FP■	120・155（別途、CH301Zが必要です）
	手洗い無し	CH3010PWS		

※CH301FMは、標準タイプの床フランジとリフォームタイプの排水アジャスタが同梱された、配管セットマルチタイプです。
※■：アルファベットが入る場合があります。
(7)：寒冷地仕様　(L)：タイル床仕様

・オプション

便器洗浄リモコン	CH300S■
台輪	CH301Z（壁排水155タイプの場合必要）



※写真は、便座「NewアラウーノV専用トワレ」（別売）を組み合わせた場合です。

●施工にあたっては、2ページの「施工チャート」を参照してください

■もくじ

施工チャート	2
各部のなまえ	5
部品の確認	6
安全上のご注意	9
取り付け前の確認	11
寸法図	12
タイプ別の施工手順	15～54
施工完了チェックリスト	裏表紙
引き渡し	裏表紙

■この施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」(9～10ページ)は、施工前に必ずお読みください。

■施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■施工後は引き渡しの際に、取扱説明書に従って取扱方法をお施主様にご説明いただき、保証書に必要事項を記入してお施主様にお渡しください。

■この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

▸施工チャート

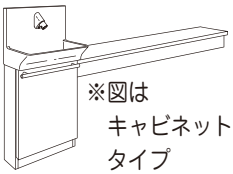
● タイプ別に必要な施工内容と施工手順が異なります。下記を参照し、施工の流れを確認してください。

床排水タイプの場合

手洗いの施工手順

または

「アラウーノ専用手洗い」と併設 別売手洗



※図はキャビネットタイプ

15ページ

1 便器設置前の手順.....15

手洗い付き T



15～17、43～45ページ

1 サイドカバー・リアカバーの取り外し.....15
2 排水導入管Aの取り付け....16
3 給水ホース（下側）の取り付け.....16
4 リアカバーの取り付け.....17

～便器取付後～

5 支柱パイプの取り付け....43
6 手洗いの取り付け.....43
7 コネクタの接続.....44
8 給水ホース（上側）の取り付け.....44
9 排水導入管Bの取り付け...45
10 排水導入管Cの取り付け...45

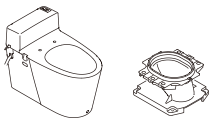
手洗いの施工

便器の施工手順

便器の施工

または

標準タイプ H

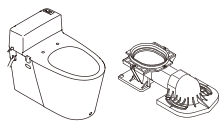


19～23ページ

1 床工事..... 19
2 床フランジとリングの取り付け.. 20
3 床フランジの取り付け.. 21
4 サイドカバーの取り外し .. 22
5 便器の取り付け.....23

または

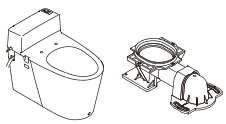
リフォームタイプ R



18、24～28ページ

1 給水位置の確認.....18
2 止水栓の取り付け 18
3 既設便器の取り外し.....24
4 床アジャスタの切断.....24
5 排水アジャスタの組み立て..26
6 排水アジャスタの取り付け..27
7 サイドカバーの取り外し... 28
8 便器の取り付け.....28

リフォームダイレクトタイプ D



18、29～33ページ

1 給水位置の確認.....18
2 止水栓の取り付け 18
3 既設便器の取り外し.....29
4 床アジャスタの切断.....29
5 排水アジャスタの組み立て..31
6 排水アジャスタの取り付け..31
7 サイドカバーの取り外し... 33
8 便器の取り付け.....33

※「アラウーノ専用手洗い」に付属の施工説明書を参照

「アラウーノ専用手洗い」と併設の場合

共通 共通の施工手順 46～54ページ

1 止水栓への接続.....46
2 便座の取り付け.....47
3 リモコンホルダーの取り付け（オプション）.....47
4 リモコンの取り付け（オプション）.....48
5 電源プラグの差し込み.....48
6 試運転と水漏れの確認.....49
・低水圧地域の場合（手洗い吐水と便器洗浄のタイミングの変更）（手洗い付きの場合）.....50
7 便器洗浄水量の調節（市町村指定の場合）.....50
・水栓数の変更（手洗い付きの場合）.....51
8 ストレーナの掃除.....51
・施工後に、長期間使用しない場合（便器内部の水抜き）...52
9 シーリング方法.....53
10 サイドカバーの取り付け.....53
11 配管カバーの取り付け（手洗い付きの場合）.....54

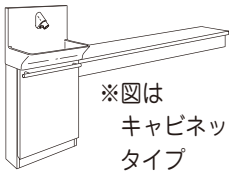
施工完了チェック・引き渡し 裏表紙

壁排水タイプ　後ろ抜きの場合

手洗いの施工手順

または

「アラウーノ専用手洗い」と併設 別売手洗



※図は
キャビネット
タイプ

1 便器設置前の手順 15

手洗い付き T



1 サイドカバー・リアカバーの取り外し 15
2 排水導入管 A の取り付け 16
3 給水ホース（下側）の取り付け 16
4 リアカバーの取り付け 17

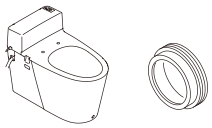
手洗いの施工

便器の施工

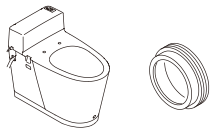
便器の施工手順

または

後ろ抜き（排水高さ =120 mm） U



台輪付き 後ろ抜き（排水高さ =155 mm） U



台輪施工説明書 オプション
2ページ 1 給水位置の確認

1 給水位置の確認 18
2 止水栓の取り付け 18
3 配管工事（止水栓の取り付け）..... 34
4 床工事 34

手洗い付きの場合

5 支柱パイプの取り付け 43
6 手洗いの取り付け 43
7 コネクタの接続 44
8 給水ホース（上側）の取り付け 44
9 排水導入管 B の取り付け 45
10 排水導入管 C の取り付け 45

5 型紙の組み立てと固定片の取り付け 35
6 サイドカバーの取り外し 35
7 接続パッキンの取り付け 36
8 便器の取り付け 36

台輪施工説明書 オプション
2ページ 2 型紙の組み立て
〜
5ページ 7 便器の取り付け

※「アラウーノ専用手洗い」に付属の施工説明書を参照

「アラウーノ専用手洗い」と併設の場合

共通　共通の施工手順　46 ～ 54 ページ

1 止水栓への接続 46
2 便座の取り付け 47
3 リモコンホルダーの取り付け（オプション）..... 47
4 リモコンの取り付け（オプション）..... 48
5 電源プラグの差し込み 48
6 試運転と水漏れの確認 49
・低水圧地域の場合（手洗い吐水と便器洗浄のタイミングの変更）（手洗い付きの場合）..... 50
7 便器洗浄水量の調節（市町村指定の場合）..... 50
・水栓数の変更（手洗い付きの場合）..... 51
8 ストレーナの掃除 51
・施工後に、長期間使用しない場合（便器内部の水抜き）..... 52
9 シーリング方法 53
10 サイドカバーの取り付け 53
11 配管カバーの取り付け（手洗い付きの場合）..... 54

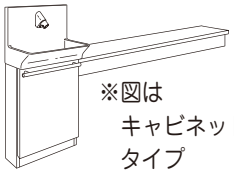
施工完了チェック・引き渡し　裏表紙

壁排水タイプ　排水ジョイント接続の場合

手洗いの施工手順

または

「アラウーノ専用手洗い」と併設 別売手洗



1 便器設置前の手順 15

手洗い付き T



1 サイドカバー・リアカバーの取り外し 15
2 排水導入管 A の取り付け 16
3 給水ホース（下側）の取り付け 16
4 リアカバーの取り付け 17

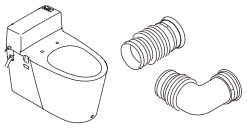
手洗いの施工

便器の施工

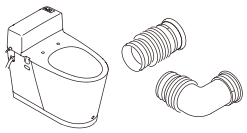
便器の施工手順

または

排水ジョイント接続（排水高さ＝100 ～ 120 mm） J



台輪付き 後ろ抜き（排水高さ＝135 ～ 155 mm） J



1 給水位置の確認 18
2 止水栓の取り付け 18
3 既設便器の取り外し 37
4 床工事 37

手洗い付きの場合

5 支柱パイプの取り付け 43
6 手洗いの取り付け 43
7 コネクタの接続 44
8 給水ホース（上側）の取り付け 44
9 排水導入管 B の取り付け 45
10 排水導入管 C の取り付け 45

5 既設排水管の切断 38
6 サイドカバーの取り外し .. 38
7 排水ジョイントの取り付け 39
8 型紙の組み立てと固定片の取り付け 40
9 排水ジョイントと既設排水管の接続 41
10 便器の取り付け 42

台輪施工説明書 オプション
6ページ 1 既設排水管の切断
〜
12ページ 7 便器の取り付け

※「アラウーノ専用手洗い」に付属の施工説明書を参照

「アラウーノ専用手洗い」と併設の場合

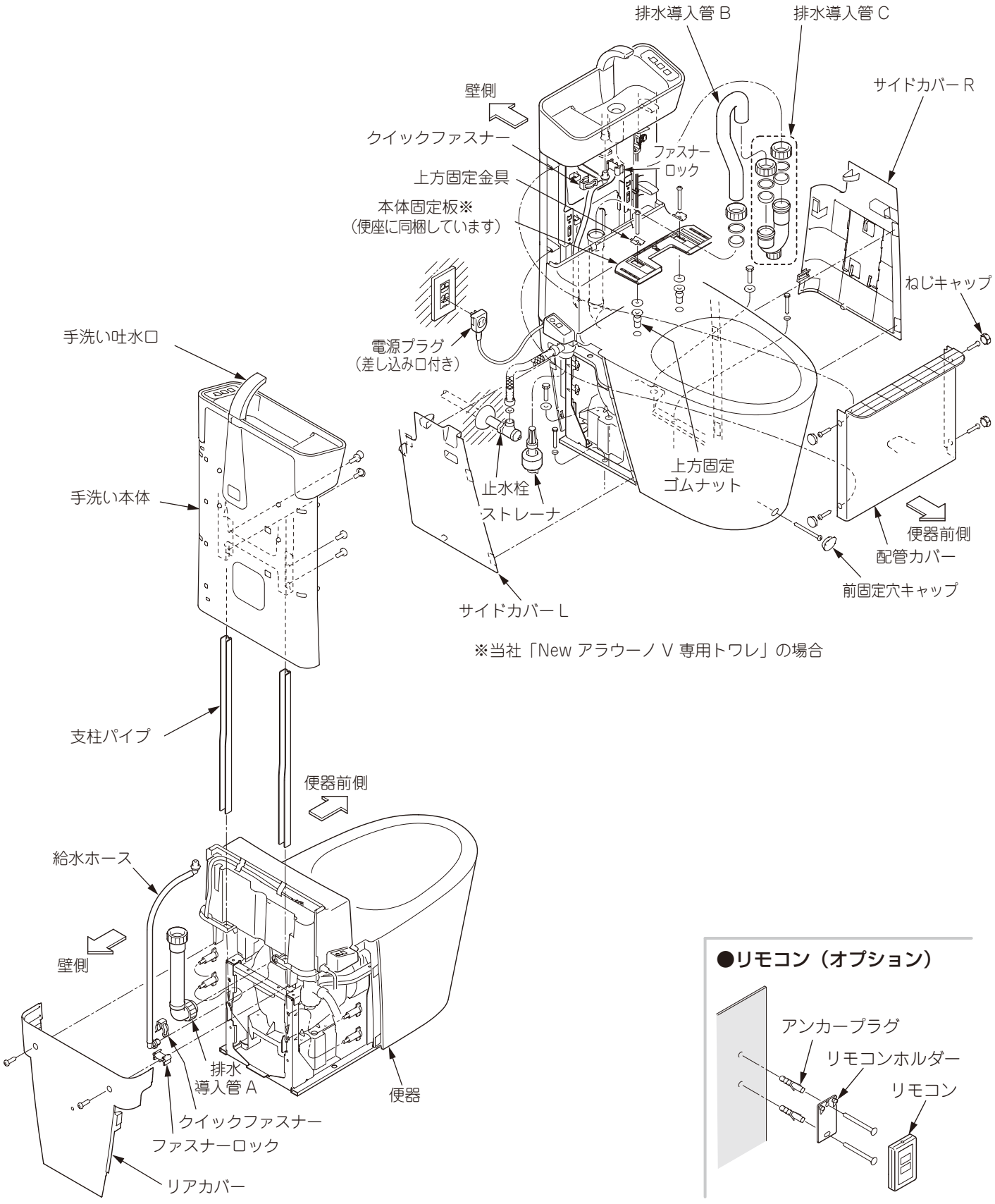
共通　共通の施工手順 46 ～ 54 ページ

1 止水栓への接続 46
2 便座の取り付け 47
3 リモコンホルダーの取り付け（オプション） 47
4 リモコンの取り付け（オプション） 48
5 電源プラグの差し込み 48
6 試運転と水漏れの確認 49
・低水圧地域の場合（手洗い吐水と便器洗浄のタイミングの変更）（手洗い付きの場合） 50
7 便器洗浄水量の調節（市町村指定の場合） 50
・水栓数の変更（手洗い付きの場合） 51
8 ストレーナの掃除 51
・施工後に、長期間使用しない場合（便器内部の水抜き） ... 52
9 シーリング方法 53
10 サイドカバーの取り付け 53
11 配管カバーの取り付け（手洗い付きの場合） 54

施工完了チェック・引き渡し　裏表紙

各部のなまえ

● 床排水、手洗い付きのイラストで説明しています。



※当社「New アラウーノ V 専用トワレ」の場合

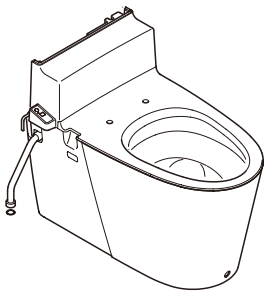
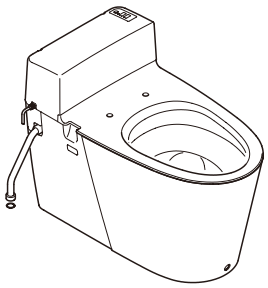
●リモコン（オプション）

▶部品の確認

● 施工前に部品数量を確認してください。また品質に支障のある損傷がないか確認してください。

便器

▶便器

便器（給水ホース・パッキン付き）	手洗い付き 	いずれか1個
	手洗い無し 	

▶便座固定金具セット

● 取り付け方は、便座の施工説明書をご参照ください。
専用便座以外はこの部品は使用しません。
（それぞれの便座に同梱の部品をご使用ください。）

上方固定金具		2個
上方固定パッキン		2個
なべ小ねじ（M6×45 mm）		2本
上方固定ゴムナット		2個

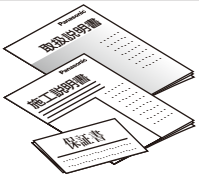
▶便器取付ねじセット

アプセットタッピンねじ（φ6×40 mm）		2本
平座金（6×16×1.0 mm）		2個
なべタッピンねじ（φ5×60 mm）		1本
前固定穴キャップ		1個

▶壁排水タイプのみ同梱

接続パッキン			1個
型紙			1個
固定片セット	トラスタッピンねじ*2 φ5×35		2本
	固定片		1個

▶説明書セット

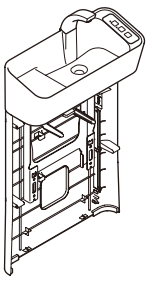
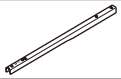
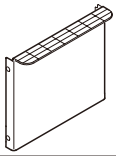
取扱説明書		1部
施工説明書（本書）		1部
保証書*1		1部

*1…CH3010*Gは取扱説明書に保証書付き。

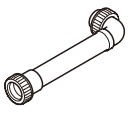
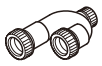
*2…155タイプで台輪セットを使用する場合、この部品は使用しません。台輪セットに同梱のねじを使用してください。

手洗い部

▶手洗い本体

手洗い本体		1個
支柱パイプ		2個
配管カバー		1個

▶配管セット

排水導入管A（袋ナット・スリップワッシャ・パッキン付き）		1個
排水導入管B		1個
排水導入管C（袋ナット・スリップワッシャ・パッキン付き）		1個

▶小物成形品セット

ファスナーロック		2個
ねじキャップ		4個

▶ねじセット

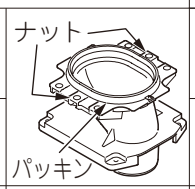
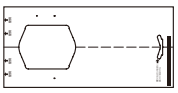
なべ小ねじ（ばね座金・平座金付き（M5×12 mm）		4セット
つまみ付ボルト（M5×35 mm）		4本
なべタッピンねじ（φ4×20 mm）		4本
クイックファスナー		2個

▶給水ホース

給水ホース		1本

配管セット（別売品）

▶床フランジセット

		標準タイプ CH301F	マルチタイプ CH301FM	リフォームダイレクト CH301FW
床フランジ		1個	1個	—
パッキン		1個	1個	—
VU75用リング		1個	1個	1個
＊1 VP100用リング		1個	1個	1個
＊1 VU100用リング		1個	1個	1個
トラスタッピンねじ（φ5×35 mm）		4本	4本	—
六角ボルト（M8×30 mm）		2本	2本	—
平座金（8.5×18×1.2 mm）		2個	2個	—
固定片		1個	—	—
トラスタッピンねじ（φ5×35 mm）		2本	—	—
止水栓セット（呼び13）（給水管、わん座）		1セット	1セット	—
標準タイプ用型紙		1枚	1枚	—

＊1…VP/VU100用リングは、床フランジに仮固定されています。

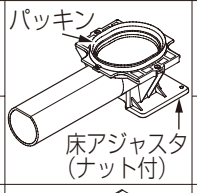
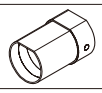
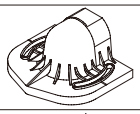
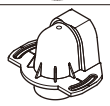
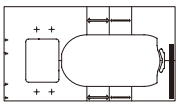
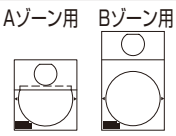
＊2…排水位置が411 ～ 470の場合はソケットが必要です。

＊3…排水位置が411 ～ 510の場合はソケットが必要です。

＊4…新築や、既設の床フランジの損傷が激しい場合は、
別途アラウーノリフォーム用既設床フランジ
（CH120FR01）を手配してください。

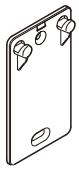
※CH301FE/CH301FRE/CH301FWEの場合、
止水栓はオプションです。
CH301FPまたはCH300FP10（10個入り）を手配してください。

▶床アジャスタセット

		リフォームタイプ CH301FR	マルチタイプ CH301FM	リフォームダイレクト CH301FW
床アジャスタ		1個	1個	1個
パッキン		1個	1個	1個
ソケット		＊2 1個	＊2 1個	＊3 1個
六角ボルト（M8×30 mm）		2本	2本	2本
平座金（8.5×18×1.2 mm）		2個	2個	2個
床フランジ接続部（リフォームタイプ）＊4		1個	1個	—
床フランジ接続部（リフォームダイレクトタイプ）		—	—	1個
T型ボルト		2本	2本	—
平座金（8.5×22×1.5 mm）		2個	2個	—
ナット（M8）		2個	2個	—
トラスタッピンねじ（φ5×35 mm）		2本	2本	4本
Pシール		1個	1個	—
平座金（5.5×12×0.8 mm）		—	—	2個
リフォームタイプ用型紙1		1枚	1枚	1枚
リフォームタイプ用型紙2		1枚	1枚	1枚
固定片		1個	1個	1個
トラスタッピンねじ（φ5×35 mm）		2本	2本	2本
止水栓セット（呼び13）（給水管、わん座）		1セット	—	1セット

リモコン（オプション）（CH300S）

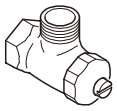
▶リモコンセット

リモコン		1個
リモコンホルダー		1個

単4マンガン乾電池		2本
皿ねじ（φ3.5×16 mm）		2本
皿ねじ（φ3.5×38 mm）		2本
アンカープラグ		2本

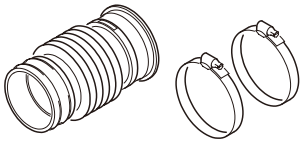
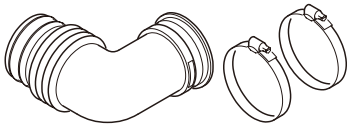
止水栓（給水）（CH301FPに同梱）

▶止水栓セット

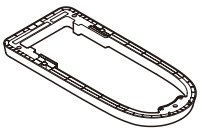
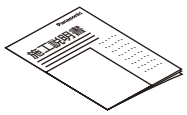
止水栓本体（呼び13）		1個
給水管 ※155タイプの床給水の場合は長さ90 mm～130 mmの給水管を別途手配してください。		1本
わん座		1個

排水ジョイント（別売品）

▶排水ジョイント

排水ジョイントS （品番：CHHP82S）		1セット
排水ジョイントL （品番：CHHP80L）		1セット

台輪セット（別売品）（CH301Z）

台輪			1個
台輪ねじセット	トラスタッピンねじ（φ4.5×50 mm）		3本
	トラスタッピンねじ（φ5×70 mm）		2本
	アプセットタッピンねじ（φ6×80 mm）		2本
	平座金（6×16×1.0 mm）		2本
	施工説明書		1冊

施工時に必要な工具類

- ドライバー ⊕、⊖
- モンキーレンチ
- ラチェットレンチ（M6、M8ボルト締め付け用）
- 塩ビ用接着剤
- シールテープ
- のこぎり（リフォームタイプ）

▶安全上のご注意 必ずお守りください

▶人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図の記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

⃠ 禁止

全般

- **分解・改造・説明書記載以外の修理は絶対に行わない**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **浴室など湿気の多い場所に設置しない**
- **水洗いができる床には設置しない（タイル床仕様、CH3010＊Gを除く）**
  感電・火災・故障の原因になります。

電気に関すること

- **電源コードを無理に引っ張らない**
  けがや発火、発煙の原因になります。
- **便器や手洗いの操作部、電源プラグに水や汚水をかけない**
- **ぬれた手で電源プラグを触らない**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントを使用しない、また電源コードを破損するようなことはしない**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **給水位置の真下にコンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない**
  感電や火災のおそれがあります。

⃠ 禁止

電気に関すること（つづき）

- **便器を取り付けるときは、電源コードをはさみ込まない**
  火災や感電の原因になります。

❗ 必ず守る

全般

- **必ず施工説明書に従って施工する**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **必ず上水道に接続する**
  上水道以外に接続すると、ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。

電気に関すること

- **必ず交流100Vで使用する**
- **コンセントや配線器具は必ず定格内で使用する**
  たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電池に関すること［リモコン（オプション）］

- **電池の ⊕、⊖ を正しく入れる**
  取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。

漏電・火災・水漏れの防止

- **電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う**
  漏電・火災・水漏れの原因になります。

⚠注意

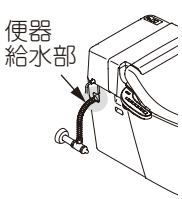
⃠ 禁止

全般

- **便器・手洗いに固いものや重いもの、とがったものを落としたり、当てたりしない**
  変形・破損によるけがの原因になります。

水漏れ防止

- **給水ホースや便器給水部排水管、手洗い吐水口などに力を加えない**
  水漏れの原因になります。



⃠ 禁止

水漏れ防止（つづき）

- **止水栓を開いたままストレーナは外さない**
  水が噴き出し拡大損害になります。
- **給水ホースに手をかけない**
  水漏れの原因になります。

壁排水タイプ（水漏れ防止）

- **排水ジョイントを逆こう配にしない**
  器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流し、水漏れするおそれがあります。
- **排水ジョイントを無理に曲げない**
  器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流し、水漏れするおそれがあります。

⚠注意

禁　止

床フランジ(標準タイプ)

- **床フランジを無理な力で固定しない、また、割れたまま使用しない**
  水漏れの原因になります。

排水アジャスタ(リフォームタイプ)

- **Pシールを二重で使用したり、排水管にはみ出した状態で施工しない**
  排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。

洗剤・薬品に関すること

- **便器のお手入れには下記洗剤を使用しない**
  製品が割れてけがをしたり、製品内部が露出し、感電の原因になります。
  (取扱説明書17ページ参照)

【使用してはいけない洗剤】

- 酸性洗剤　● アルカリ性洗剤*1
- 重曹、アルコールを含む洗剤*2
- トイレ掃除用ペーパー*3
- オレンジオイルを含む洗剤
- 柑橘系の香りを有する洗剤
- 消臭剤　● 滴下するタイプの消臭液
- 苛性ソーダや強塩酸などの薬品
- シンナー、ベンジン、消毒薬、その他薬品

*1…湿布法(取扱説明書19ページ)でお手入れを行う場合は使用可能です。
*2…エタノール、イソプロピルアルコールなど
*3…花王製トイレクイックルは使用可能です。(当社試験により確認済み)

必ず守る

水漏れ防止

- **水道工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う**
  破損・水漏れの原因になります。
- **給排水接続は必ず正しい方法で施工する**
  破損・水漏れの原因になります。
- **床面は、水平に施工する**
  凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。
- **給排水の接続には必ず同梱のパッキンを使用する**
  施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。
- **止水栓にがたつきがないことを確認する**
  水漏れの原因になります。
- **ストレーナふたをしっかりと締めつける**
  水漏れの原因になります。
- **2階以上のトイレルームに設置するときは、必ず床フランジまわりにシーリングを行う**
  階下への水漏れのおそれがあります。
- **施工後必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する**
  水漏れによる拡大損害の原因になります。
- **排水管は奥まで十分に差し込み、接続する**
  施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

必ず守る

水漏れ防止(つづき)

- **便器本体のフレームと床との間にすき間がなくなるまで締め付ける**
  便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。
  便器を置いたままずらすと、パッキンがねじれ水漏れの原因になります。
- **型紙を使って必ず専用の床固定ねじで施工をする**
  水漏れの原因となります。
- **止水栓を開く前に、必ず同じ配管系統で排水し、給水配管の空気を抜く**
  商品の破損や水漏れの原因になります。
- **便器を取り付ける床面は24 mm厚以上の合板を使用する**
  便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。
- **床からの浮きがないようにしっかりと固定する**
  水漏れや転倒によるけがなどの原因になります。

壁排水タイプ(水漏れ防止)

- **便器に接続する排水管は、必ず1/50以上の十分な排水こう配をとる**
  水漏れの原因になります。

凍結防止

- **設置後、しばらく使用せず、凍結のおそれがある場合は、水抜きや不凍液を入れるなどの凍結防止をする**
  破損・水漏れの原因になります。
- **寒冷地以外の地域においても、屋外配管・露出配管については凍結防止ヒーターを取り付けるなどの適切な凍結予防対策を実施する**
  冬場周囲温度が0 ℃以下になると、凍結し、機器や配管が破損したり水漏れの原因になります。

床フランジ(標準タイプ)

- **リングとの接着は、排水管・リングの種類の適合、接着向きを正しく行う、また、塩ビ用接着剤を接着面全面に塗り、奥まで十分接着する**
  床フランジ部からの水漏れ、臭気もれの原因になります。
- **床フランジが床からの浮きや、がたつきがないようにしっかりと4か所を締め付ける**
  締め付けが悪いと便器がぐらついたり、水漏れのおそれがあります。

排水アジャスタ(リフォームタイプ)

- **既設床フランジにしっかり固定する**
  水漏れの原因になります。
- **排水アジャスタが床から浮いたり、がたつかないように床フランジ接続部のナット(2か所)をしっかりと締め付ける**
  水漏れの原因になります。
- **接着は接着面全面に塩ビ管用接着剤を十分に塗り、奥まで十分に差し込み接着する**
  水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。
- **床アジャスタの切断後、端部のバリ、汚れを完全に取り除く**
- **がたつきがないことを確認する**
  水漏れの原因になります。

取り付け前の確認

公的機関の確認事項

1. 一部特定の地域では設置できない場合や水道事業者の承認が必要な場合があります。当社営業所、または販売店にご相談ください。
2. アラウーノは不燃材ではありません。設置の場合は、消防法関連法令および告示などに基づき設置してください。

電気工事に関する注意事項

1. 以下の仕様の場合は必要なコンセントの数が変わります。

仕　様		必要なコンセントの数
便器のみ設置	寒冷地仕様	2個
「アラウーノ専用手洗い」と併設	自動水栓	2個
	自動水栓+寒冷地仕様	3個

2. 便器用電源プラグは差し込み口付きです。差し込み口の使用容量は1400 Wまでです。
3. 第3種接地工事が必要な機器を接続する場合は、別途アース線の接続が必要です。
4. 製品のコードの長さは1 mです。電源コンセントはこれに適した位置へ設置してください。

水関連の注意事項

1. 水道配管工事は各都市水道局の指定店にご依頼ください。
2. 使用水道圧範囲は0.05 MPa（流動時）～0.75 MPa（静止時）です。アラウーノ専用手洗ユニットを併設する場合の使用水道圧範囲は0.1 MPa（流動時）～0.75 MPa（静止時）です。洗面所や浴室などで同時に水栓金具を使用した場合、使用水道圧（流動時動水圧）が低下します。
   使用水道圧（流動時動水圧）を測定する場合は、必ず同時使用状態で最低使用水道圧（流動時動水圧）が確保されているかをご確認ください。
   最低使用水道圧（流動時動水圧）が確保されているかをご確認ください。
3. 上水道でのみご使用ください。井戸水（地下水）を使用された場合、商品の故障の原因となります。
4. 大便器の施工に際しては、下水道への放流の場合、自治体の指定業者でなければできませんのでご注意ください。弊社営業所、または販売店にご相談ください。
5. 向かって右に給水位置がある場合、オプションの延長給水ホースが必要となります。

長さ	品番
1m	CH100R01

   ※右給水の場合、50 cmの延長給水ホース（CH100R02）では長さが足りません。
6. 洗面所や浴室など他の蛇口が開いたり、便器洗浄と手洗いの水を同時に使用した場合、洗浄流量が下がります。低水圧環境下での使用で、便器洗浄水の流れが弱い場合や手洗いから水が出ない場合は、手洗い吐水のタイミングを変更してください。（50ページ参照）

床工事関連の注意事項

1. 2階以上に設置の場合には、トイレ床面の防水工事をおすすめします。
2. 床仕上げは必ず水平にしてください。床面が水平でない場合は、便器がぐらついたり水漏れするおそれがあります。
3. 便器を取り付ける床面の強度が十分（24 mm厚以上の合板）でない場合、24 mm厚以上の合板で床面を補強してください。

その他

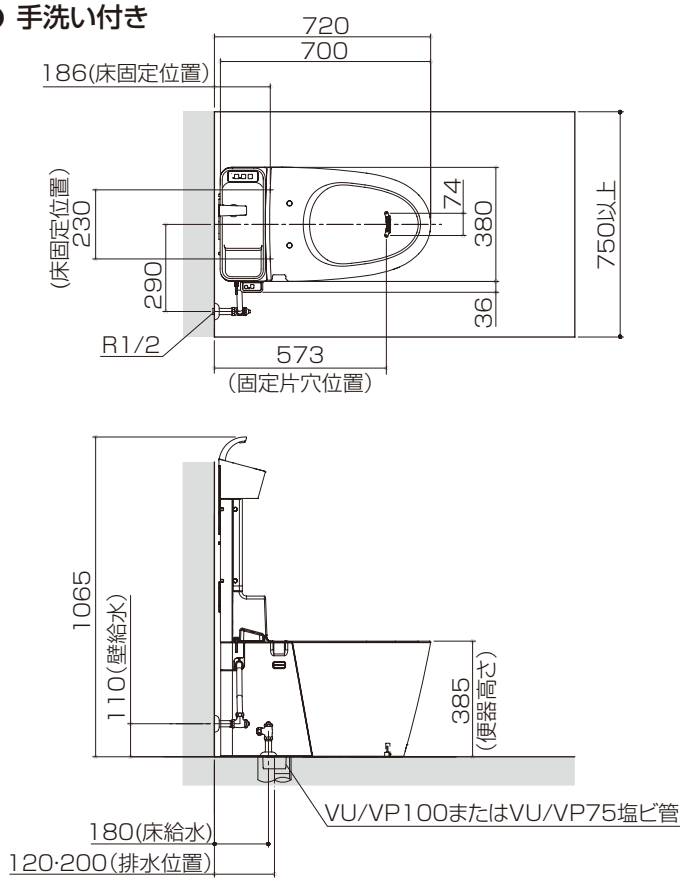
1. 必ず指定の止水栓をお使いください。止水栓は壁給水・床給水兼用です。
2. 次のような場合に動作に影響するおそれがあります。
   【直射日光が本体受信部・リモコン発信部にあたっている場合】
   直射日光をカーテンなどで遮断してください。
   【壁紙や天井が黒色や濃い色の場合】
   リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。
   製品の納入前に必ず現場をご確認ください。
   【同室で2台以上並べて設置される場合】
   隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。壁を天井までつなげてください。もしくは、信号を変更できますので、買い上げの販売店までお問い合わせください。（有料）
3. タイル床仕様、CH3010＊G以外は水洗い掃除ができる床には設置することができません。商品の故障の原因となります。
4. トイレ用床材（木質床材、クッションフロアなど）の選定に当たっては、耐水・耐アンモニア性などに十分ご配慮ください。床に滴下した小便が便器と床材のすき間に進入し床に染みが発生することがあります。
5. 製品の使用温度範囲は0 ～ 40 ℃です。必ず指定の温度環境で設置してください。
6. 手洗い付きの場合、施工完了後は必ず手洗い通水し、封水してください。
7. 扉開閉時に扉が便器に当たらない位置に設置してください。
8. 直射日光や強いライトが製品にあたる位置への設置はお避けください。
   製品が変色したり劣化したりするおそれがあります。
9. 2階以上に設置する場合、排水管内の圧力の影響を緩和するために、通気管を設けることをおすすめします。
10. 水道水を使用して検査をしています。
    ・開梱、施工時に多少の水滴が出ることがありますが、異常ではありません。
    ・検査時の残水が凍結している場合がありまので、温めてから施工してください。
11. リモコンは指定の範囲内に取り付けてください。

▸寸法図

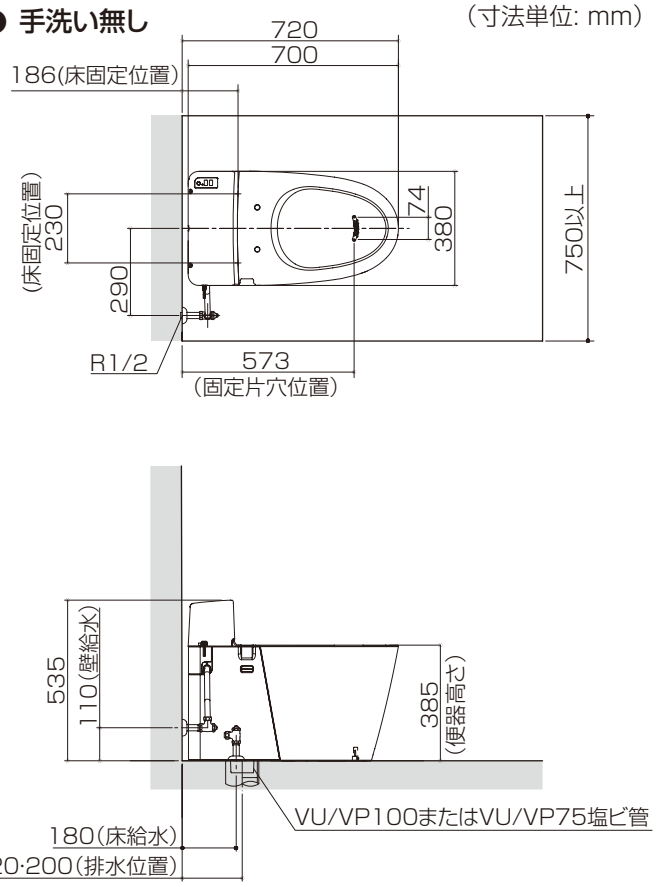
床排水タイプ　標準タイプ

（寸法単位: mm）

● 手洗い付き



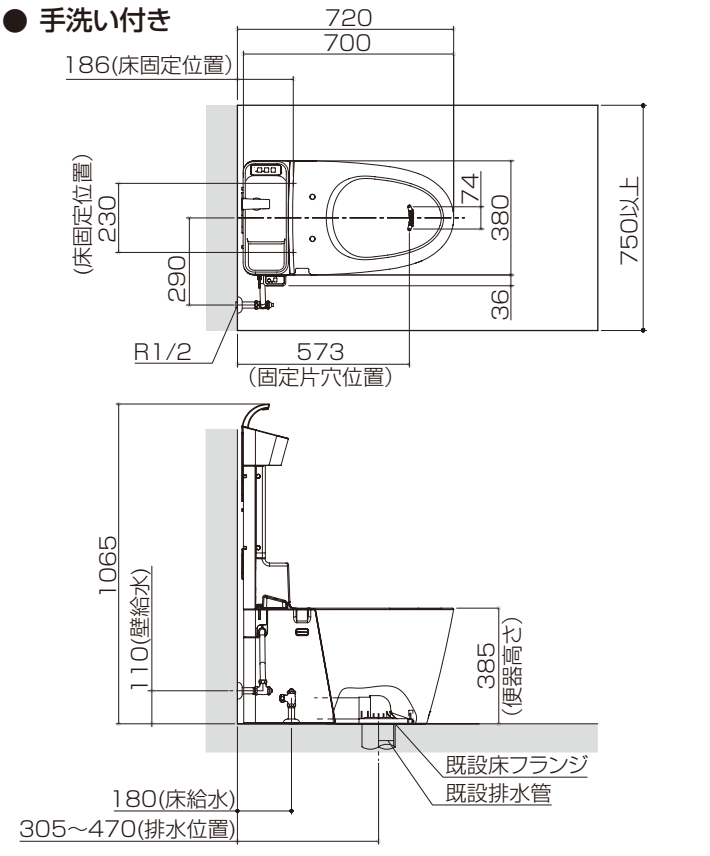
● 手洗い無し



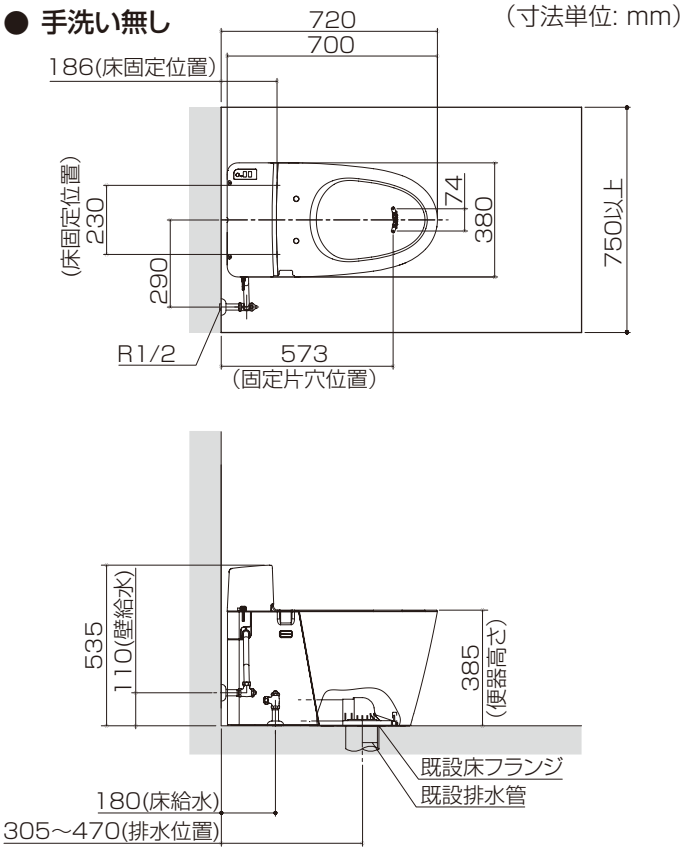
リフォームタイプ

（寸法単位: mm）

● 手洗い付き



● 手洗い無し

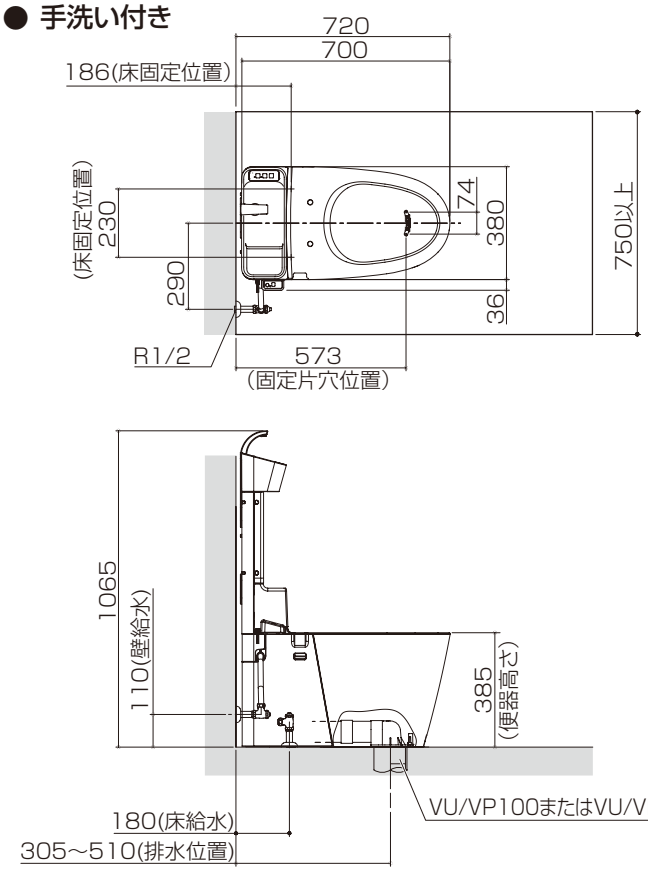


※給水位置は既設の位置をご確認ください。

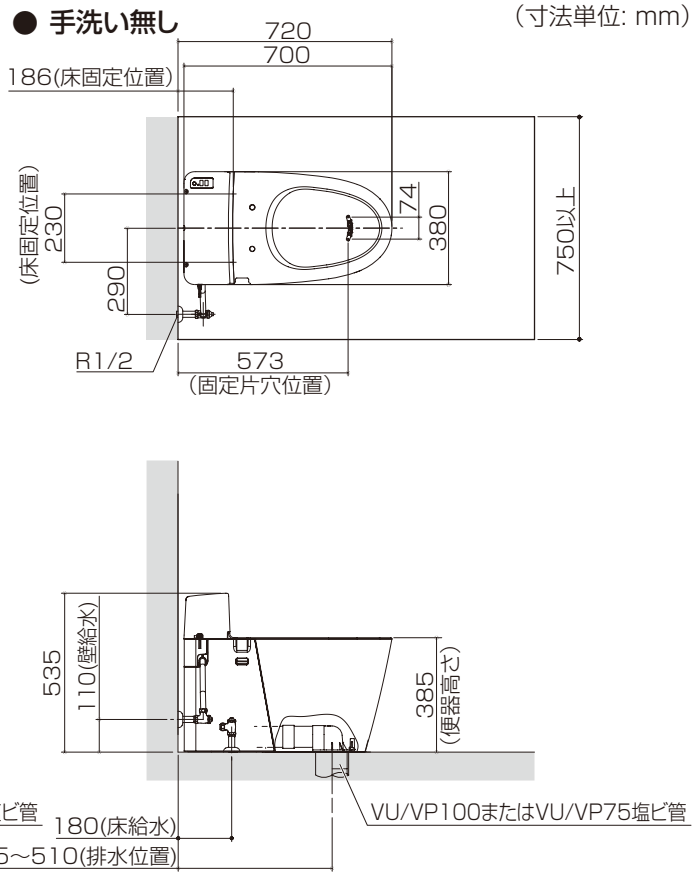
リフォームダイレクトタイプ

（寸法単位: mm）

● 手洗い付き



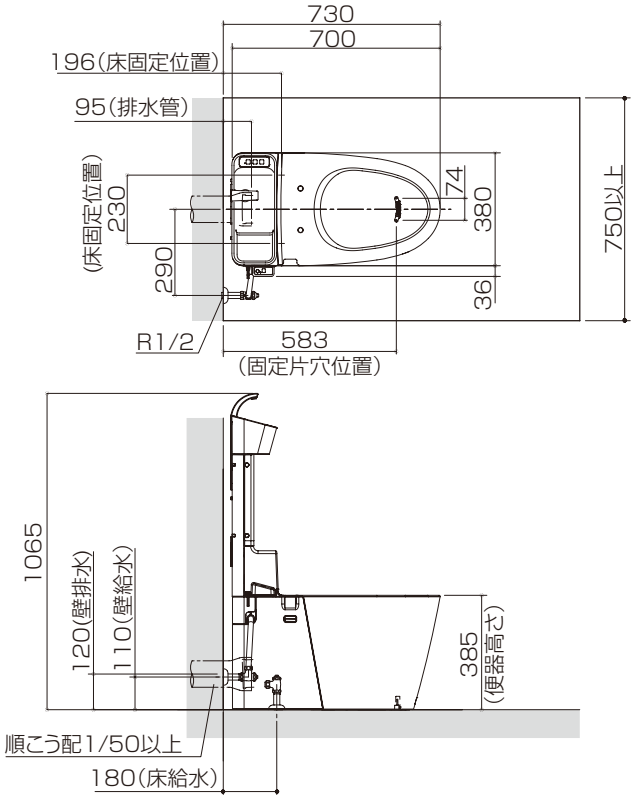
● 手洗い無し



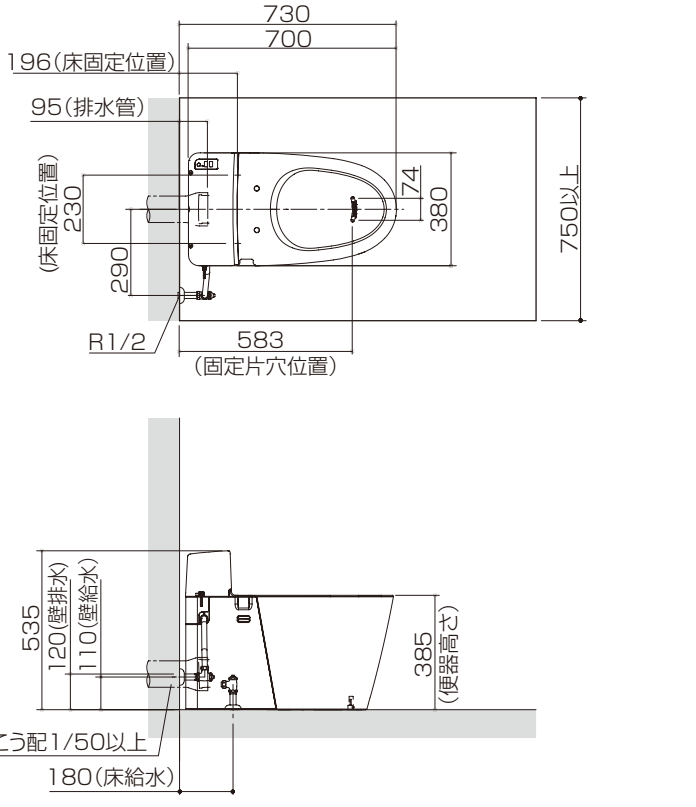
壁排水タイプ　後ろ抜きタイプ

（寸法単位: mm）

● 手洗い付き(120タイプ)



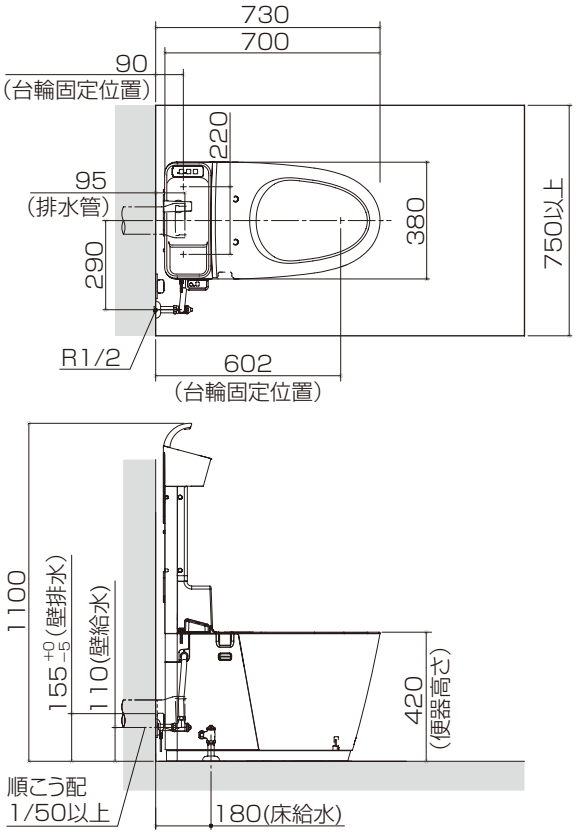
● 手洗い無し(120タイプ)



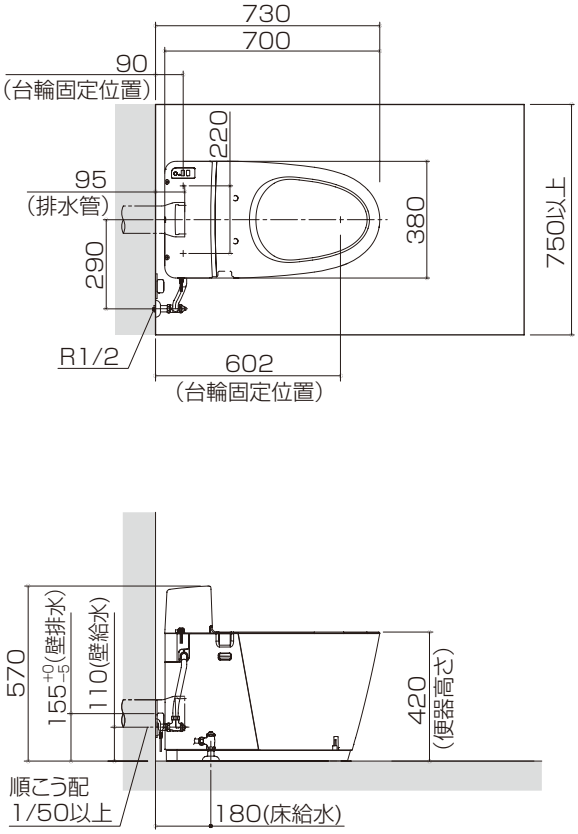
※給水位置は既設の位置をご確認ください。

壁排水タイプ　後ろ抜きタイプ

● 手洗い付き（155タイプ）

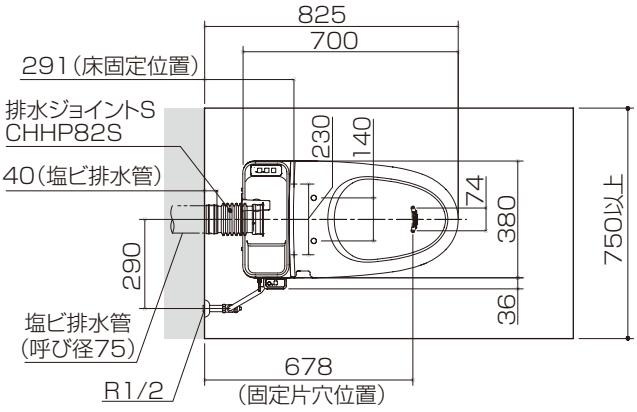


● 手洗い無し（155タイプ）　（寸法単位: mm）

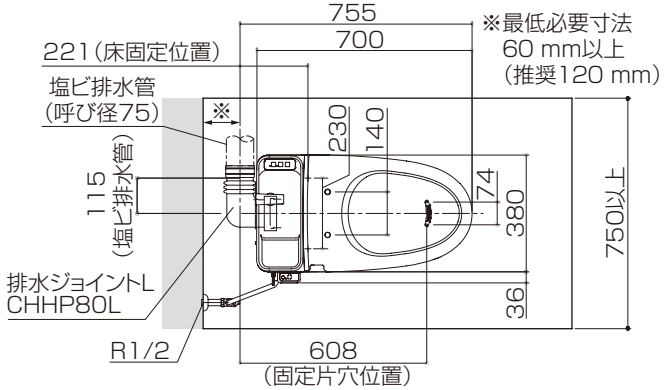


壁排水タイプ　排水ジョイント接続

● 手洗い付き（排水ジョイントS）　（寸法単位: mm）



● 手洗い付き（排水ジョイントL）



※給水位置は既設の位置をご確認ください。

別売手洗

「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合

- 「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。

⚠警告

禁止	●分解や改造はしない 感電・火災・けがの原因になります。
必ず守る	●必ず施工説明書に従って施工する 感電・火災・けがの原因になります。

手順 1

便器設置前の手順

- 右記の 1 ～ 5 は「アラウーノ専用手洗い」に付属の説明書を参照してください。

1. 「アラウーノ専用手洗い」を壁に据え付ける
2. 給水管・排水管を「アラウーノ専用手洗い」に取り付ける
3. 便器のリアカバーを外し、指定の位置を切り欠く
4. 排水導入管を便器に取り付ける
5. リアカバーを取り付ける

手洗い無しの場合、H 標準タイプは19ページ 、R リフォームタイプは24ページ
D リフォームダイレクトタイプは29ページ 、U 後ろ抜きタイプは34ページ
J 排水ジョイント接続の場合は37ページ へ進んでください

T

手洗いの取り付け

- 手洗い付きの場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。

⚠警告

禁止	●分解や改造はしない 感電・火災・けがの原因になります。
必ず守る	●必ず施工説明書に従って施工する 感電・火災・けがの原因になります。

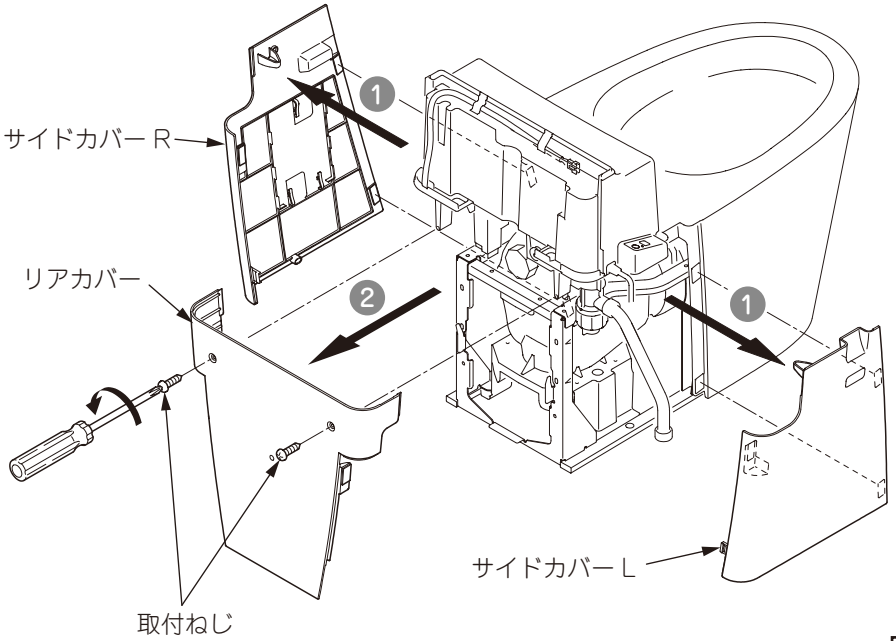
手順 1

サイドカバー・リアカバーの取り外し

1. サイドカバーの取っ手に手を掛けて引き、サイドカバーを取り外す
2. 取付ねじ 2か所 を緩めて外し、リアカバーを取り外す

お願い

- **外したねじを無くさないでください。**
「手順4」でリアカバーの取り付けに使用します。17ページ参照



手 順 2

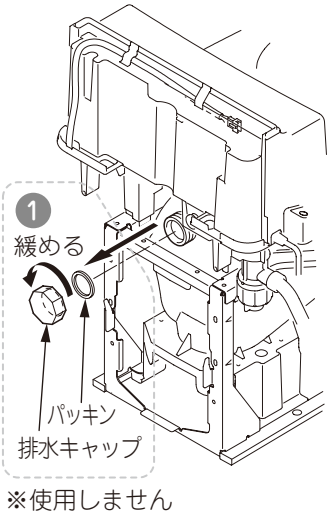
排水導入管Aの取り付け

1. 便器背面の排水キャップとパッキンを緩めて外す
（取り外した排水キャップとパッキンは使用しません。）
（外しにくい場合は工具を使ってください。）
2. 排水導入管Aの便器側を排水口に差し込む
3. 取付ナット、スリップワッシャ 、パッキンを締め込み固定する

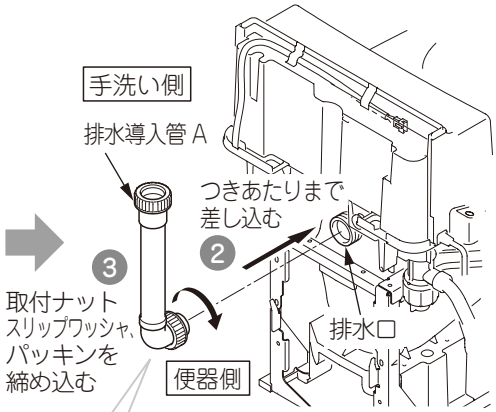
⚠注意

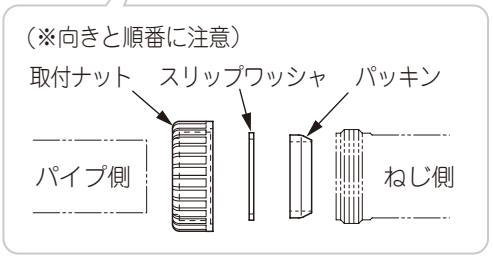
必ず守る

- **スリップワッシャとパッキンを正しい向きと順番で確実に締め込む**
水漏れの原因になります。
- **排水導入管Aを、つきあたりまで確実に差し込む**
水漏れやリアカバーが閉まらないなどのおそれがあります。



※使用しません





手 順 3

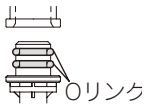
給水ホース（下側）の取り付け

1. 給水ホースを便器の給水口に差し込む

⚠注意

必ず守る

- **Oリングに汚れがついていたり、ねじれていたりしないか確認する**
- **Oリングがかまないように給水ホースをまっすぐに差し込む**
水漏れの原因になります。

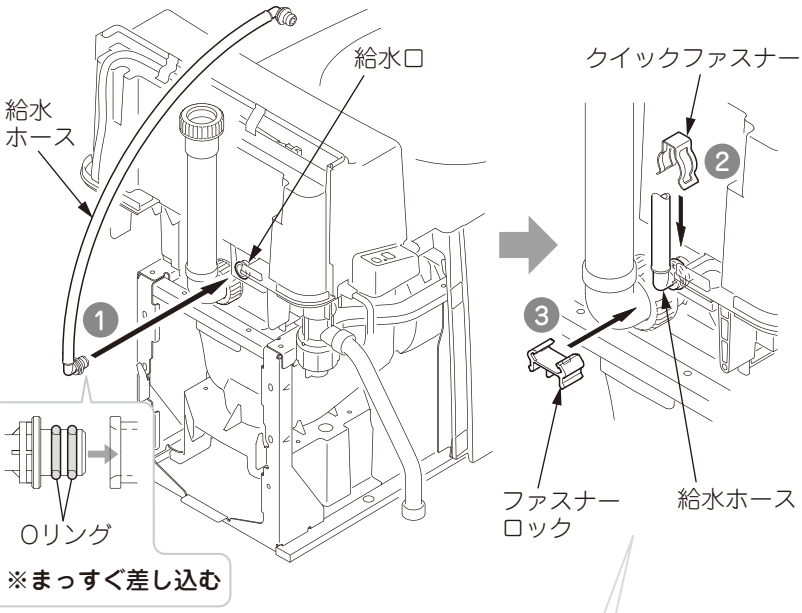


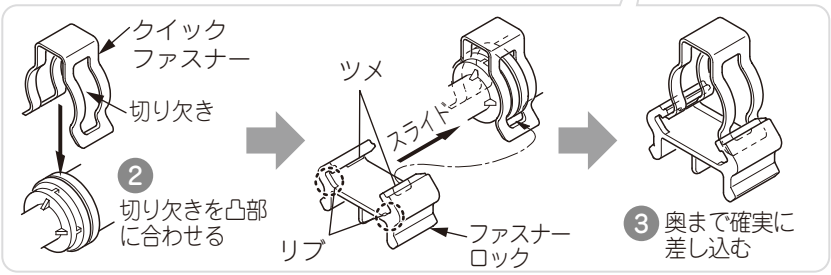
2. クイックファスナーの切り欠きを給水ホース接続部の凸部にはめ込む
3. ファスナーロックをクイックファスナーの奥まで確実に差し込む

⚠注意

必ず守る

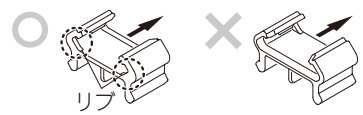
- **クイックファスナーおよびファスナーロックを確実に差し込み、給水ホースが抜けないことを確認する**
水漏れの原因になります。





ポイント

- ファスナーロックは、リブ(突起部)の反対側から取り付けてください。



手 順 4

リアカバーの取り付け

1. リアカバーを元の位置に合わせる
2. リアカバーを「手順1」で外したねじで取り付ける 2か所 15ページ参照

床排水タイプの場合のポイント

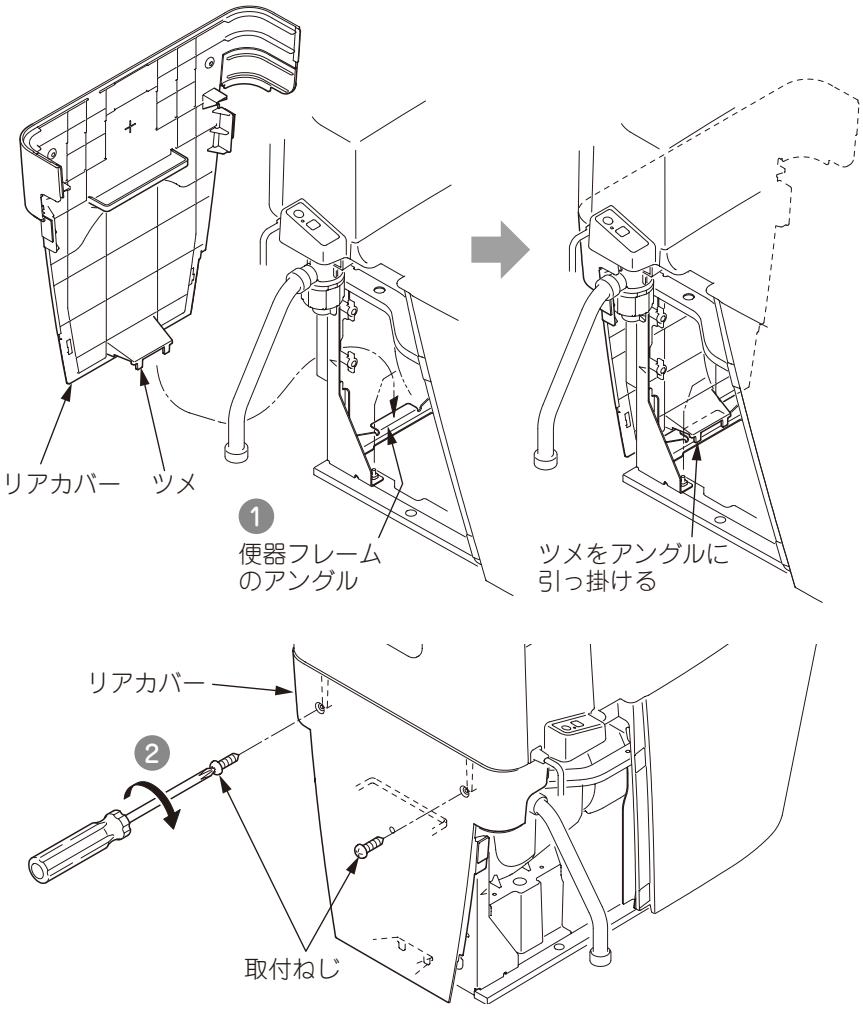
- リアカバーの下側のツメを便器フレームのアングルに引っ掛けてから、リアカバー上部を押して、取付穴を合わせてください。

お願い

- **取り付けには電動ドリルドライバーを使用しないでください。**
  強いトルクで締めつけると破損の原因になります。

リアカバーが取り付かない場合

- 排水導入管Aが、排水口のつきあたりまで確実に差し込まれているか確認してください。
  16ページ参照



給水位置の確認と止水栓の取り付け

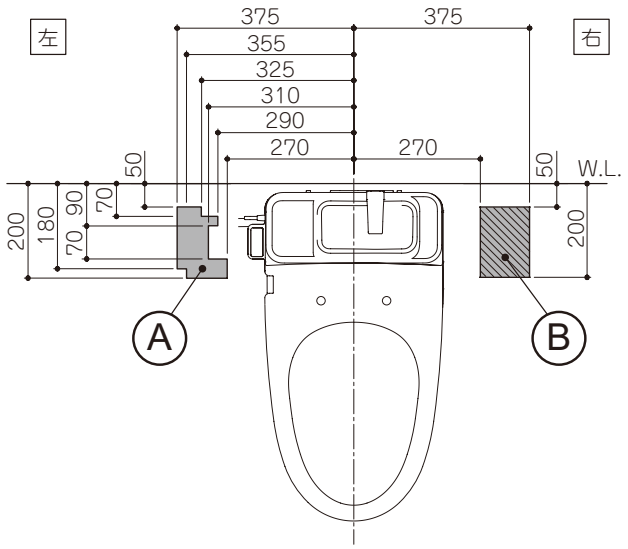
手 順 1

給水位置の確認

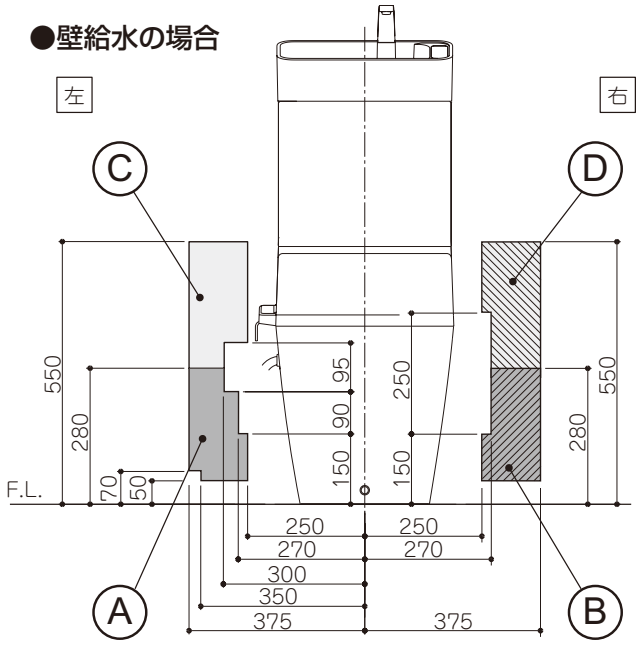
（寸法単位: mm）

1 既設給水位置が下図の給水可能範囲内にあることを確認する

●床給水の場合



●壁給水の場合



記号	説明	記号	説明
Ⓐ	付属の給水ホースのみを使用した場合の給水接続可能位置 ※「アラウーノ専用手洗い」の左設置は可能です。	Ⓒ	付属の給水ホースのみを使用した場合の給水接続可能位置 ※「アラウーノ専用手洗い」の左設置はできません。
Ⓑ	オプションの延長給水ホース（長さ1 m、品番：CH100R01）を使用した場合の給水接続可能位置 ※「アラウーノ専用手洗い」の右設置は可能です。	Ⓓ	オプションの延長給水ホース（長さ1 m、品番：CH100R01）を使用した場合の給水接続可能位置 ※「アラウーノ専用手洗い」の右設置はできません。

※右給水の場合、50 cmの延長給水ホース（CH100R02）では長さが足りません。

手 順 2

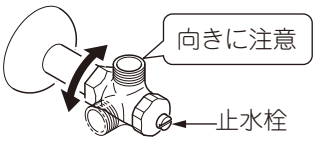
止水栓の取り付け

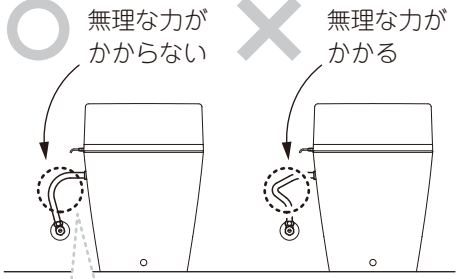
1 水道の元栓を閉め、
同梱の止水栓を取り付ける

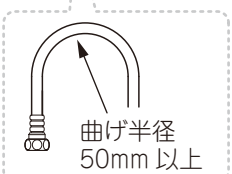
⚠注意

必ず守る

● **止水栓にがたつきがないことを確認する**
水漏れの原因になります。







※図は壁給水の場合。
※床給水の場合も、同様に止水栓の向きにご注意ください。

お願い

- **必ず同梱の止水栓を使用してください。**
  他の止水栓を使用すると、便器洗浄性能を損なう原因になります。
- **止水栓の向きに注意し、給水ホースがねじれたり折れたりしないよう、注意して取り付けてください。**
  便器洗浄水量が不足する原因になります。
- **壁排水155タイプで床給水の場合は、長さ90mm ～ 130mmの給水管を別途手配してください。**

H 標準タイプ→19ページ 、U 壁排水タイプ 後ろ抜きの場合→34ページ
J 排水ジョイント接続の場合→37ページ へ進んでください

H

床排水タイプ

標準タイプの取り付け

- 標準タイプの場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。
- ここでは、手洗い無しのイラストで説明しています。

⚠警告

禁　止	●分解や改造はしない 感電・火災・けがの原因になります。	必ず守る	●必ず施工説明書に従って施工する 感電・火災・けがの原因になります。

手順 1

床工事

1 床面を水平に仕上げる

⚠注意

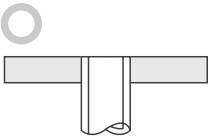
必ず守る

- **床面は、水平に施工する**
  凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。
- **排水管や既設の床フランジの破片を排水管内に落としていないかを確認する**
  排水詰まりの原因になります。

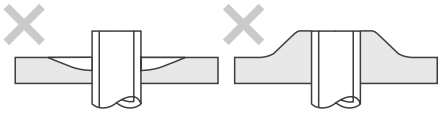
お願い

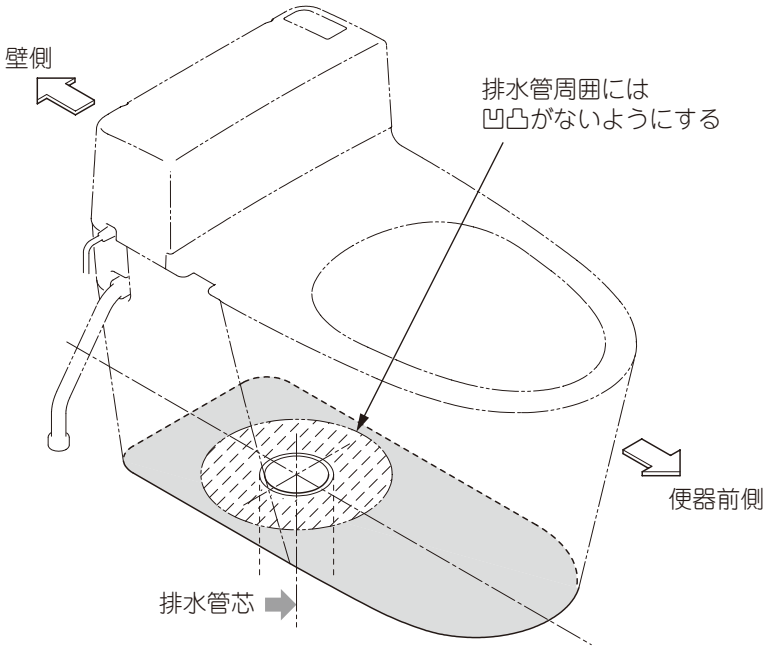
- **排水管周囲は、凹凸がないようにしてください。**
  施工不良の原因になります。

●良い施工例



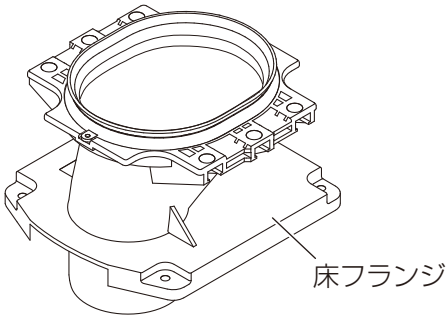
●悪い施工例





手順 2

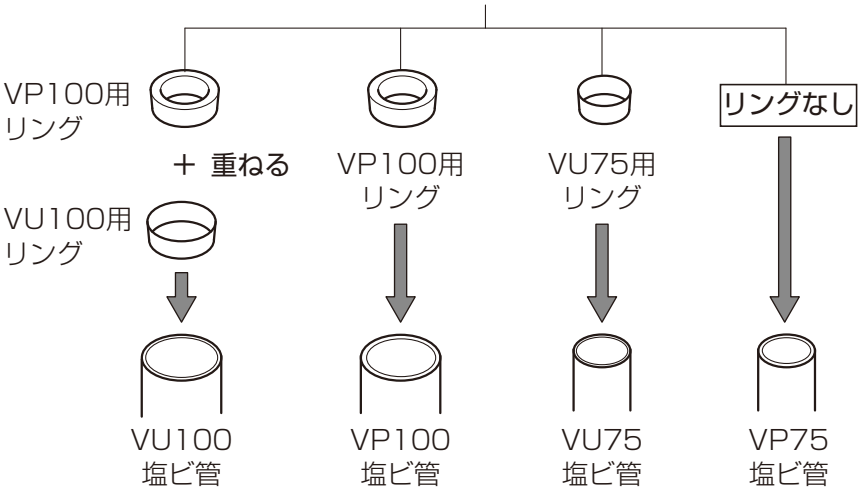
床フランジとリングの取り付け



❶ 排水管に適合するリングを選ぶ

- VU ／ VP100用リングは、床フランジに仮固定されています。
- 下図組み合わせにないリングは使用しません。

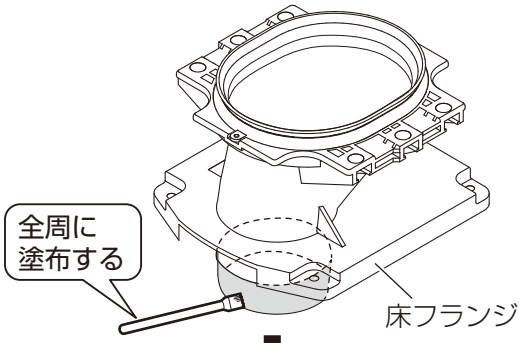




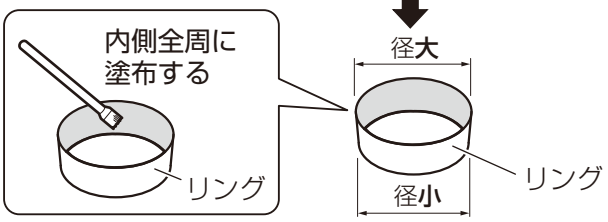
❷ リング内側全周、および床フランジの差し込み部全周に塩ビ用接着剤を塗る
（塩ビ用接着剤は別途手配ください。）



塩ビ用接着剤
（別途手配）



❸ リングの径の小さい方を下側にし、床フランジをリングに差し込み、接着する



⚠注意

必ず守る

- **リングとの接着は、排水管・リングの種類の適合、接着向きを正しく行う、また、塩ビ用接着剤を接着面全周に塗り、奥まで十分接着する**
  床フランジ部からの水漏れ、臭気もれの原因になります。
- **床フランジ内にリングを同梱しているため、必ず床フランジからリングを取り除いて設置する**
  床フランジ内にリングが残ったまま設置すると、排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。

手順 3

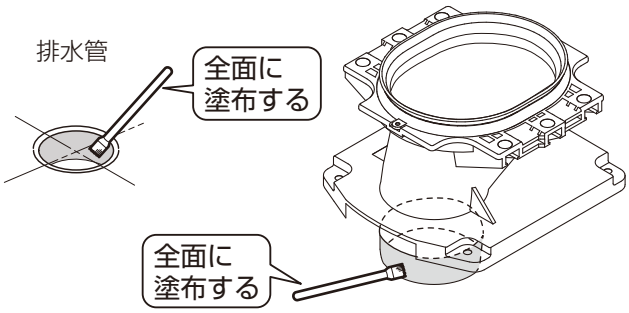
床フランジの取り付け

ねじ固定前に下穴(φ3程度)を開けると作業しやすくなります。
(床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。)

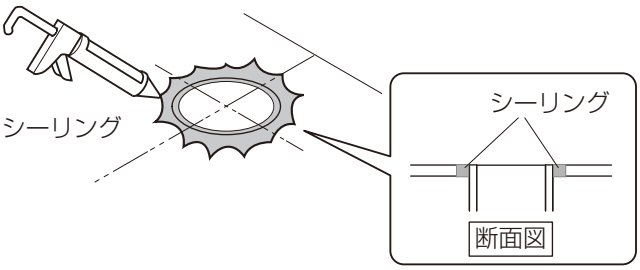
❶ 排水管を床面と面一になるように切断する



❷ 2階以上のトイレルームの場合は、
排水管のまわりをシーリング防水する



❸ 排水管・床フランジに塩ビ用接着剤を塗布する



⚠注意

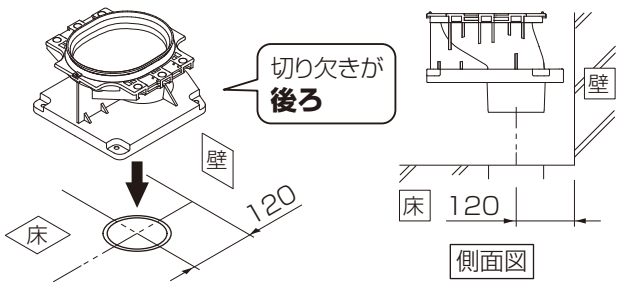
必ず守る

- **2階以上のトイレルームに設置するときは、必ず排水管まわりにシーリングを行う**
  階下への水漏れのおそれがあります。
- **排水管や既設の床フランジの破片を排水管内に落としていないかを確認する**
  排水詰まりの原因になります。

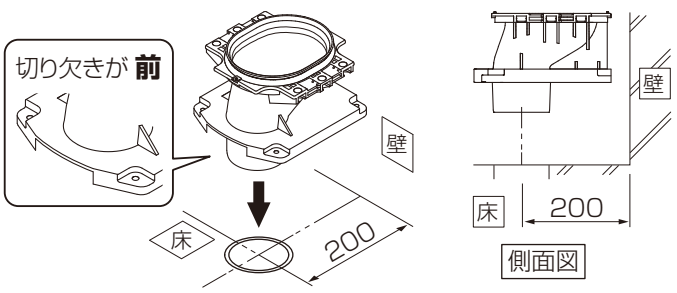
❹ 床フランジをセンターラインに合わせて、
床面にあたるまで差し込み、排水管と接着する

■床フランジの取り付け向きについて

排水芯120の場合



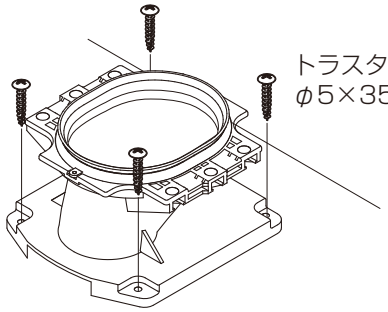
排水芯200の場合



5 ねじで床フランジを固定する

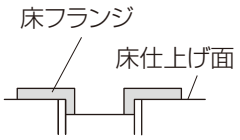
⚠注意

禁　止	●床フランジを無理な力で固定しない また、割れたまま使用しない 水漏れの原因になります。
必ず守る	●床フランジが床からの浮きや、がたがないようにしっかりと4か所を締め付ける 便器がぐらついたり、水漏れのおそれがあります。



お願い

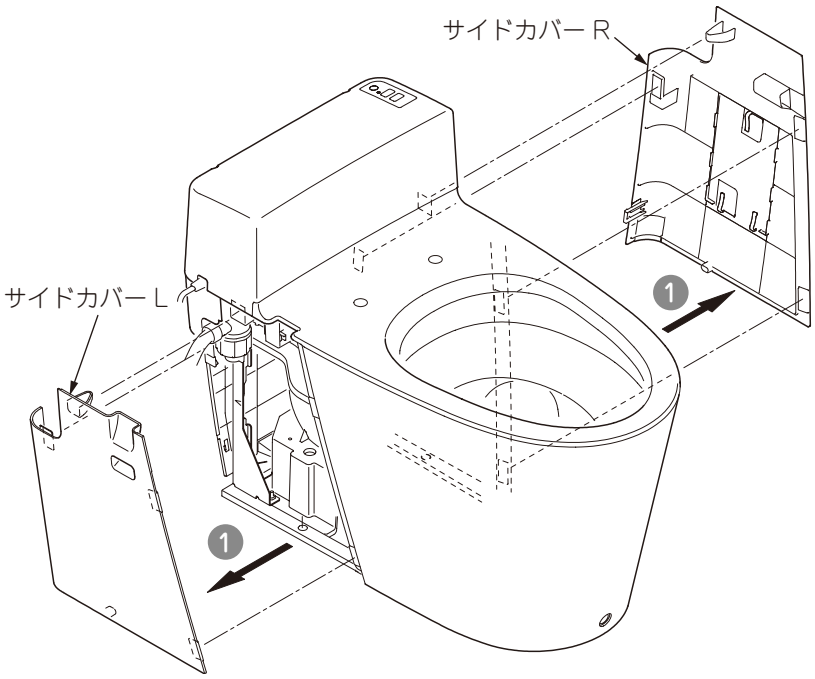
- 床フランジは、フランジ部が必ず床仕上げ面の上に乗るようにしてください。



手 順 4

サイドカバーの取り外し

1 サイドカバーの取っ手に手を掛けて引き、サイドカバーを取り外す



手順 5

便器の取り付け

ポイント

- ねじ固定前に下穴(φ3mm程度)を開けると作業しやすくなります。(床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。)

⚠注意

必ず守る

- **パッキンの上下の向きを確認する**
  水漏れの原因となります。

パッキン側面図
上
下

1. 標準用型紙を床フランジの形状に合わせて置く

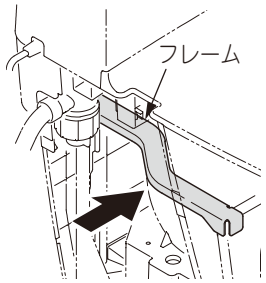
ポイント

- 便器の設置角度を正しくするために型紙の便器中心線と側面の壁が平行になるように置いてください。

2. 床固定位置にφ3 mmの下穴を開ける 2か所
3. 固定片を標準用型紙の切り欠き部にはめ、トラスタッピンねじ φ5×35 mm で固定する 2か所
4. 標準用型紙を破って取り外す
5. 床フランジの上部にパッキンおよびナットがきちんと取り付けられているか確認する
6. 便器を床フランジに六角ボルト M8×30 mm と平座金 8.5×18×1.2 mm で固定する 2か所
7. 便器を床にアプセットタッピンねじ φ6×40 mm と平座金 6×16×1.0 mm で固定する 2か所
8. 便器前方を固定片になべタッピンねじ φ5×60 mm で固定する 1か所
9. 前固定穴キャップを、切り欠きを上にして便器前方にはめ込む

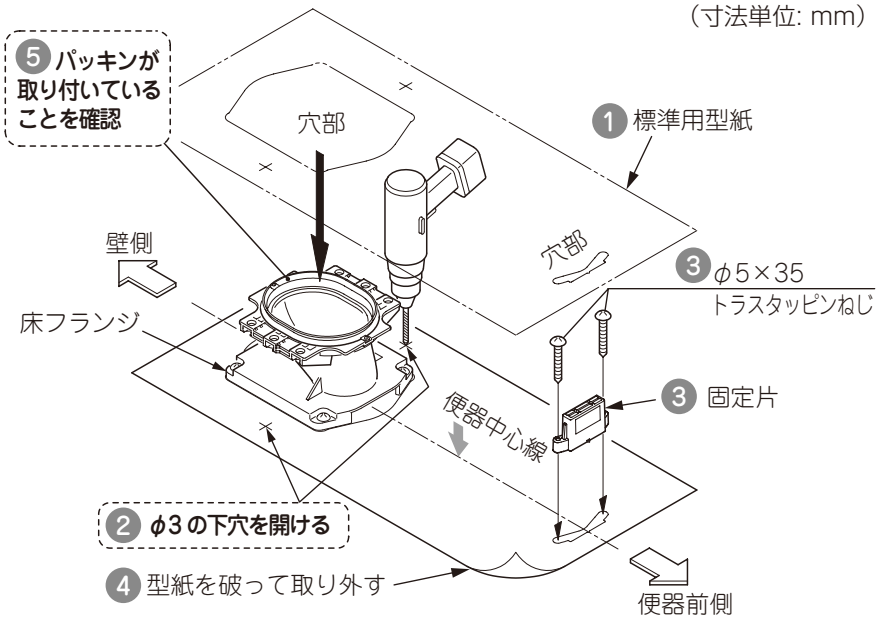
ポイント

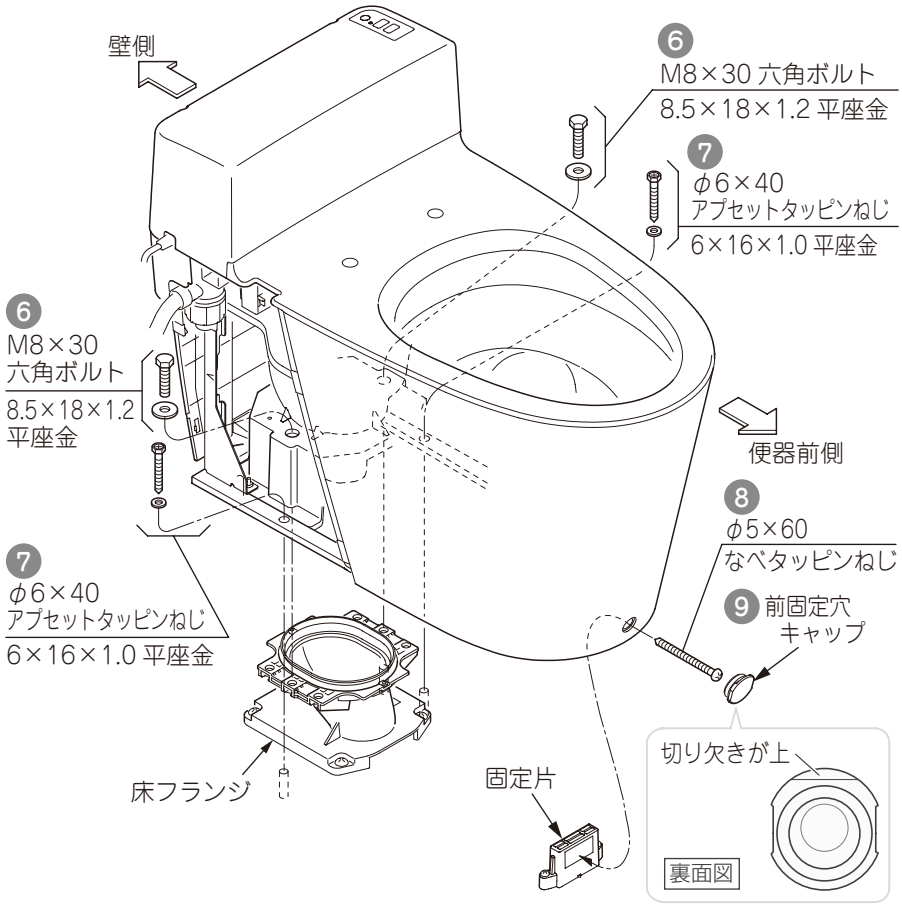
- 便器を持つときはこのフレームに両側から手を掛けて持ち上げてください。



- フレーム上にあるダンボールは外さないでください。
- 便器と床のすき間がなくなるまでアプセットタッピンねじを締めつけてください。
- 床仕上材によって便器が沈み込む場合は、スペーサーを入れてください。サイドカバーが取り付けしづらい事があります。
- 固定片の取付ねじは破損しないようゆっくりと締めつけてください。

(寸法単位: mm)





共通 共通の施工手順→46ページ 「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合は、「アラウーノ専用手洗い」付属の説明書を参照して配管を連結してください。

床排水タイプ

リフォームタイプの取り付け

- リフォームタイプの場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。

はじめに18ページの下記の手順を確認してください。

手順 1 給水位置の確認

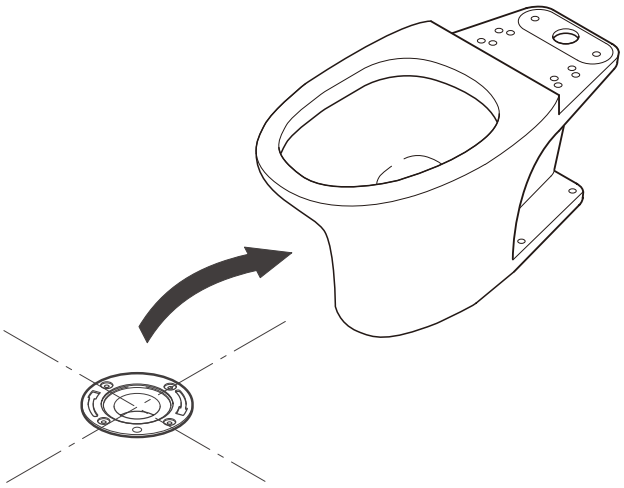
手順 2 止水栓の取り付け

手順 3 既設便器の取り外し

1. 既設の便器を取り外す
2. 既設Pシールまたは既設パッキンをきれいに取り除く
3. 排水管の中心線を床にけがく

ポイント

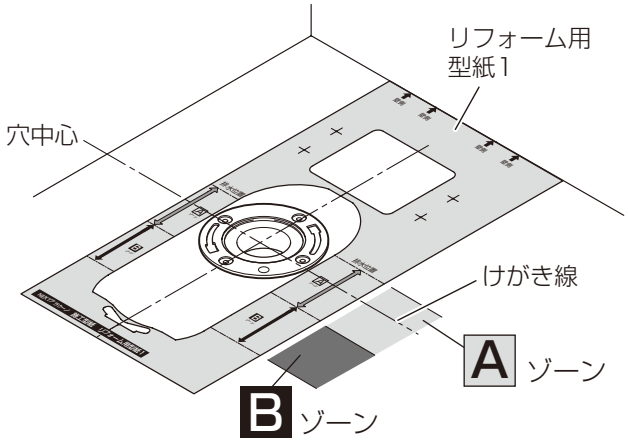
- 下記の場合は、アラウーノリフォーム用既設床フランジ[CH120FR01]を別途ご用意ください。
  ①既設の便器が床フランジを用いないタイプの場合
  ②既設の便器がPシールを用いないタイプの場合
  ③床フランジの損傷が激しい場合



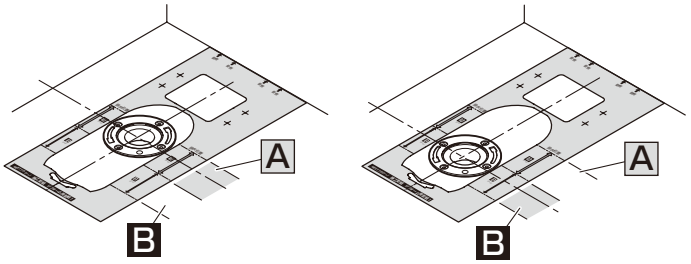
手順 4 床アジャスタの切断

※排水芯470 mmの場合も、床アジャスタの切断が必要です。

リフォーム用型紙1を壁にそわせて置き、
排水芯の位置を確認する



お願い A、B ゾーンのどちらに該当するか
必ず確認してください。

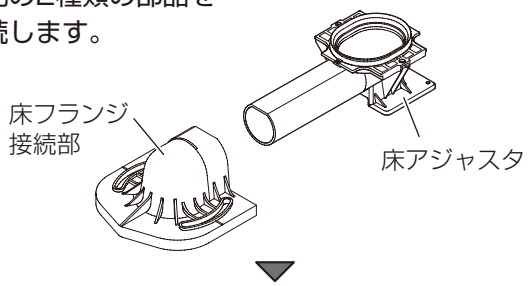


- 排水芯が470 mmより大きい場合は、型紙の排水対応範囲に既設の排水位置が入るように型紙を置いてください。
- 専用手洗いユニットの10 cm前出しタイプを取り付ける場合は、壁から100 mm離して置いてください。

排水芯位置によって施工方法が異なります

けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

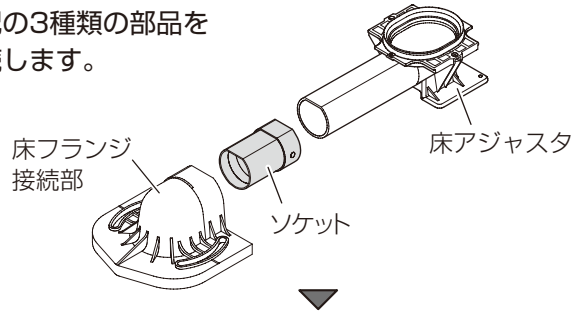
下記の2種類の部品を
接続します。



次ページの A を参照し、施工してください。

けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

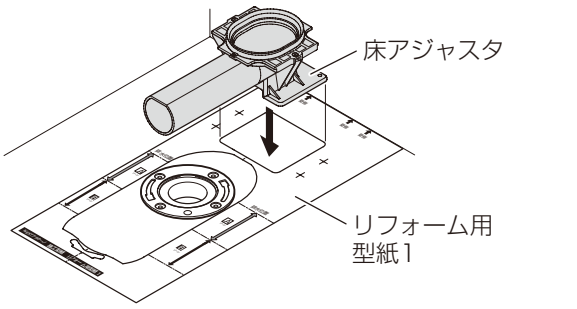
下記の3種類の部品を
接続します。



次ページの B を参照し、施工してください。

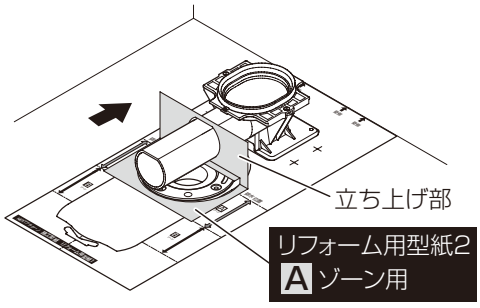
けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

1 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする

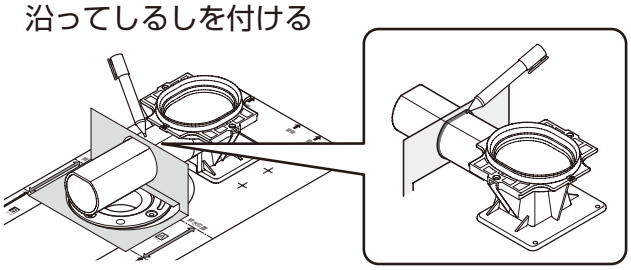


2 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

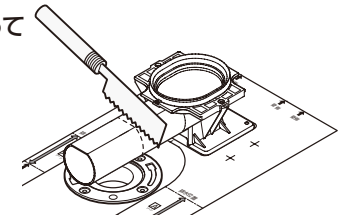
3 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Aゾーン用)を差し込み、既設の床フランジに合わせて設置する



4 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



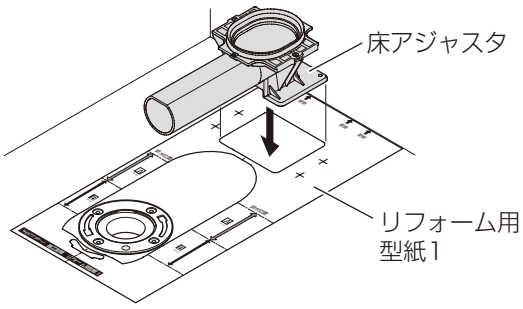
5 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する



※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

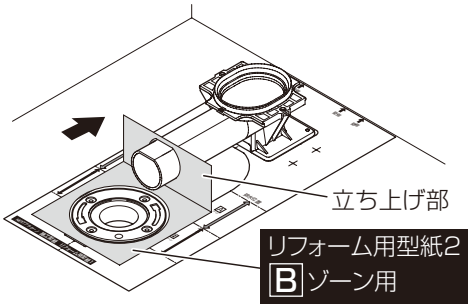
けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

1 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする

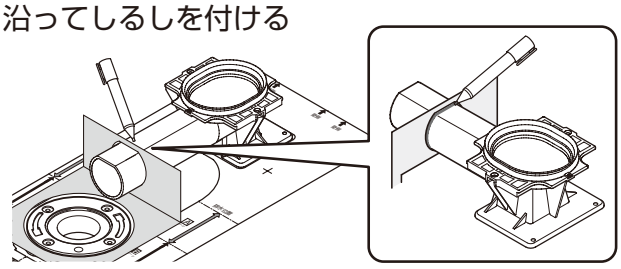


2 リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

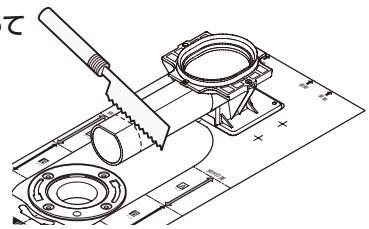
3 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Bゾーン用)を差し込み、既設の床フランジに合わせて設置する



4 リフォーム用型紙２(Bゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



5 リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する



※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

⚠注意

必ず守る

●床アジャスタを切断後は端部のバリ、汚れを完全に取り除く

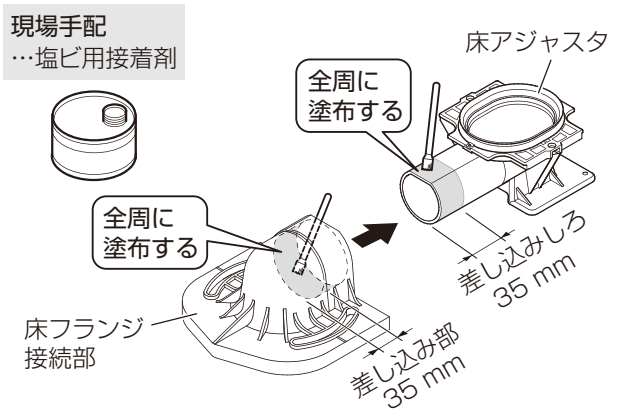
バリや汚れが付着したまま接着すると水漏れの原因になります。

手順 5

排水アジャスタの組み立て

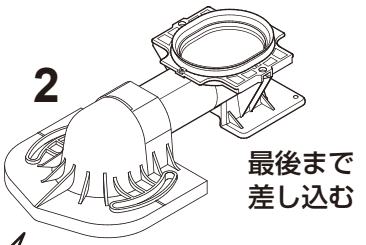
けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

1 床フランジ接続部の差し込み部と、床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗布する



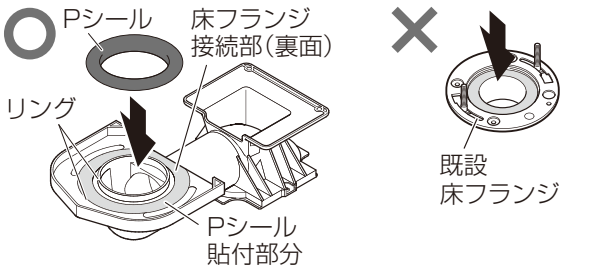
2 床アジャスタを床フランジ接続部に差し込む

3 Pシールを床フランジ接続部裏側にセットする



3

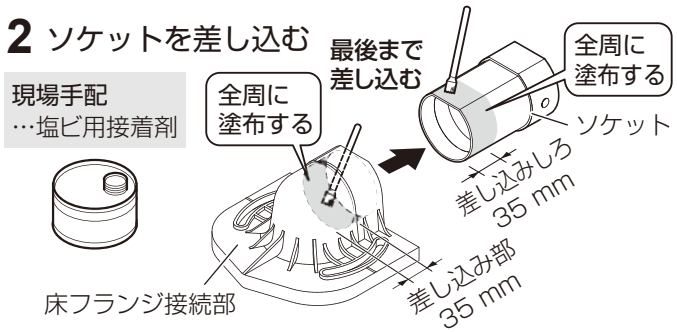
Pシールは、必ず2本のリング線の間に貼り付ける。
はりつけが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み洗浄不良の原因となります。



けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

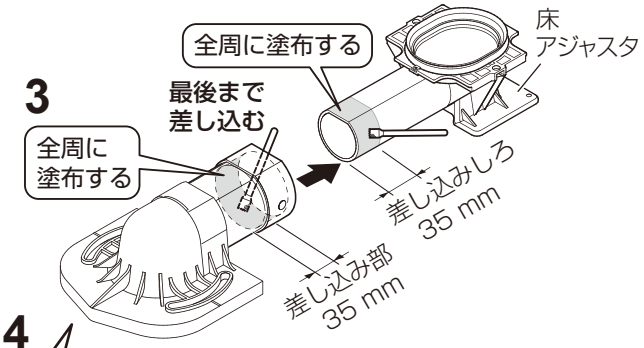
1 床フランジ接続部の差し込み部とソケットの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗る

2 ソケットを差し込む



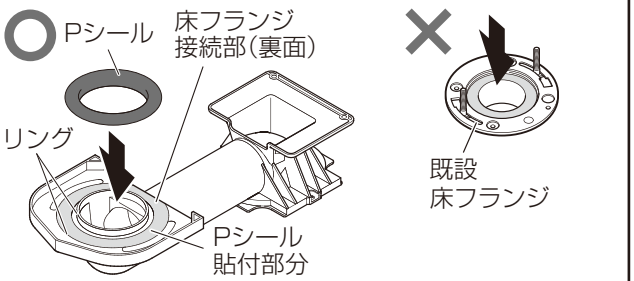
3 ソケット差し込み部と床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用の接着剤を塗り、組み立てる

4 Pシールを床フランジ接続部裏側にセットする



4

Pシールは、必ず2本のリング線の間に貼り付ける。
はりつけが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み洗浄不良の原因となります。



⚠注意

禁止	●Pシールを二重で使用したり、排水管にはみ出した状態で施工しない 排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。	必ず守る	●排水アジャスタの接着は、接着面全周に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分押し込んで接着する 施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。 ●Pシールは2本のリング線の間に収まるよう、押し広げながら貼り付ける シール不良による水漏れの原因になります。また、Pシールが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み、排水不良になります。

手順 6

排水アジャスタの取り付け

ねじ固定前に下穴（φ3 mm程度）を開けると作業しやすくなります。
（床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。）

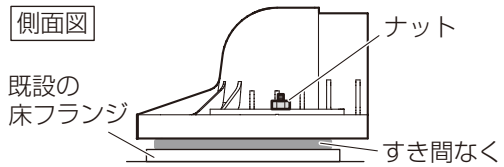
1 リフォーム用型紙1の床固定位置に
φ3 mmの下穴を2か所開ける

2 既設の床フランジにT形ボルトを取り
付ける

3 リフォーム用型紙1の切り欠き部に
合わせて排水アジャスタを設置し、
ねじで固定する

4 床フランジ接続部の上からナットで
締め付ける

床フランジ接続部が床から浮かないように、上からナットですき間がなくなるまで締めつけてください。

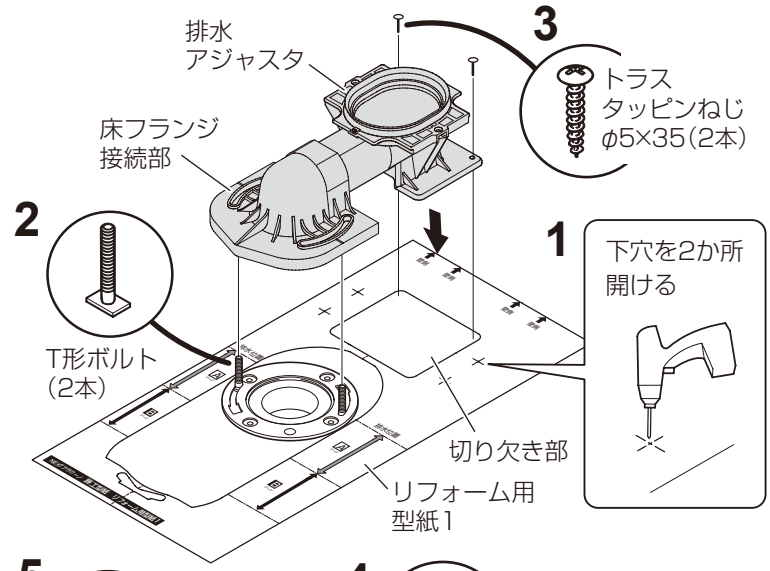


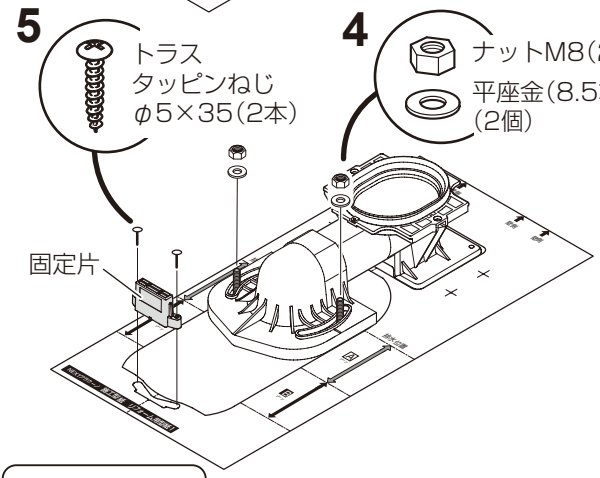
5 固定片をリフォーム用型紙1の切り欠き
部にはめ、ねじで固定する

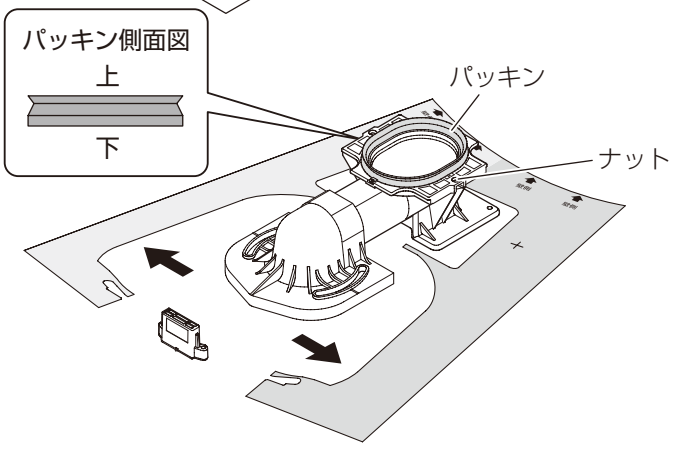
6 排水アジャスタ上部にパッキン、ナット
が取り付けられていることを確認する

※向かって右側に給水位置がある場合は、
便器を設置する前に延長給水ホースを
壁にそって仮置きしてください。

7 リフォーム用型紙1を破って取り外す







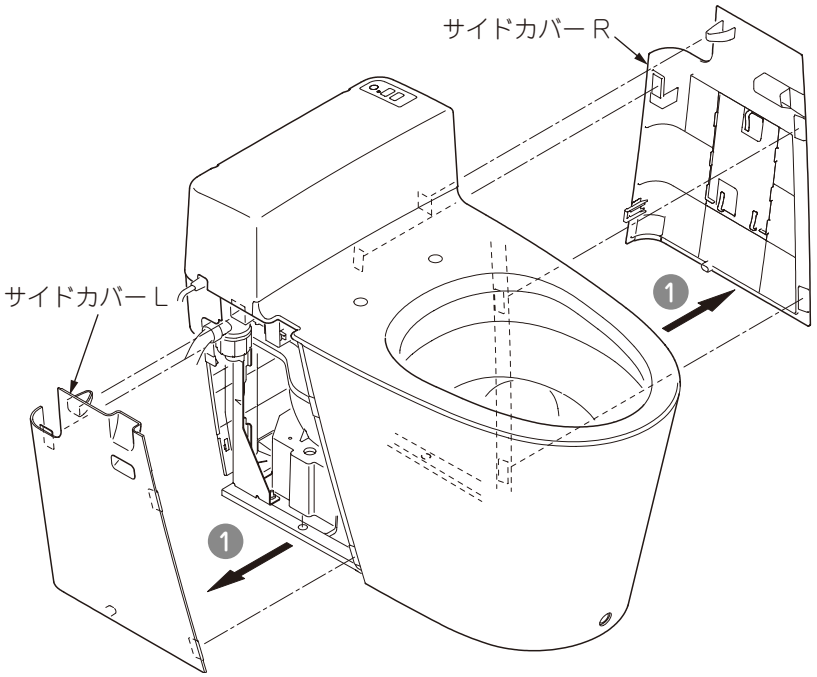
⚠注意

必ず守る	●排水アジャスタが床から浮いたり、がたつかないように床フランジ接続部のナット(2か所)をしっかりと締めつける 水漏れの原因となります。	必ず守る	●パッキンの上下の向きを確認する 水漏れの原因となります。

手順 7

サイドカバーの取り外し

1 サイドカバーの取っ手に手を掛けて引き、サイドカバーを取り外す



手順 8

便器の取り付け

1 延長給水ホース(オプション)を使用する場合、延長給水ホースを壁に沿って仮り置きする
18･46ページ参照

2 便器を排水アジャスタに六角ボルト M8×30 mm と平座金 8.5×18×1.2 mm で固定する 2か所

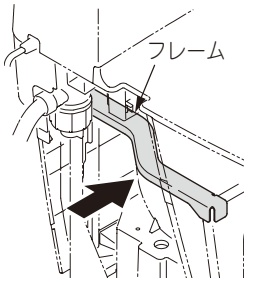
3 便器を床にアプセットタッピンねじ φ6×40 mm と平座金 6×16×1.0 mm で固定する 2か所

4 便器前方を固定片になべタッピンねじ φ5×60 mm で固定する 1か所

5 前固定穴キャップを、切り欠きを上にして便器前方にはめ込む

ポイント

- 便器を持つときはこのフレームに両側から手を掛けて持ち上げてください。



- フレーム上にあるダンボールは外さないでください。
- 便器と床のすき間がなくなるまでアプセットタッピンねじを締めつけてください。
- 床仕上材によって便器が沈み込む場合は、スペーサーを入れてください。サイドカバーが取り付けしづらい事があります。
- 固定片の取付ねじは破損しないようゆっくりと締めつけてください。

⚠警告

禁 止

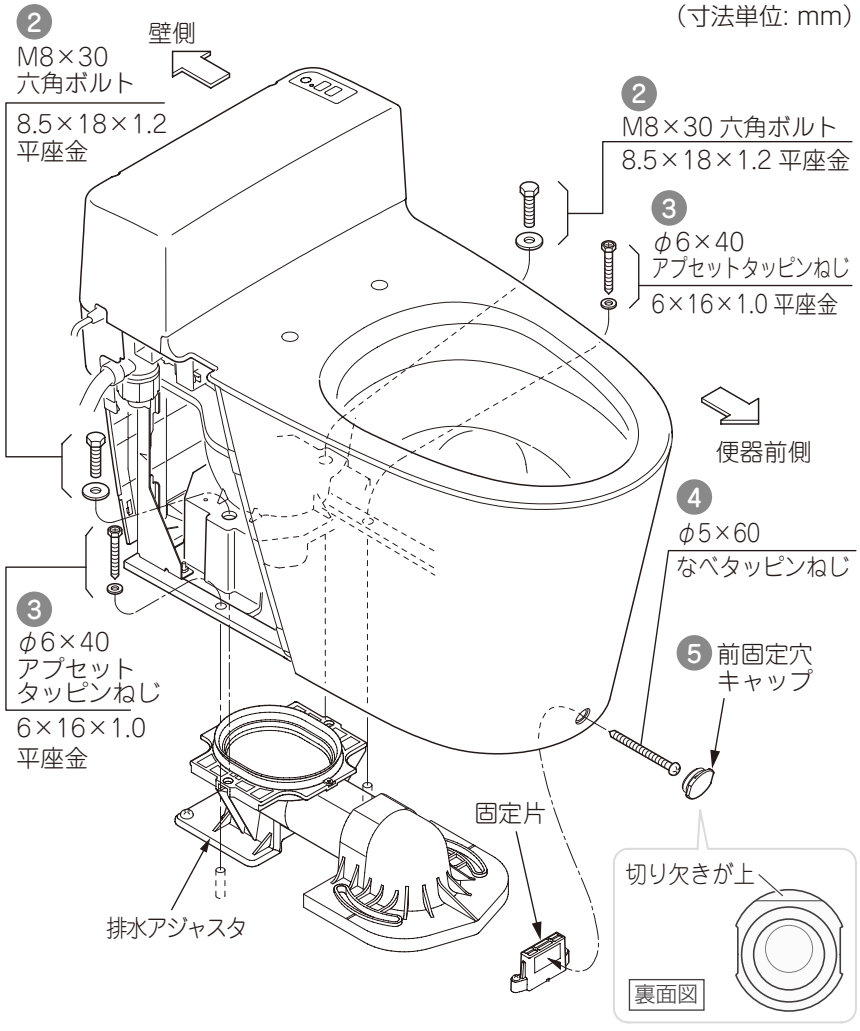
- **便器を取り付けるとき、電源コードをはさみ込まない**
  火災や感電の原因になります。

⚠注意

必ず守る

- **便器ががたつきがないことを確認する**
  水漏れの原因になります。

(寸法単位: mm)



共通 共通の施工手順→46ページ 「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合は、「アラウーノ専用手洗い」付属の説明書を参照して配管を連結してください。

D

床排水タイプ

リフォームダイレクトタイプの取り付け

- リフォームダイレクトタイプの場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。

はじめに18ページの下記の手順を確認してください。

手順 1 給水位置の確認

手順 2 止水栓の取り付け

手順 3

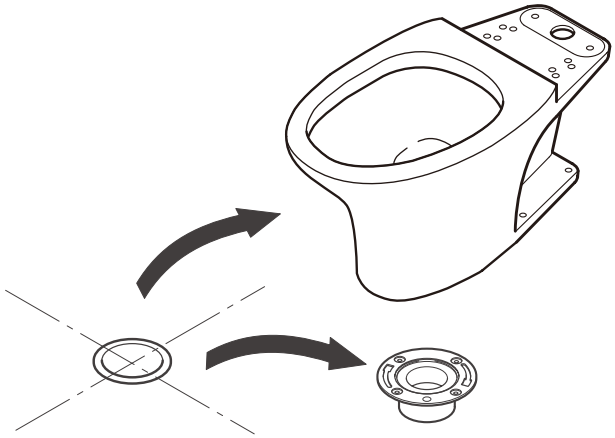
既設便器の取り外し

1. 既設の便器を取り外す
2. 既設の床フランジをきれいに取り除く
   床面は水平に仕上げる 19ページ参照
3. 排水管の中心線を床にけがく

⚠注意

必ず守る

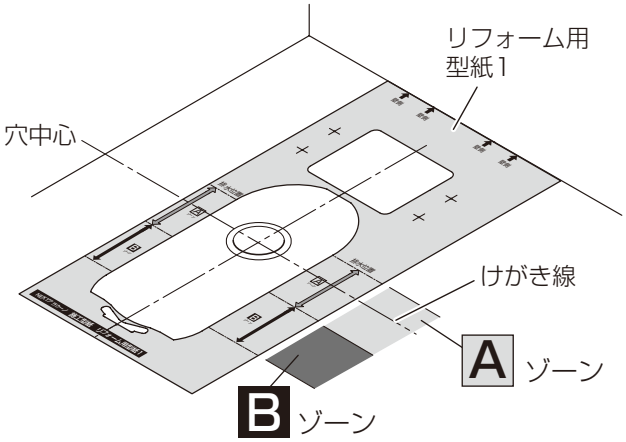
- **排水管や既存の床フランジの破片を排水管内に落としていないかを確認する**
  排水詰まりの原因になります。



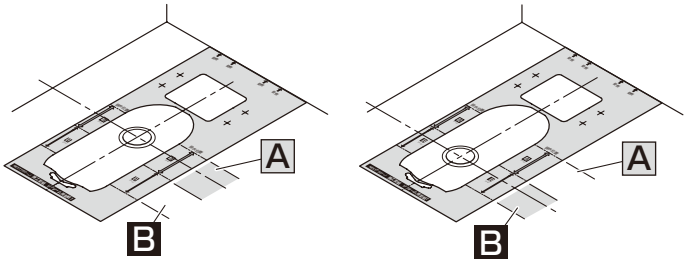
手順 4

床アジャスタの切断

リフォーム用型紙1を壁にそわせて置き、
排水芯の位置を確認する



お願い A、B ゾーンのどちらに該当するか
必ず確認してください。

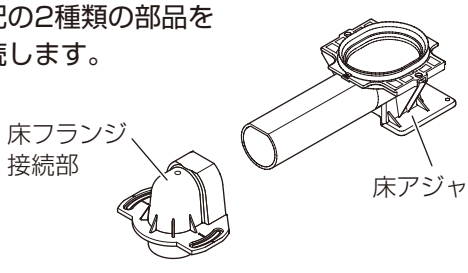


- 排水芯が510 mmより大きい場合は、型紙の排水対応範囲に既設の排水位置が入るように型紙を置いてください。
- 専用手洗いユニットの10 cm前出しタイプを取り付ける場合は、壁から100 mm離して置いてください。

排水芯位置によって施工方法が異なります

けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

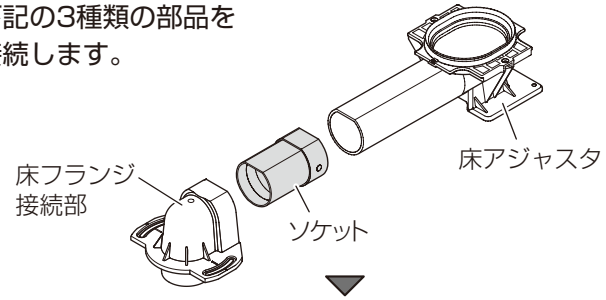
下記の2種類の部品を
接続します。



次ページの A を参照し、施工してください。

けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

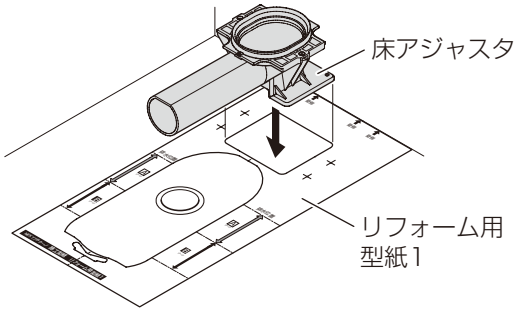
下記の3種類の部品を
接続します。



次ページの B を参照し、施工してください。

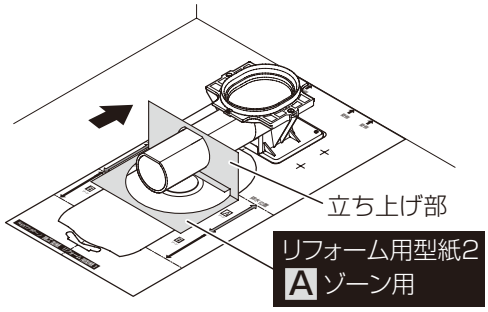
けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

1 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする

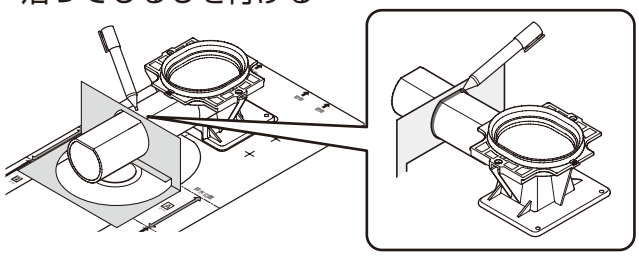


2 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

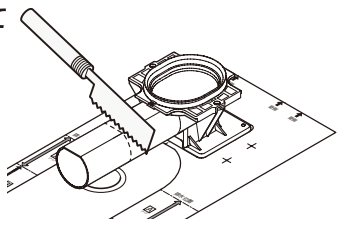
3 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Aゾーン用)を差し込み、排水管の中心に合わせて設置する



4 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



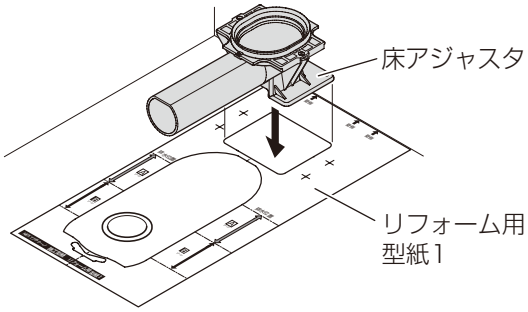
5 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する



※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

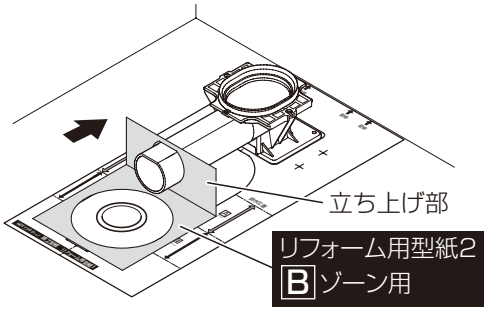
けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

1 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする

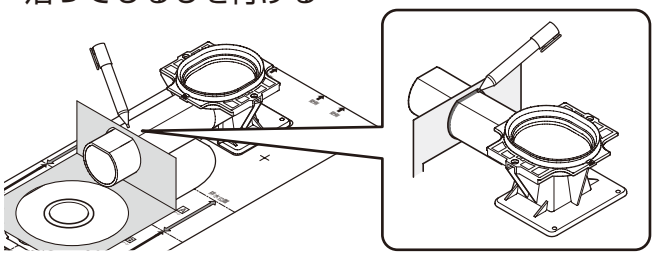


2 リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

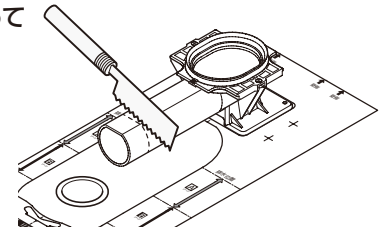
3 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Bゾーン用)を差し込み、排水管の中心に合わせて設置する



4 リフォーム用型紙２(Bゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



5 リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する



※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

⚠注意

必ず守る

●床アジャスタを切断後は端部のバリ、汚れを完全に取り除く

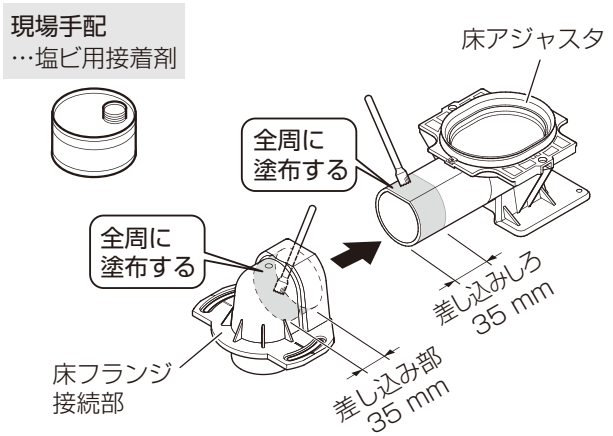
バリや汚れが付着したまま接着すると水漏れの原因になります。

手順 5

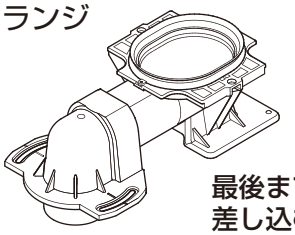
排水アジャスタの組み立て

けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

1 床フランジ接続部の差し込み部と、床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗布する

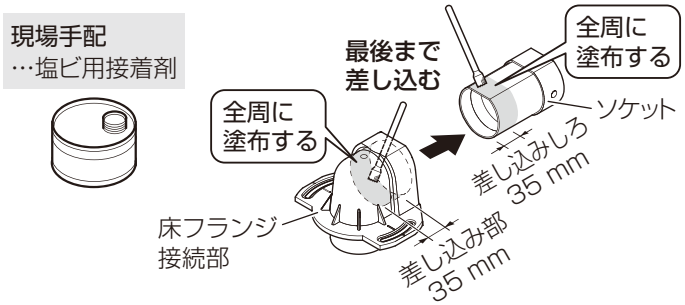


2 床アジャスタを床フランジ接続部に差し込む

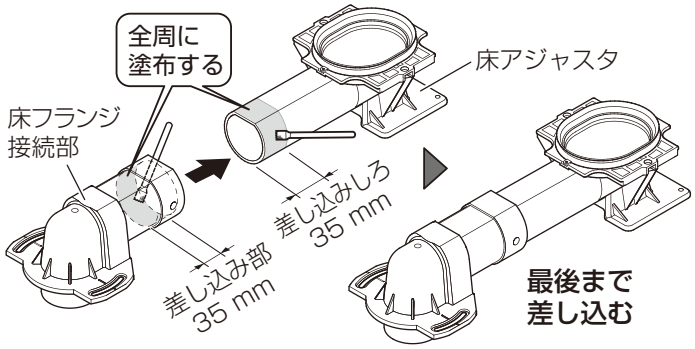


けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

1 床フランジ接続部の差し込み部とソケットの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗り、ソケットを差し込む



2 ソケット差し込み部と床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用の接着剤を塗り、組み立てる



⚠注意

必ず守る

●排水アジャスタの接着は、接着面全周に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分押し込んで接着する

施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

手順 6

排水アジャスタの取り付け

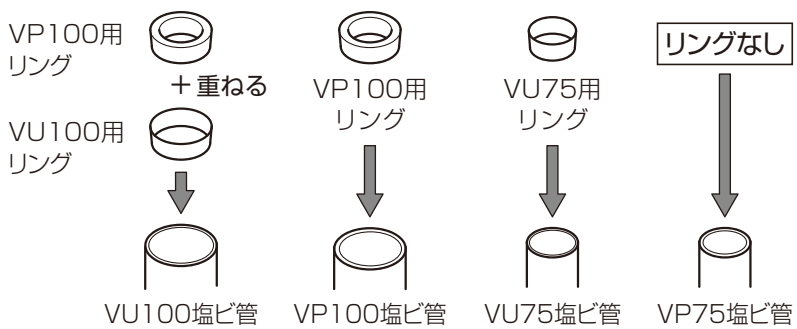
A ゾーン・B ゾーン共通

ねじ固定前に下穴(φ3 mm程度)を開けると作業しやすくなります。
(床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。)

1 排水管に適合するリングを選ぶ
(VU/VP100用リングは、床フランジ接続部に仮固定されています)

※下図組み合わせにないリングは使用しません。

VU75用リング	80
VP100用リング	98
VU100用リング	105

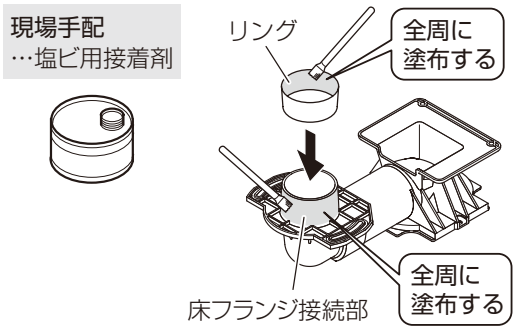


A ゾーン・B ゾーン共通

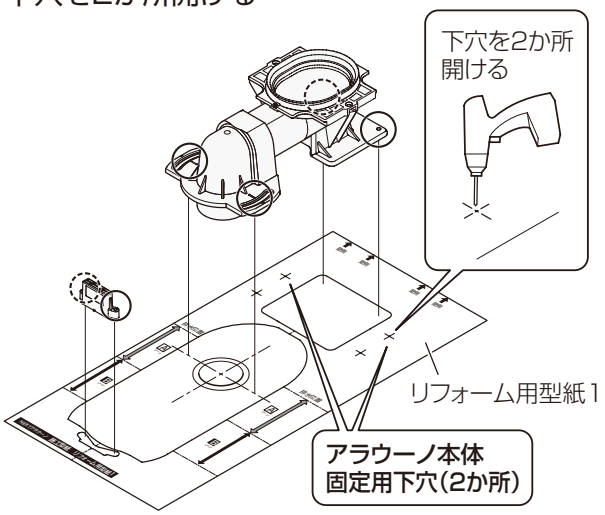
※イラストはAゾーンの場合です。

2 床フランジ接続部の差し込み部とリングの内側に塩ビ用接着剤を塗布する

3 床フランジをリングに差し込む



4 リフォーム用型紙1の床固定位置にφ3 mmの下穴を2か所開ける

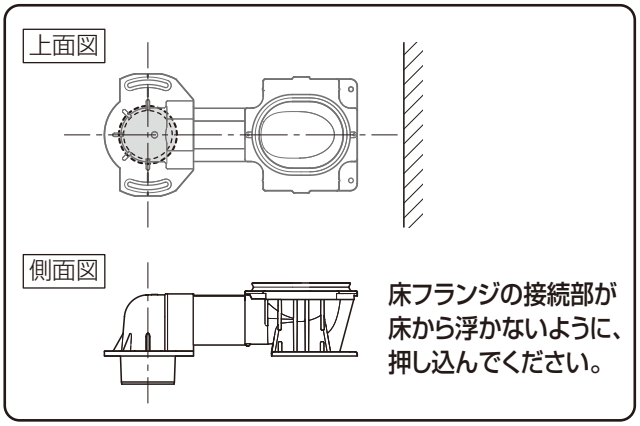


5 2階以上のトイレルームの場合は、排水管のまわりをシーリング防水する

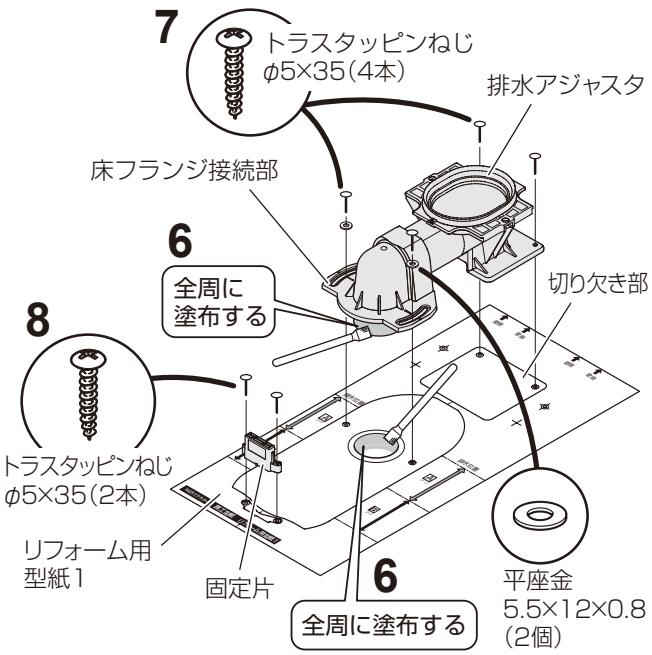
6 床フランジ接続部全周に塩ビ用接着剤を塗布する

7 リフォーム用型紙1の切り欠き部に合わせて床フランジ接続部、排水アジャスタを設置し、ねじで4か所固定する

※床フランジ接続部は平座金を使用してください。



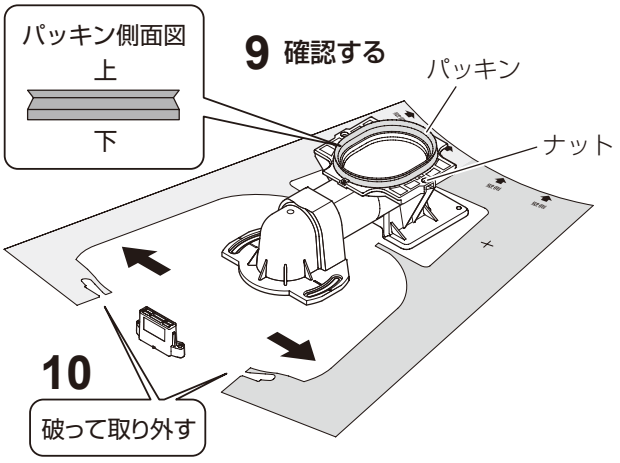
8 固定片をリフォーム用型紙1の切り欠き部にはめ、ねじで2か所固定する



9 排水アジャスタ上部にパッキン、ナットが取り付けられていることを確認する

※向かって右側に給水位置がある場合は、便器を設置する前に延長給水ホースを壁にそって仮置きしてください。

10 リフォーム用型紙1を破って取り外す



⚠注意

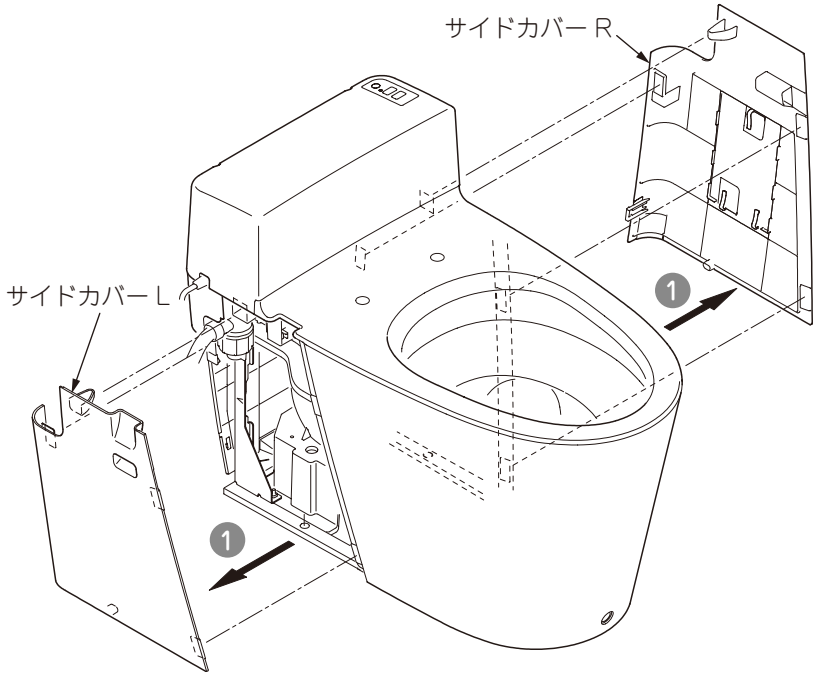
必ず守る

- **●2階以上のトイレルームに設置するときは必ず排水管まわりにシーリングを行う**
  階下への水漏れのおそれがあります。
- **●排水アジャスタが床から浮いたり、がたつかないように床フランジをしっかりと押し込む**
  水漏れの原因となります。
- **●パッキンの上下の向きを確認する**
  水漏れの原因となります。

手 順 7

サイドカバーの取り外し

1 サイドカバーの取っ手に手を掛けて引き、サイドカバーを取り外す



手 順 8

便器の取り付け

1 延長給水ホース(オプション)を使用する場合、延長給水ホースを壁に沿って仮り置きする
18・46ページ参照

2 便器を排水アジャスタに六角ボルト M8×30 mm と平座金 8.5×18×1.2 mm で固定する 2か所

3 便器を床にアプセットタッピンねじ φ6×40 mm と平座金 6×16×1.0 mm で固定する 2か所

4 便器前方を固定片になべタッピンねじ φ5×60 mm で固定する 1か所

5 前固定穴キャップを、切り欠きを上にして便器前方にはめ込む

⚠警告

禁 止

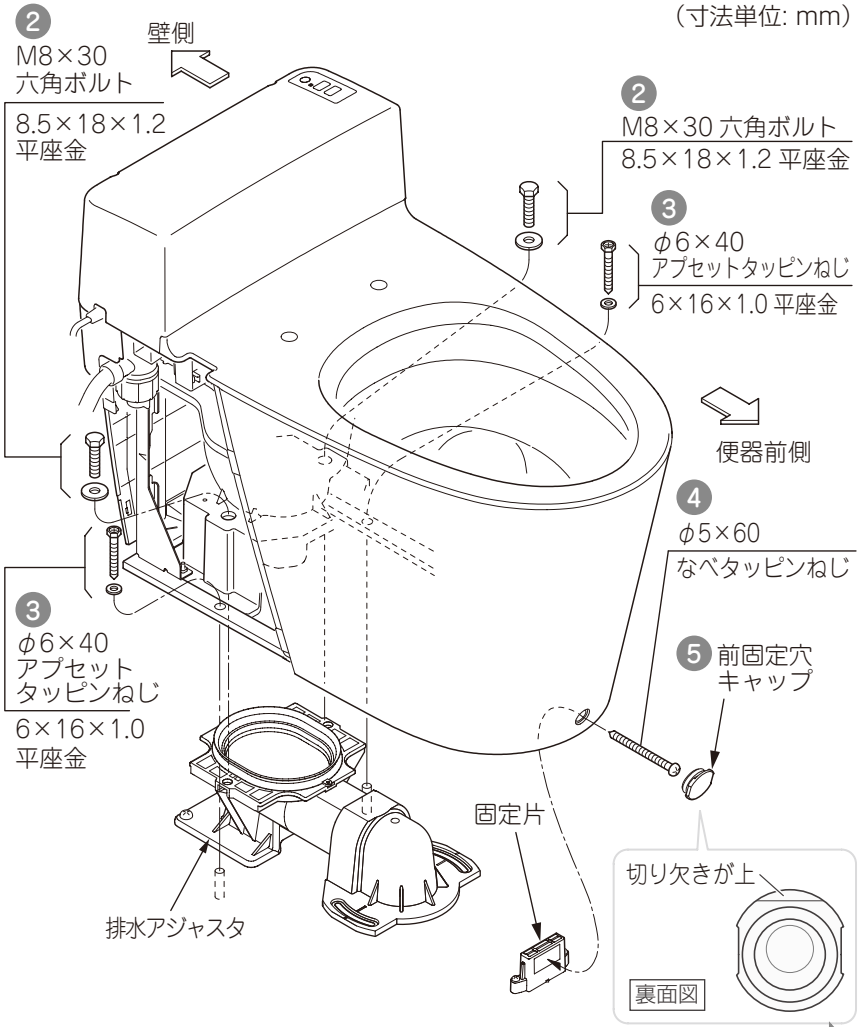
● **便器を取り付けるとき、電源コードをはさみ込まない**
火災や感電の原因になります。

⚠注意

必ず守る

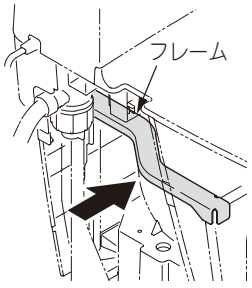
● **便器ががたつきがないことを確認する**
水漏れの原因になります。

（寸法単位: mm）



ポイント

- 便器を持つときはこのフレームに両側から手を掛けて持ち上げてください。



- フレーム上にあるダンボールは外さないでください。
- 便器と床のすき間がなくなるまでアプセットタッピンねじを締めつけてください。
- 床仕上材によって便器が沈み込む場合は、スペーサーを入れてください。サイドカバーが取り付けしづらい事があります。
- 固定片の取付ねじは破損しないようゆっくりと締めつけてください。

共通 共通の施工手順→46ページ 「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合は、「アラウーノ専用手洗い」付属の説明書を参照して配管を連結してください。

U 後ろ抜きの場合

はじめに18ページの下記の手順を確認してください。

手順 1 給水位置の確認

手順 2 止水栓の取り付け

⚠警告

禁止

●**分解や改造はしない**
感電・火災・けがの原因になります。

必ず守る

●**必ず施工説明書に従って施工する**
感電・火災・けがの原因になります。

手順 3

配管工事

⚠注意

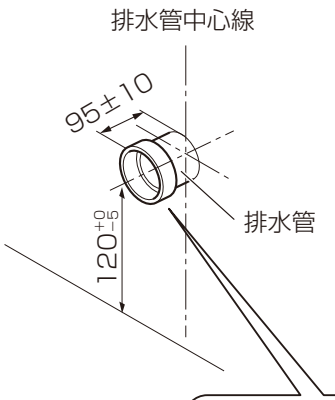
必ず守る

●**必ず1/50以上の十分な排水勾配をとる**

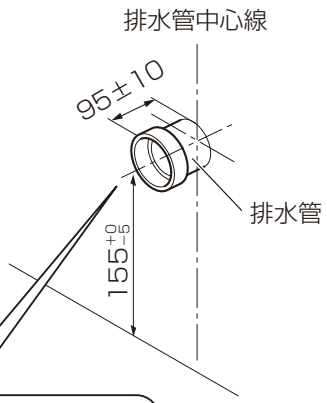
1 排水管を確認する

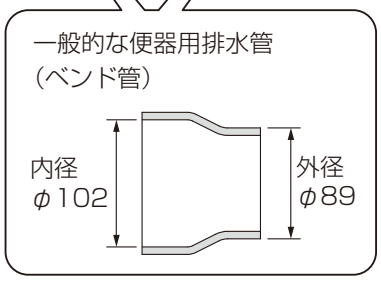
（寸法単位: mm）

●120タイプの場合



●155タイプの場合





手順 4

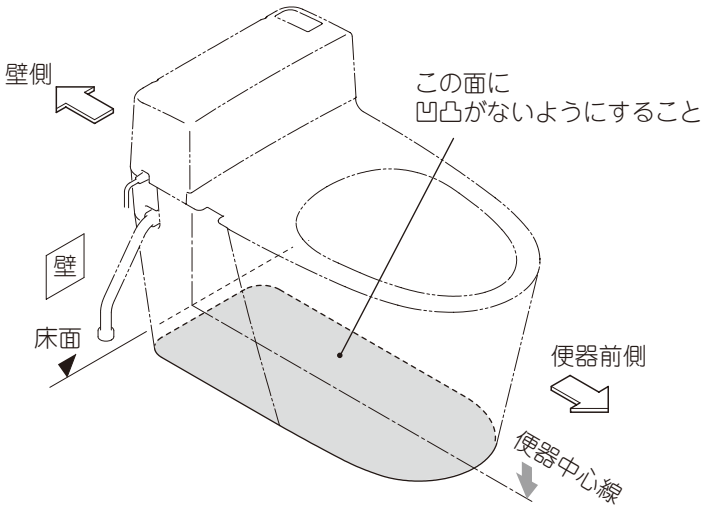
床工事

1 床面を水平に仕上げる

⚠注意

必ず守る

●**床面は、水平に施工する**
凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。



120 タイプ の場合
下記の手順に従って施工してください。

155 タイプ の場合
台輪の取り付けが必要です。
詳細は台輪の施工説明書2〜5ページ(2 〜 7)を参照してください。

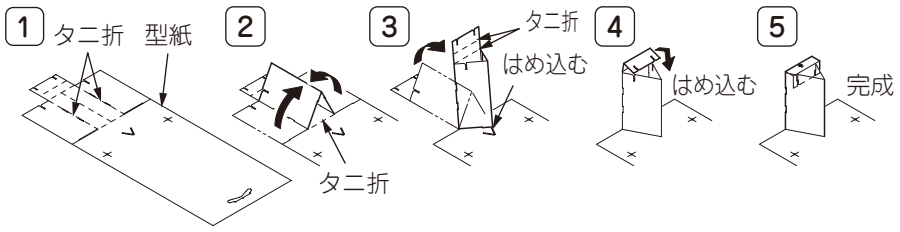
ねじ固定前に下穴(φ3程度)を開けると作業しやすくなります。
(床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。)

手 順 5

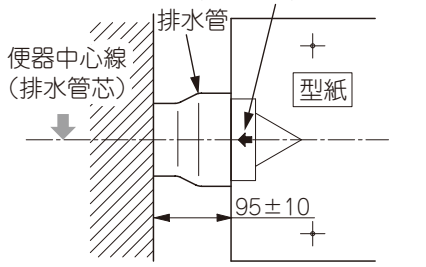
型紙の組み立てと固定片の取り付け

(寸法単位: mm)

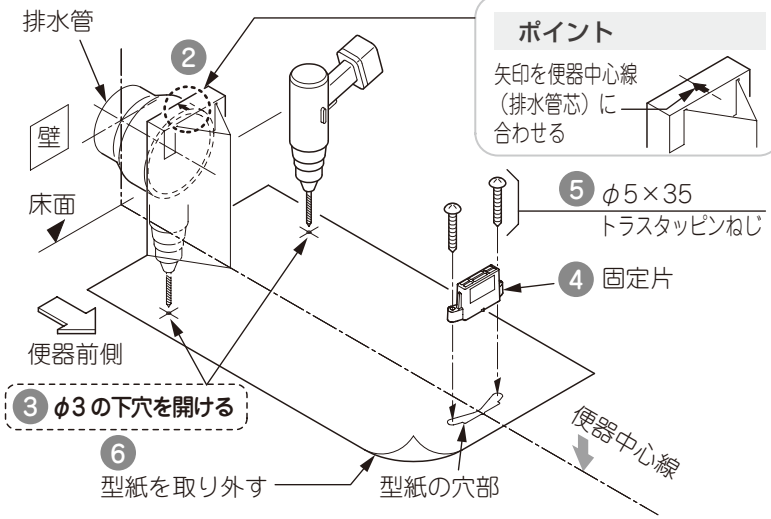
1 型紙を折り目に沿って折り、組み立てる



●上から見た図



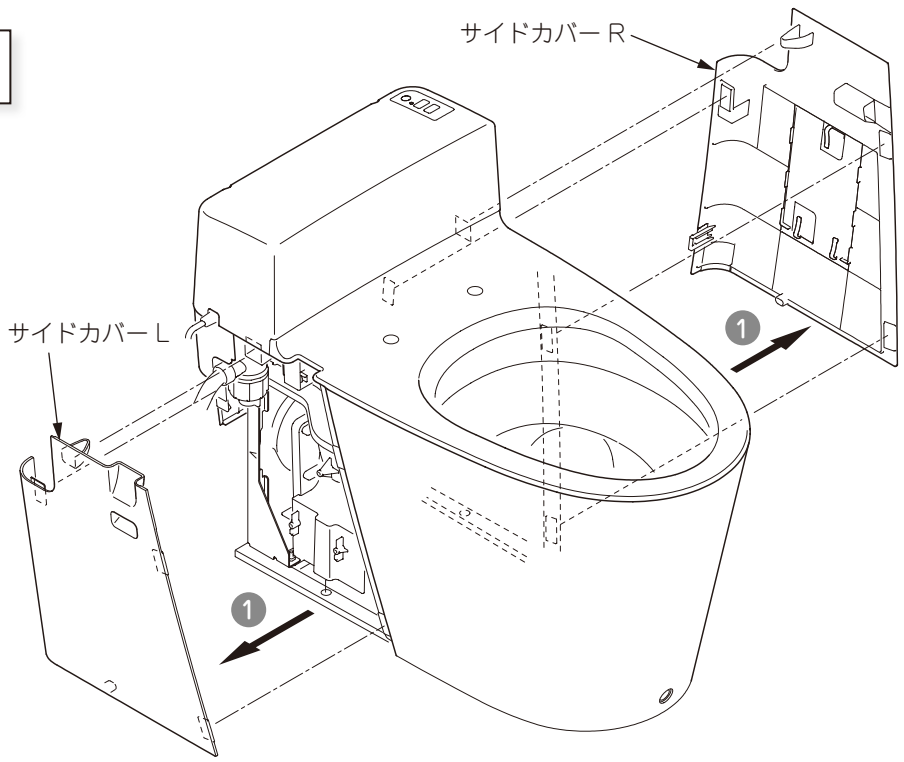
2 排水管の先端に型紙を合わせる
3 床固定位置(型紙の+部)にφ3 mmの下穴を開ける 2か所
4 固定片を型紙の切り欠き部に合わせる
5 固定片をトラスタッピンねじ φ5×35 mm で固定する 2か所
6 型紙を取り外す



手 順 6

サイドカバーの取り外し

1 サイドカバーの取っ手に手を掛けて引き、サイドカバーを取り外す



手順 7

接続パッキンの取り付け

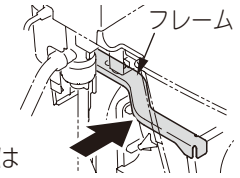
⚠注意

必ず守る

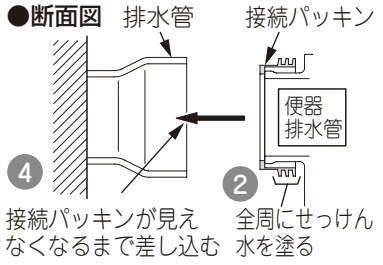
●**排水管の奥まで十分に差し込み接続する**
水漏れで家財などをぬらす
おそれがあります。

便器の持ちかた

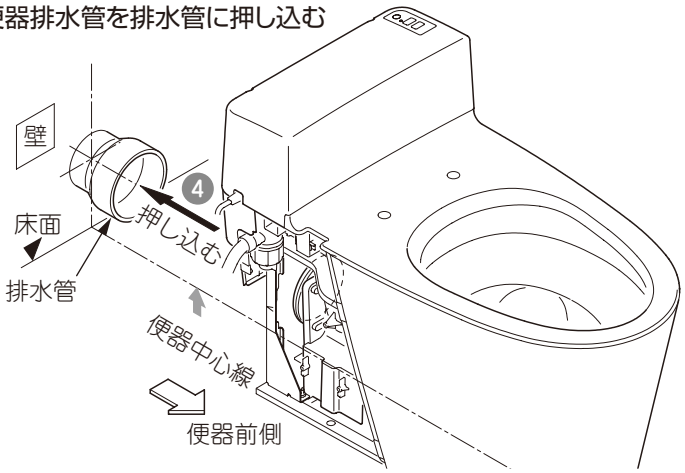
- 便器を持つときは
このフレームに両側
から手を掛けて
持ち上げてください。
- フレーム上のダンボールは
外さないでください。



●断面図



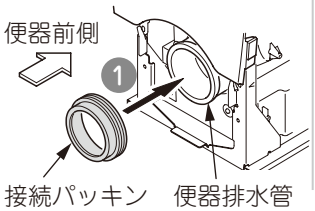
1 便器排水管に接続パッキンを取り付ける
2 接続パッキンの蛇腹部全周にせっけん水を塗る
3 延長給水ホースを使用する場合、延長給水ホースを壁に沿って仮り置きする
4 便器排水管を排水管に押し込む



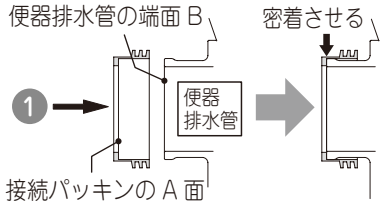
ポイント

- 便器排水管の端面Bと接続パッキンのA面が密着するまで差し込んでください。

●背面から見る



●断面図



手順 8

便器の取り付け

⚠警告

禁 止

●**便器を取り付けるとき、電源コードをはさみ込まない**
火災や感電の原因になります。

⚠注意

必ず守る

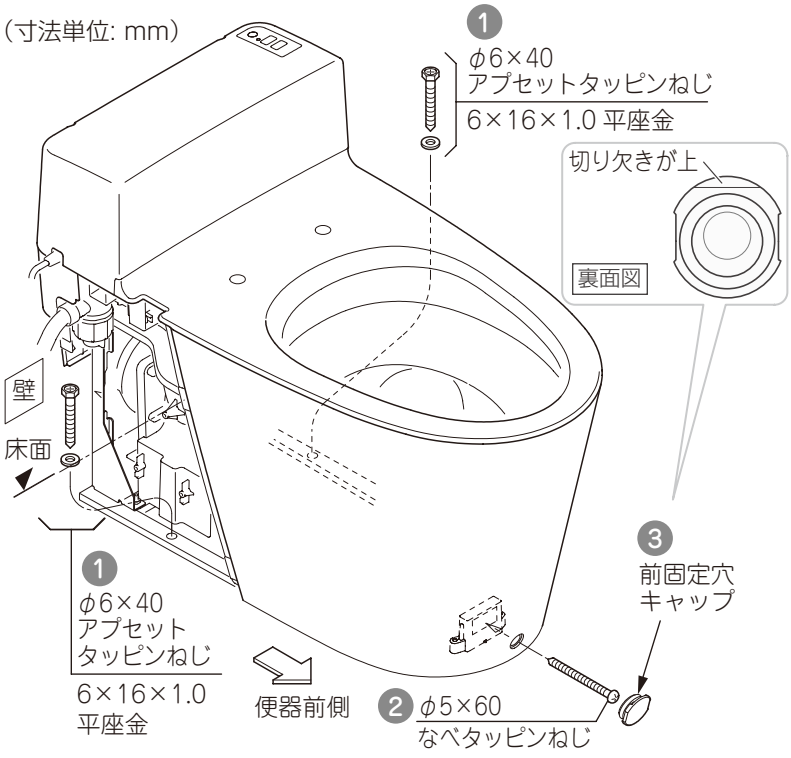
●**便器ががたつきがないことを確認する**
水漏れの原因になります。

ポイント

- 便器と床のすき間がなくなるまでアプセット
タッピンねじを締めつけてください。
- 床仕上材によって便器が沈み込む場合は、スペーサー
を入れてください。サイドカバーが取り付け
しづらい事があります。
- 固定片の取付ねじは破損しないようゆっくりと
締めつけてください。

1 下穴位置を確認し、便器を床にアプセットタッピンねじ φ6×40 mm と平座金 6×16×1.0 mm で固定する 2か所
2 便器前方を固定片になべタッピンねじ φ5×60 mm で固定する 1か所
3 前固定穴キャップを、切り欠きを上にして便器前方にはめ込む

（寸法単位: mm）



T 手洗い付きの場合→43ページ ／ 共通 左記以外：共通の施工手順→46ページ

J

壁排水タイプ

排水ジョイント接続の場合

● 排水ジョイントは既設塩ビ排水管がVU/VP75（外径φ89の管）の場合のみ対応できます。

はじめに18ページの下記の手順を確認してください。

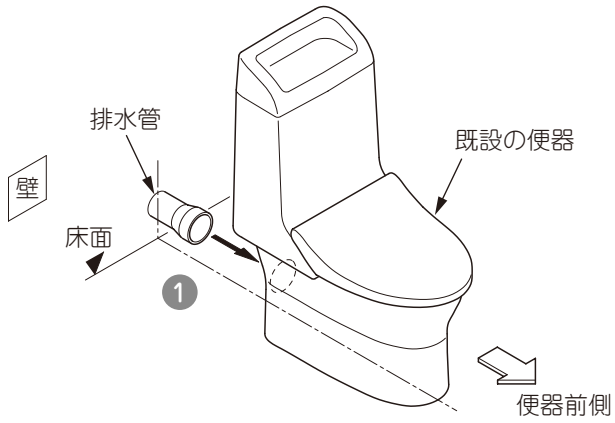
手順 1 **給水位置の確認**

手順 2 **止水栓の取り付け**

手順 3 既設便器の取り外し

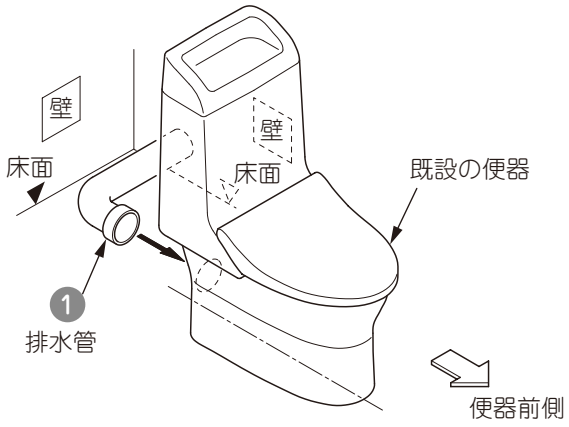
■ 排水ジョイントS(CHHP82S)の場合

① 既設の便器を取り外す



■ 排水ジョイントL(CHHP80L)の場合

① 既設の便器を取り外す



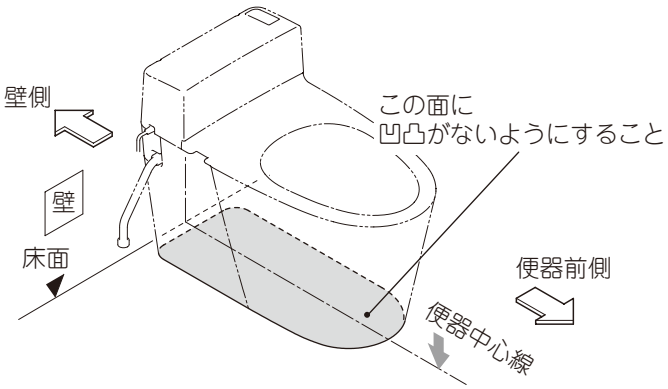
手順 4 床工事

① 床面を水平に仕上げる

⚠注意

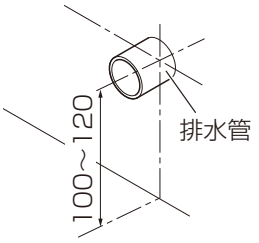
必ず守る

● **床面は、水平に施工する**
凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。



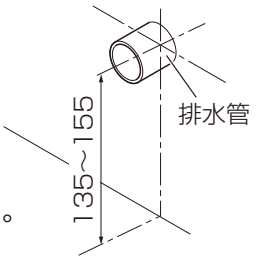
●排水管の中心から床まで
100～120 mm

下記手順に従って施工してください。



●排水管の中心から床まで
135～155 mm

台輪の取り付けが必要です。
詳細は台輪の施工説明書6～12ページを参照してください。



（寸法単位: mm）

手 順 5

既設排水管の切断

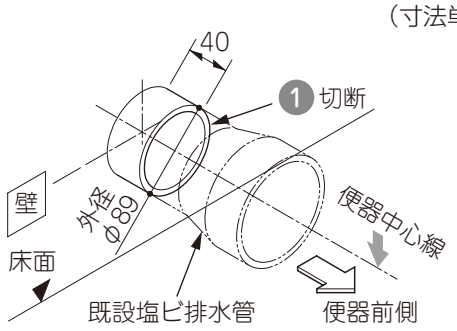
■ 排水ジョイントS(CHHP82S)の場合

1. 既設塩ビ排水管を壁から40 mm残して切断する
2. 切断面のバリ、汚れをきれいに取り除く

お願い

- **切断面のバリ、汚れを完全に取り除いてください。**
  水漏れの原因になります。

（寸法単位: mm）



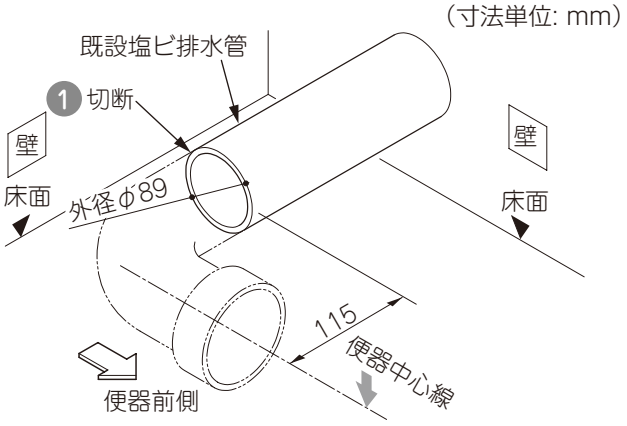
■ 排水ジョイントL(CHHP80L)の場合

1. 既設塩ビ排水管を便器中心線から115 mmの位置で切断する
2. 切断面のバリ、汚れをきれいに取り除く

お願い

- **切断面のバリ、汚れを完全に取り除いてください。**
  水漏れの原因になります。

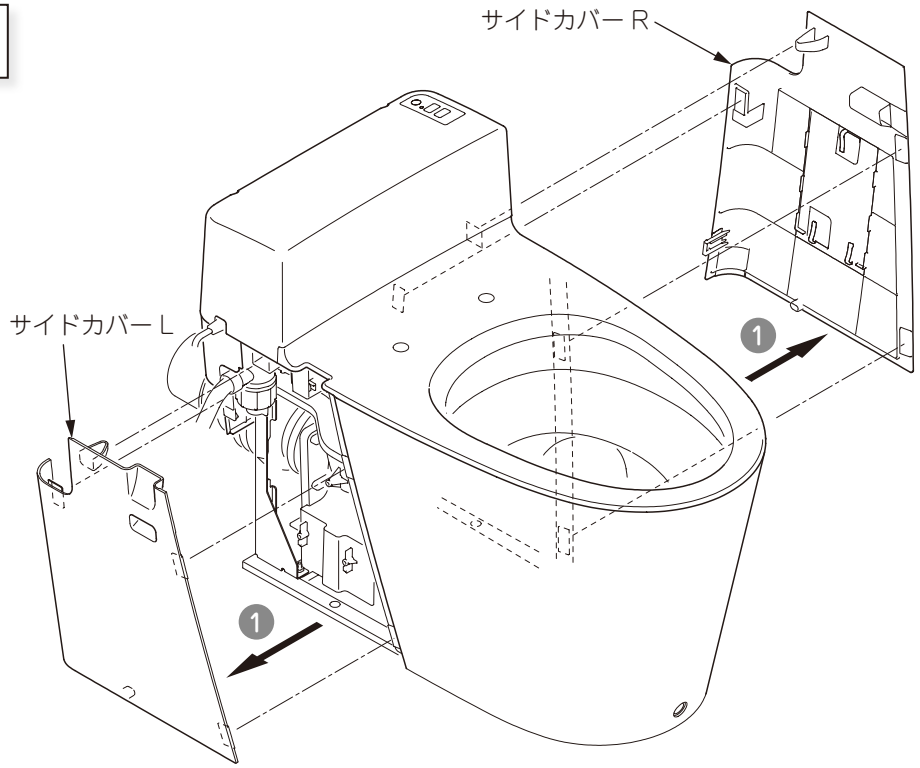
（寸法単位: mm）



手 順 6

サイドカバーの取り外し

1. サイドカバーの取っ手に手を掛けて引き、サイドカバーを取り外す



手順 7

排水ジョイントの取り付け

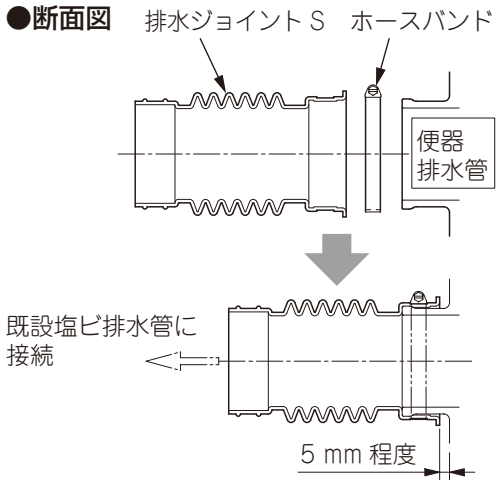
■ 排水ジョイントS(CHHP82S)の場合

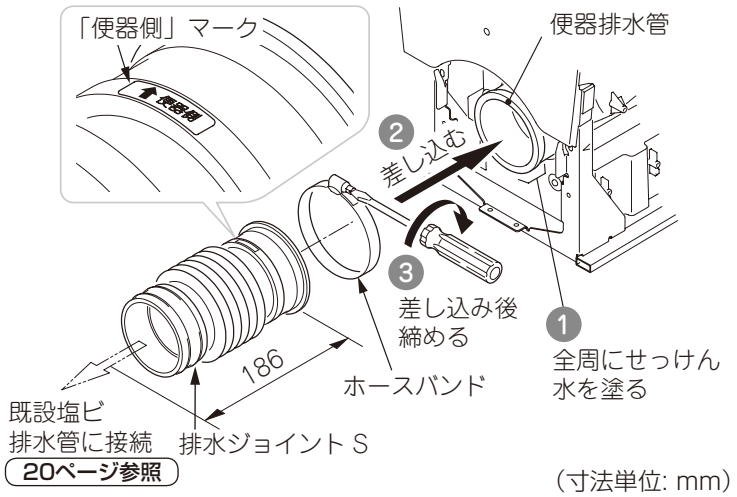
1. 便器排水管の全周にせっけん水を塗る
2. 排水ジョイントSを便器排水管に差し込む
3. マイナスドライバーなどを使用して、接続部をホースバンドで固定する

ポイント

- 「便器側」マークを便器側にし、矢印が下図の向きになるように取り付けてください。

●断面図





（寸法単位: mm）

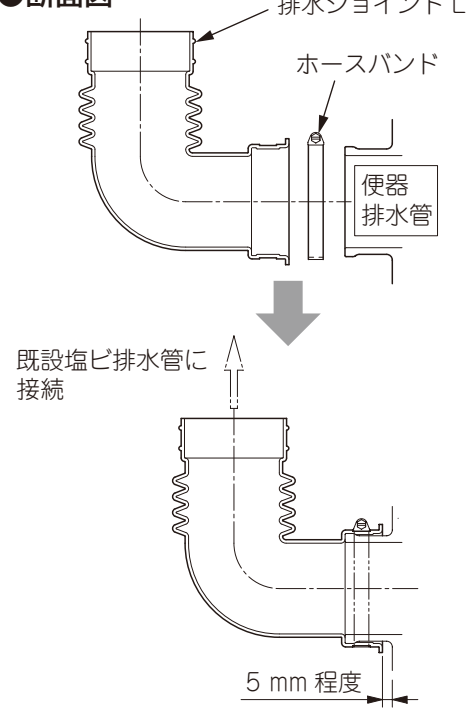
■ 排水ジョイントL(CHHP80L)の場合

1. 便器排水管の全周にせっけん水を塗る
2. 排水ジョイントLを便器排水管に差し込む
3. マイナスドライバーなどを使用して、接続部をホースバンドで固定する

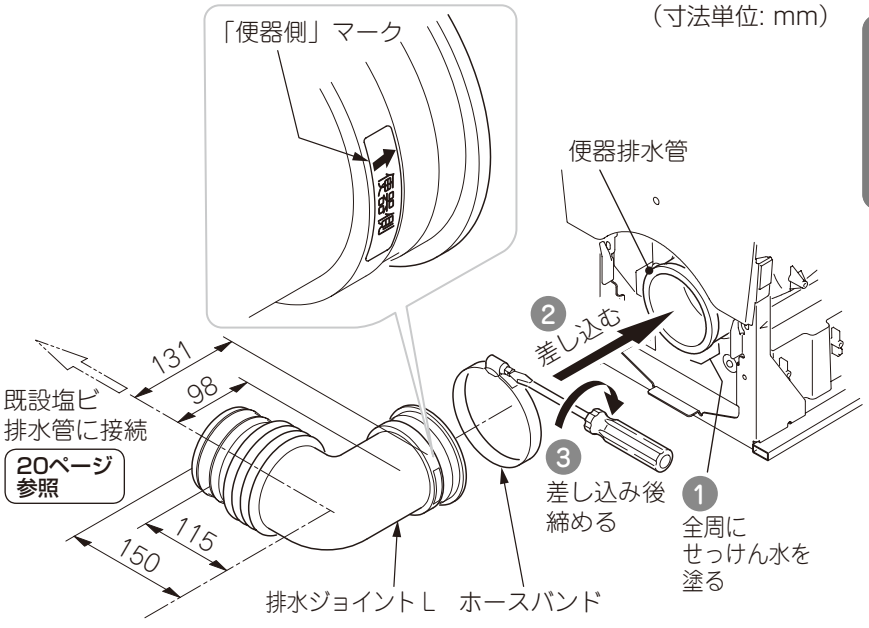
ポイント

- 「便器側」マークを便器側にし、矢印が下図の向きになるように取り付けてください。

●断面図



（寸法単位: mm）



ねじ固定前に下穴(φ3 mm程度)を開けると作業しやすくなります。
(床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。)

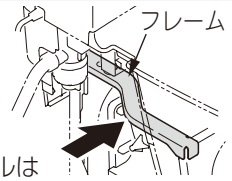
手順 8

型紙の組み立てと固定片の取り付け

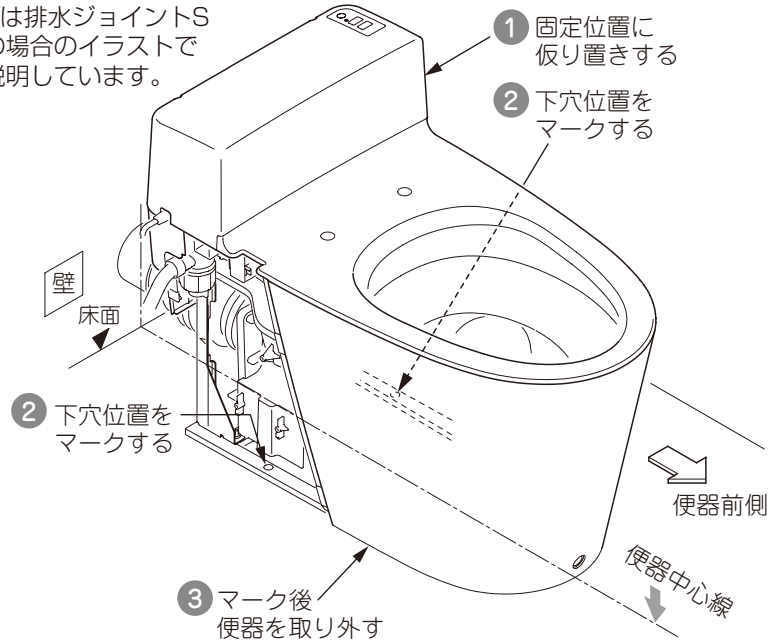
1. 便器を固定位置に仮り置きする
2. 下穴位置(便器フレームの取付穴)をマークする 2か所
3. 便器を取り外す

便器の持ちかた

- 便器を持つときは このフレームに両側 から手を掛けて 持ち上げてください。
- フレーム上のダンボールは 外さないでください



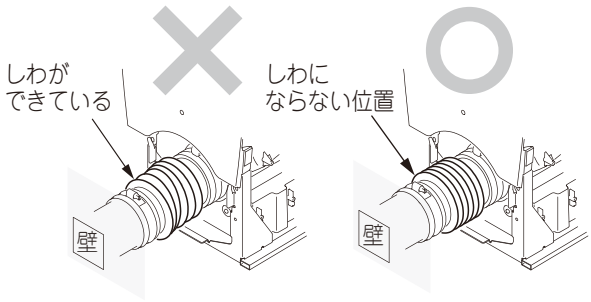
※図は排水ジョイントSの場合のイラストで説明しています。



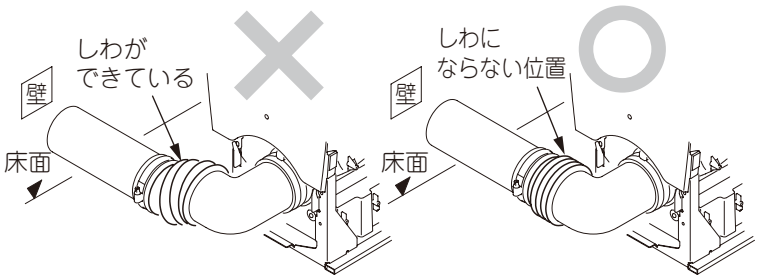
ポイント

- 排水ジョイントがしわにならない位置を固定位置に決めてください。

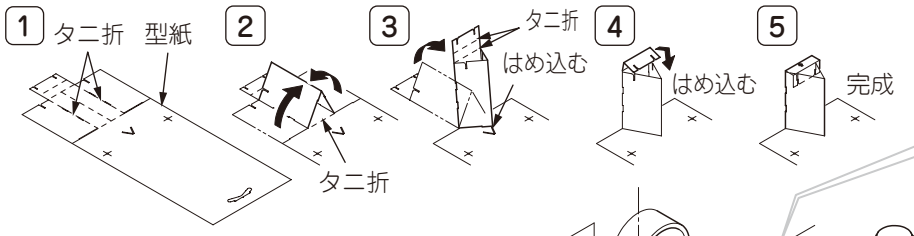
● 排水ジョイントS（CHHP82S)の場合



● 排水ジョイントL（CHHP80L)の場合

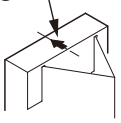


4. 型紙を折り目に沿って折り、組み立てる

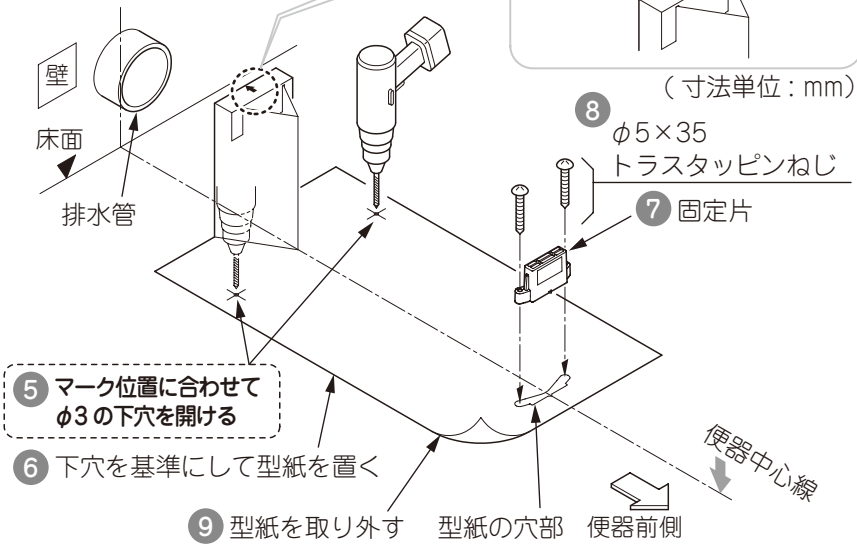


ポイント

矢印を便器中心線（排水管芯）に合わせる



（寸法単位：mm）



5. 2でマークした便器取り付け穴に、型紙の下穴用の穴を合わせて型紙を置き、φ3の下穴を開ける 2か所
6. 下穴(便器取付用) 2か所 を基準にして型紙を置く
7. 固定片を型紙の切り欠き部に合わせる
8. 固定片をトラスタッピンねじ φ5×35 mm で固定する 2か所
9. 型紙を取り外す

手順 9

排水ジョイントと既設排水管の接続

⚠注意

必ず守る

● **必ず1/50以上の十分な排水勾配をとる**
水漏れの原因になります。

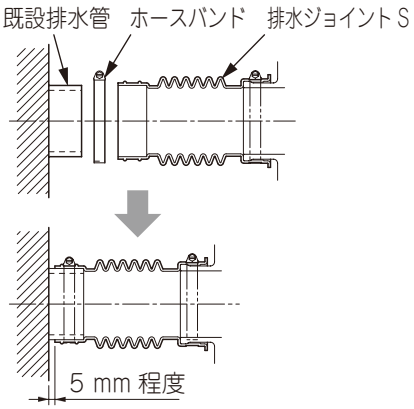
■ 排水ジョイントS(CHHP82S)の場合

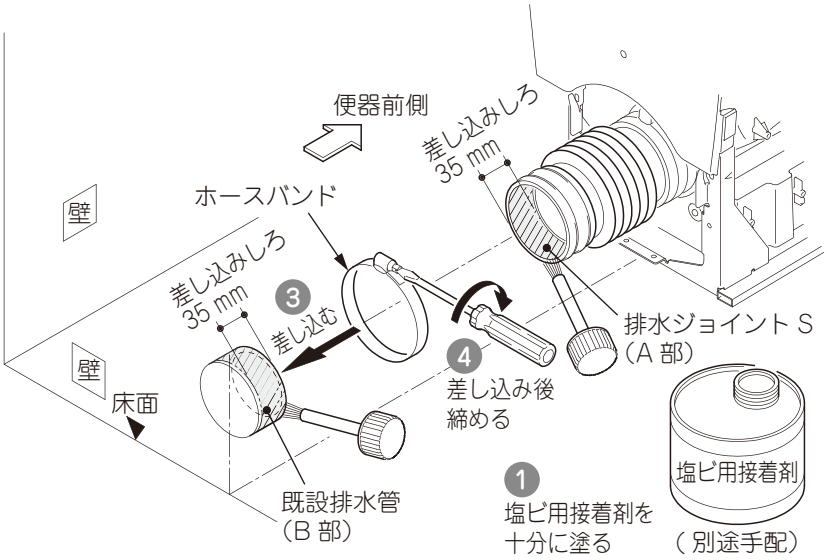
1. 塩ビ用接着剤を、排水ジョイントS差し込み部(A部)内周および既設排水管の差し込み部(B部)外周に十分に塗る(塩ビ用接着剤は別途手配ください。)
2. 延長給水ホースを使用する場合、延長給水ホースを壁に沿って仮り置きする
3. 排水ジョイントSを既設排水管に差し込む
4. マイナスドライバーなどを使用して、接続部をホースバンドで固定する

お願い

- **排水ジョイントにしわやねじれがないようにしてください。**
水漏れの原因になります。

●断面図





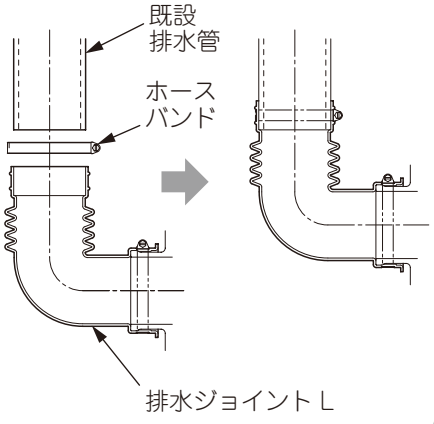
■ 排水ジョイントL(CHHP80L)の場合

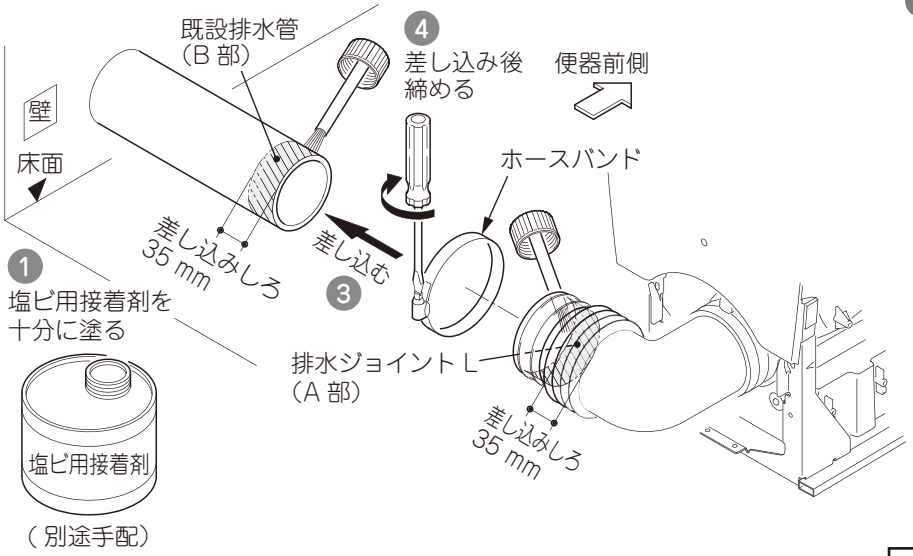
1. 塩ビ用接着剤を、排水ジョイントL差し込み部(A部)内周および既設排水管の差し込み部(B部)外周に十分に塗る(塩ビ用接着剤は別途手配ください。)
2. 延長給水ホースを使用する場合、延長給水ホースを壁に沿って仮り置きする
3. 排水ジョイントLを既設排水管に差し込む
4. マイナスドライバーなどを使用して、接続部をホースバンドで固定する

お願い

- **排水ジョイントにしわやねじれがないようにしてください。**
水漏れの原因になります。

●断面図





手順10

便器の取り付け

⚠警告

禁 止

●便器を取り付けるとき、電源コードをはさみ込まない
火災や感電の原因になります。

⚠注意

必ず守る

●便器ががたつきがないことを確認する
水漏れの原因になります。

1 下穴位置を確認し、便器を床にアプセットタッピンねじ φ6×40 mm と平座金 6×16×1.0 mm で固定する 2か所

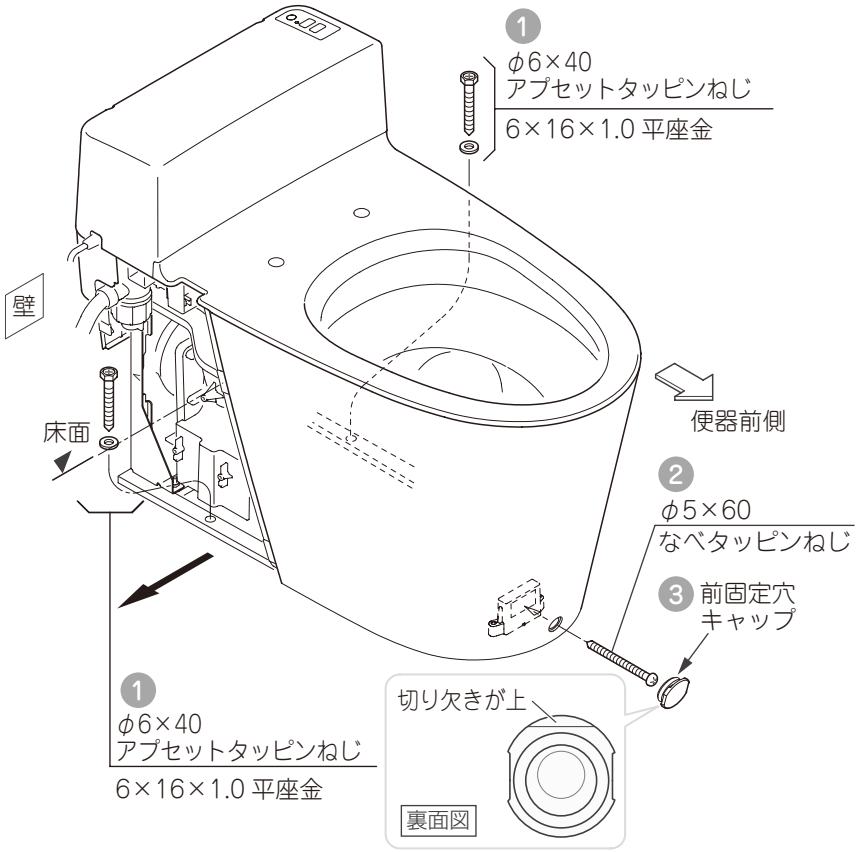
2 便器前方を固定片になべタッピンねじ φ5×60 mm で固定する 1か所

3 前固定穴キャップを、切り欠きを上にして便器前方にはめ込む

ポイント

- 便器と床のすき間がなくなるまでアプセットタッピンねじを締めつけてください。
- 床仕上材によって便器が沈み込む場合は、スペーサーを入れてください。
サイドカバーが取り付けしづらい事があります。
- 固定片の取付ねじは破損しないよう ゆっくりと締めつけてください。

（寸法単位: mm）



T 手洗い付きの場合→次ページ ／ 共通 左記以外：共通の施工手順→46ページ

T 手洗いの取り付け(手順5 ～ 10)

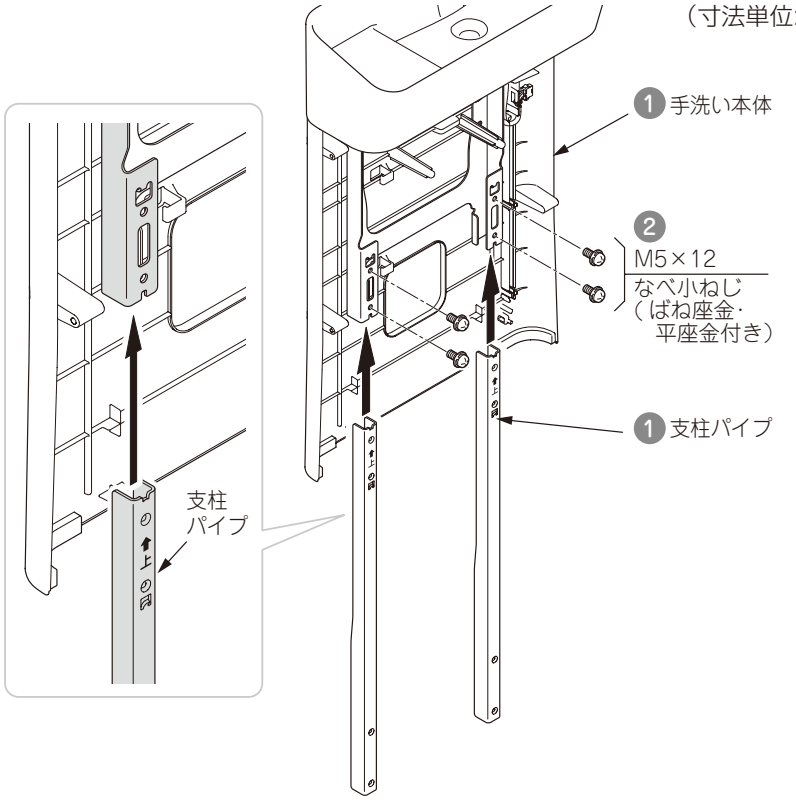
- 手洗い付きの場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。

（寸法単位: mm）

手順 5

支柱パイプの取り付け

1. 手洗い本体に支柱パイプを差し込む
2. なべ小ねじ(ばね座金･平座金付き) M5×12 mm で固定する 4か所



ポイント

- 支柱パイプは「上」刻印がある方を上にして差し込んでください。



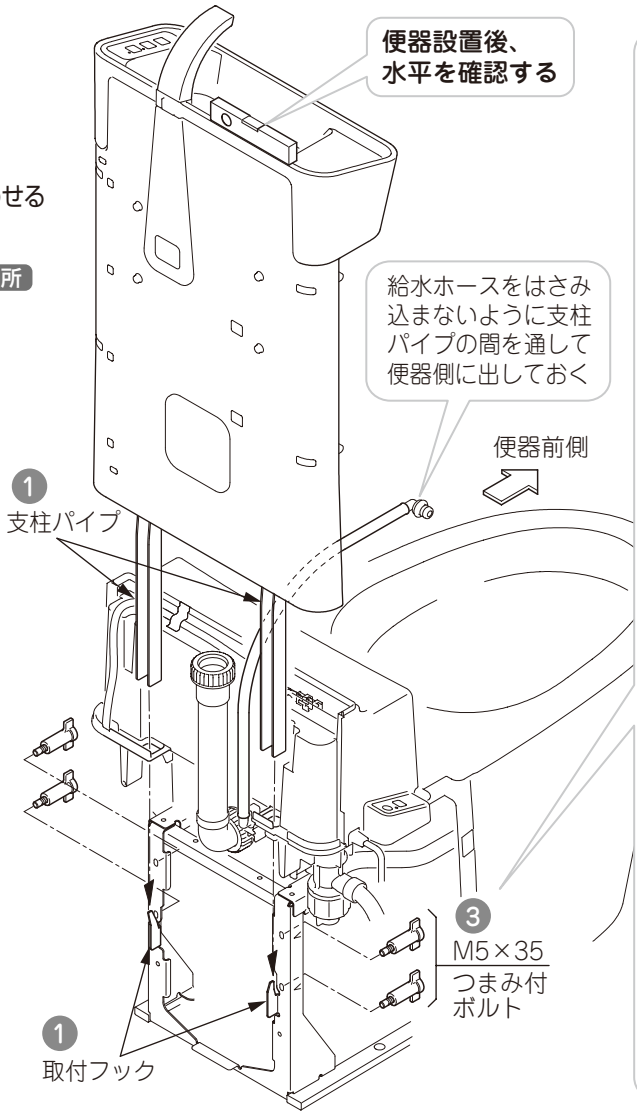
「上」刻印がある方

手順 6

手洗いの取り付け

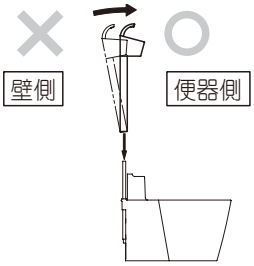
1. 手洗い側の支柱パイプを取付フックに差し込む
2. 支柱パイプと便器側の取付穴を合わせる
3. 左右調整してつまみ付ボルト M5×35 mm を締めつける 4か所

（寸法単位: mm）



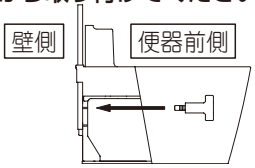
差し込み時のポイント

- 壁側に倒れこまないように便器側に寄せて差し込む



お願い

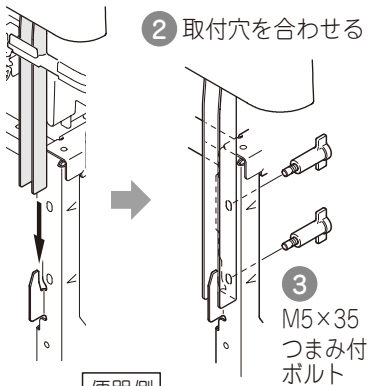
- **床などを傷つけないよう注意して作業してください。**
- **つまみ付ボルトは便器前側から取り付けてください。**



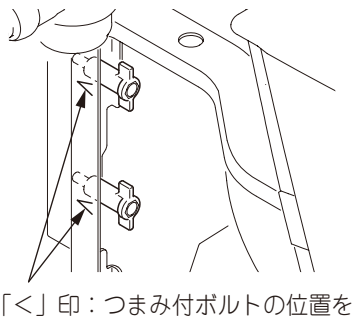
支柱パイプ

1 差し込む

2 取付穴を合わせる



- 手洗いが水平になるように調整しながらつまみ付ボルト 4か所 を締め込んでください。

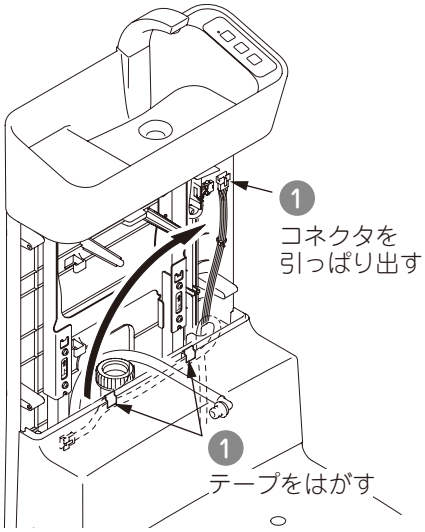


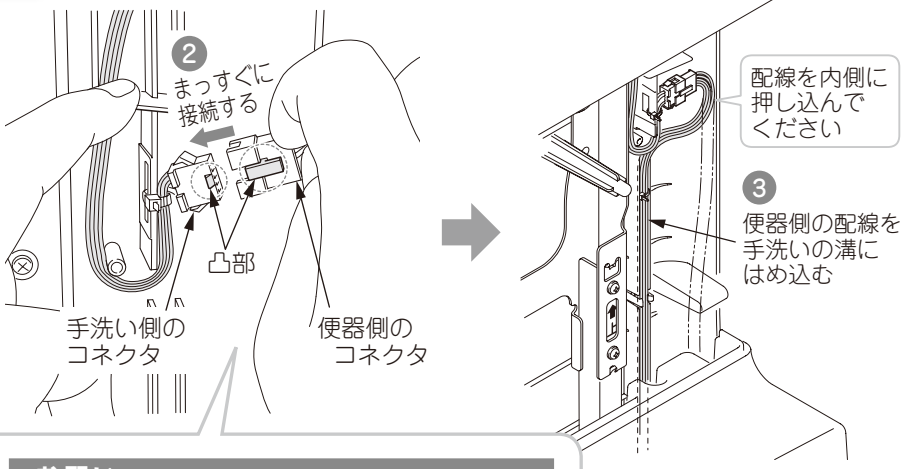
「<」印：つまみ付ボルトの位置を合わせるための印

手 順 7

コネクタの接続

1. 便器に仮固定されているテープをはがし、コネクタを引っぱり出す
2. 便器側のコネクタを手洗い側のコネクタに接続する
3. 便器側の配線を手洗いの溝にはめ込む

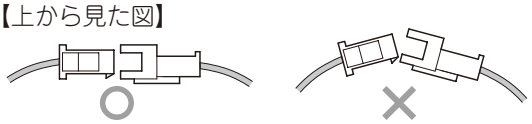




お願い

- **コネクタの向きを確認してください。**
  凸部を目印に差し込んでください。
- **コネクタはまっすぐに差し込んでください。**
  コネクタのピンが曲がり、接続できなくなります。

【上から見た図】



手 順 8

給水ホース(上側)の取り付け

1. 手洗い給水口に給水ホースを差し込む

⚠注意

必ず守る

- Oリングに汚れがついていたり、ねじれていたりしないか確認する
- Oリングがかまないように給水ホースをまっすぐに差し込む
  水漏れの原因になります。



2. クイックファスナーの切り欠きを給水ホース接続部の凸部にはめ込む
3. ファスナーロックをクイックファスナーの奥まで確実に差し込む

⚠注意

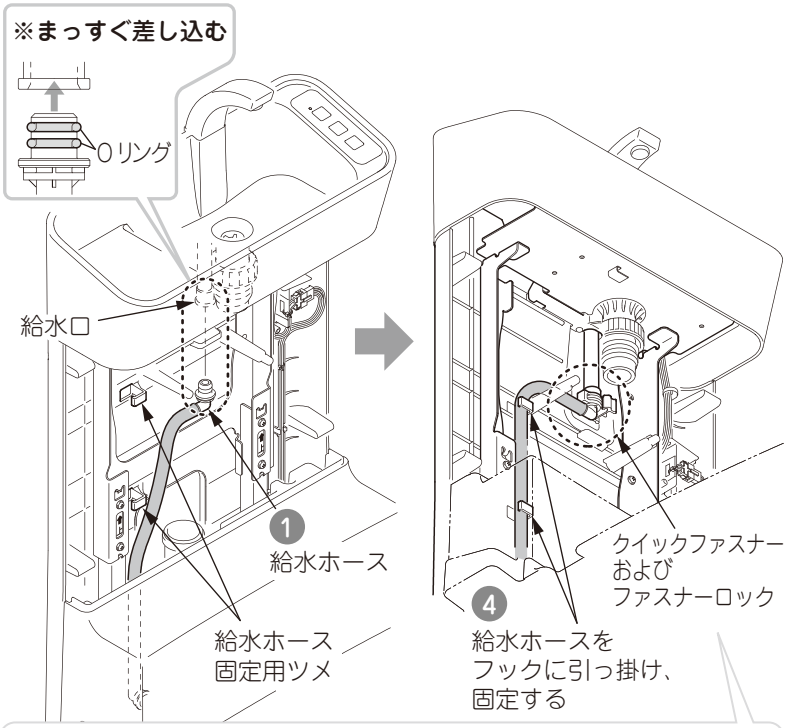
必ず守る

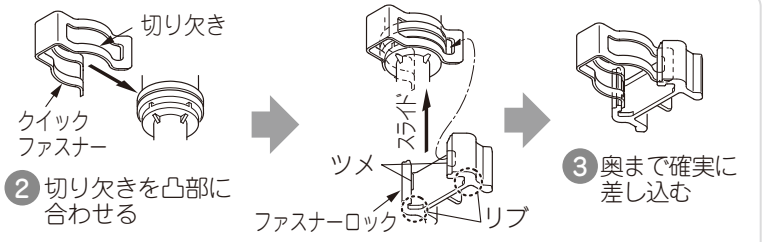
- **クイックファスナーおよびファスナーロックを確実に差し込み、給水ホースが抜けないことを確認する**
  水漏れの原因になります。

4. 給水ホースをフックに止める 2か所

ポイント

- ファスナーロックは、リブ(突起部)の反対側から取り付けてください。





※ファスナーロックを右側に向け、手洗いのバックパネルから後ろにはみ出さないように位置を調整してください。

手 順 9

排水導入管Bの取り付け

1. 排水導入管Bを排水導入管Aへ差し込む
2. 取付ナット、スリップワッシャ、パッキンを締め込み固定する

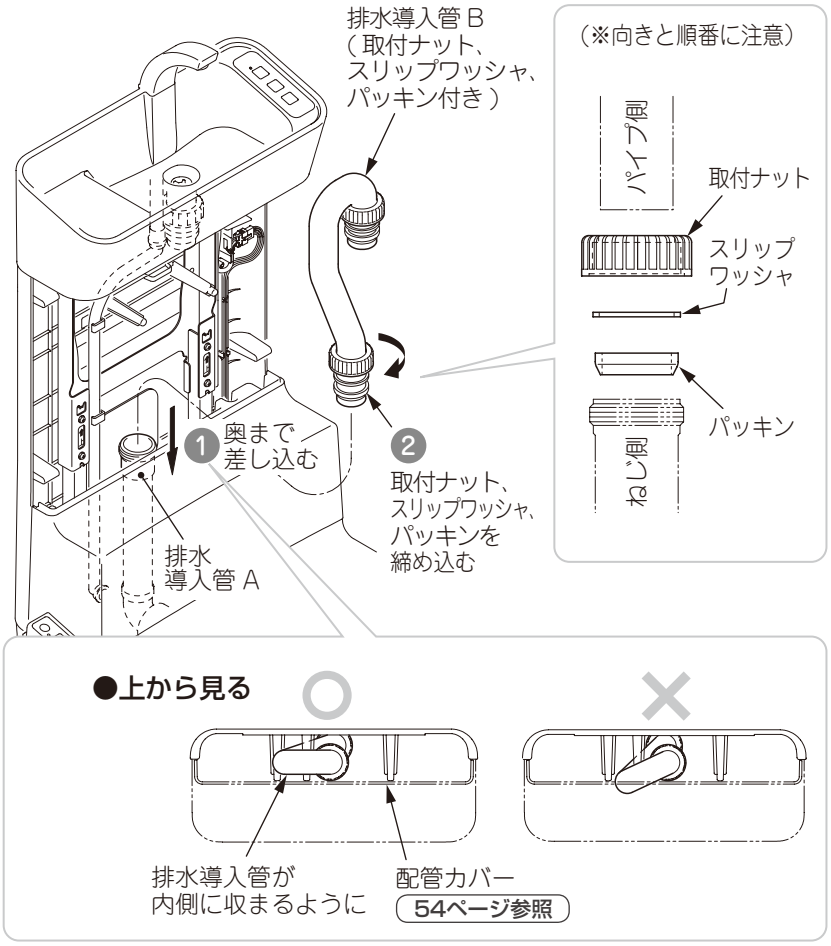
⚠注意

必ず守る

●**スリップワッシャとパッキンを正しい向きと順番で確実に締め込む**
水漏れの原因になります。

お願い

- **排水導入管が手洗いの内側に収まるように、横向きに取り付けてください。**
  手前に向くと、後工程で配管カバーを取り付けられなくなります。54ページ参照



手順10

排水導入管Cの取り付け

1. 排水導入管Cを排水導入管Bおよび手洗いボール排水口に差し込み接続する
2. 取付ナット、スリップワッシャ、パッキン 2か所 を締め込み、排水導入管Cを固定する

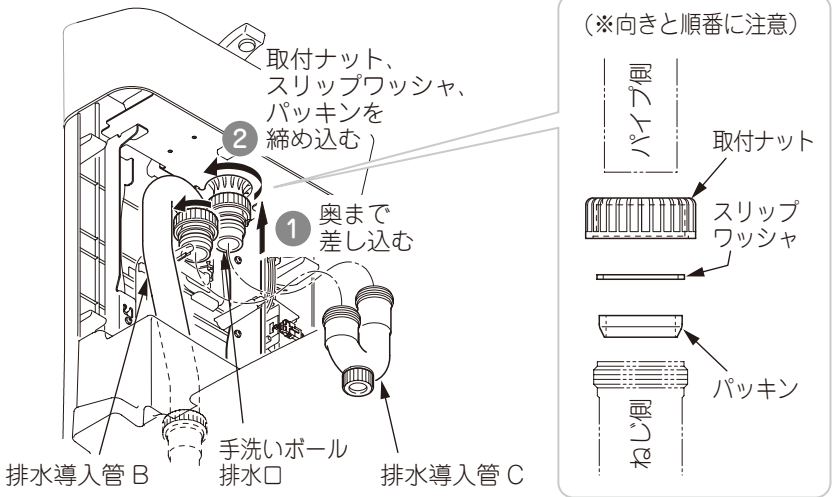
⚠注意

必ず守る

●**スリップワッシャとパッキンを正しい向きと順番で確実に締め込む**
水漏れの原因になります。

ポイント

- 配管カバーは後工程で取り付けます。
  54ページ参照



共通 共通の施工手順→次ページ 「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合は、「アラウーノ専用手洗い」付属の説明書を参照して配管を連結してください。

共通の施工手順

● 全てのタイプで参照してください。

手 順 1

止水栓への接続

⚠注意

必ず守る

●止水栓にがたつきがないことを確認する
水漏れの原因になります。

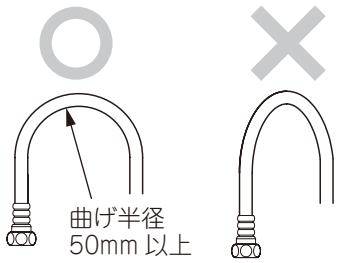
1. 別売の温水洗浄便座や「アラウーノ専用手洗い」を併設する場合は、付属の説明書に従って分岐金具を取り付ける
2. 便器の給水ホースを止水栓に接続する

リフォームタイプのお願い

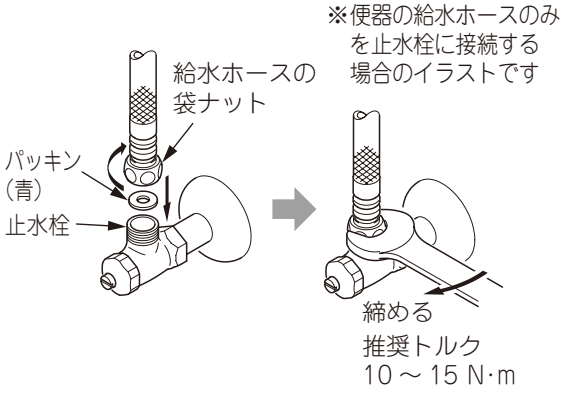
● **リフォームタイプの場合は、既設給水位置が給水可能範囲にあるか確認してください。**
正しく施工できなくなります。
18ページ参照

お願い

● **給水ホースのねじれや折れがないことを確認してください。**
便器洗浄水量が不足する原因になります。



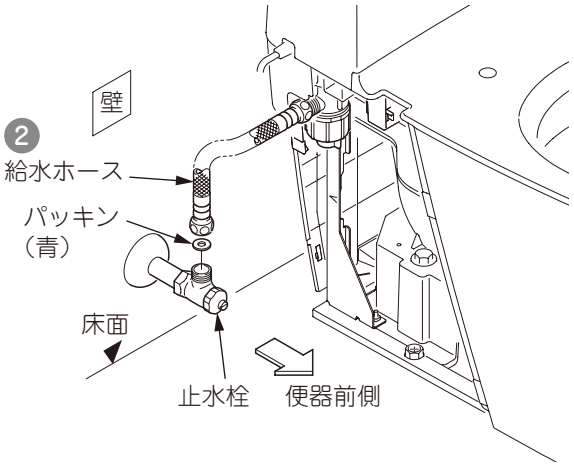
● 接続部詳細図



お願い

● **給水ホースは過大な力で締めすぎないでください。**

● 正面から見て「左側」に給水位置がある場合

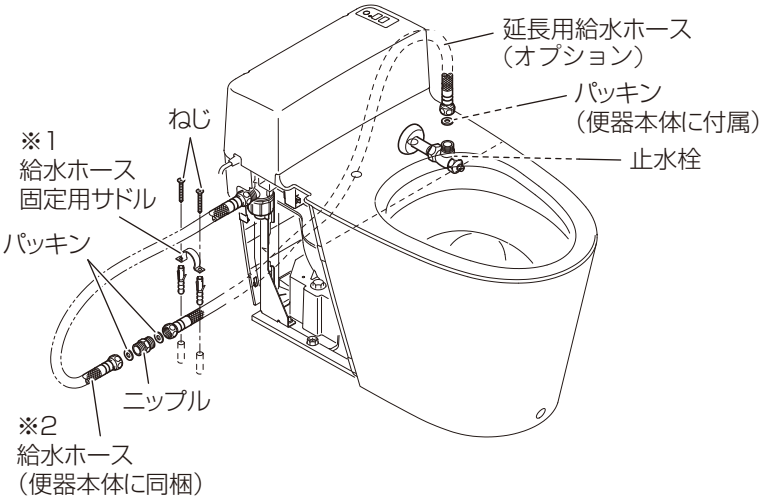


● 正面からみて「右側」に給水位置がある場合

オプションの1 mの給水ホースセット（品番：CH100R01）を手配し、接続する。

お願い

● **必ずオプションの1 mの給水ホースセット（品番：CH100R01）を使用してください。**
市販のものを使用されると、流量が出ないため洗浄性が悪くなるおそれがあります。



※1 必ず、ニップルの接続部を便器本体に隠れない接続になるよう、サドルで給水ホースを固定してください。
（万一、水漏れが起きた場合、早期に発見するため）

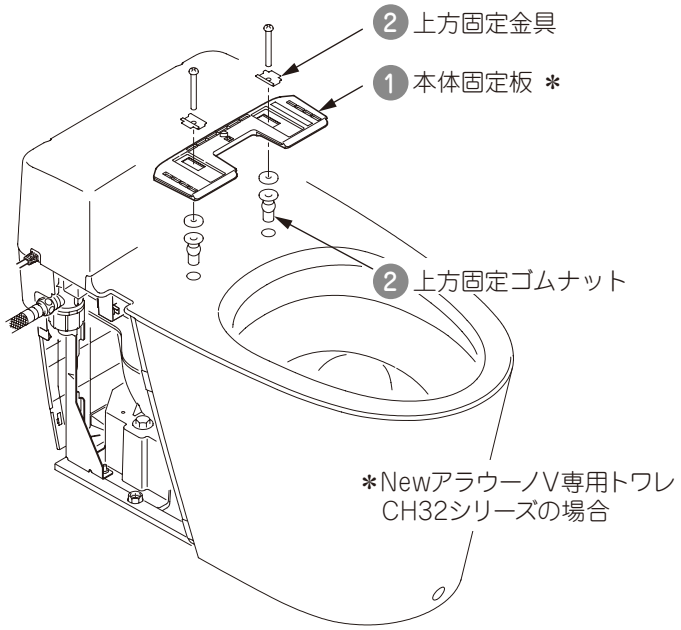
※2 右給水の場合は、長さ 50 cm の給水ホース（CH100R02）はご使用いただけません。

手 順 2

便座の取り付け

お 願 い

- **詳細はトワレ側の施工説明書をご確認ください。**
- **本体固定板はしっかり締め付けてください。**
  締め付けが弱いと本体ががたつく
  おそれがあります。



手 順 3

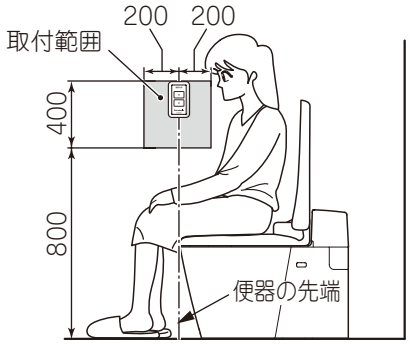
リモコンホルダーの取り付け（オプション）

1 リモコンホルダーの取り付け位置を確認する

取付位置の目安

- お客様と相談の上、便座に座った状態で
  使いやすい位置に取り付けてください。

（寸法単位: mm）



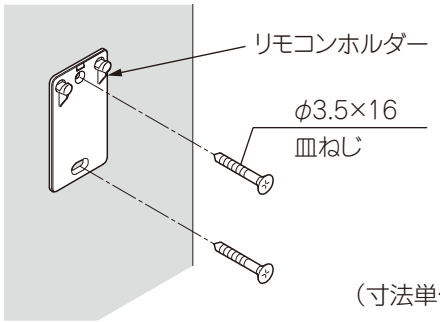
お 願 い

- お客様と十分ご相談のうえ、便座に座った状態で使いやすい位置に取り付けてください。（「取付位置の目安」参照）
- 取り付け前に必ずリモコンの信号が受信できることを確認してください。
- リモコンからの信号は、天井および壁からの反射光を便器に受光しますので、リモコンや便器受光部の上部に棚やカウンター・温水洗浄便座のリモコンなどを設置しないでください。
- 次のような場合に動作に影響するおそれがあります。
  【直射日光が本体受信部・リモコン発信部にあたっている場合】
  直射日光をカーテンなどで遮断してください。
  【壁紙や天井が黒色や濃い色の場合】
  リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。
  【同室で2台以上並べて設置される場合】
  隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。壁を天井までつなげてください。
  リモコン信号を変更できますので、お買い上げの販売店までお問い合わせください。（有料）

厚み5 mm以上の壁、柱などに取り付ける場合

2 リモコンホルダーを壁にあて、取付穴の目印をつける 2か所

3 リモコンホルダーを皿ねじ φ3.5×16 mm で取り付ける



（寸法単位: mm）

厚み5 mm未満の中空壁、タイル・コンクリートなどに取り付ける場合

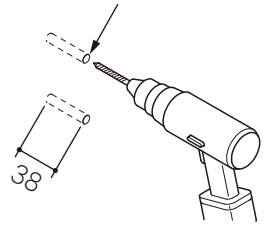
2 リモコンホルダーを壁にあて、取付穴の目印をつける 2か所

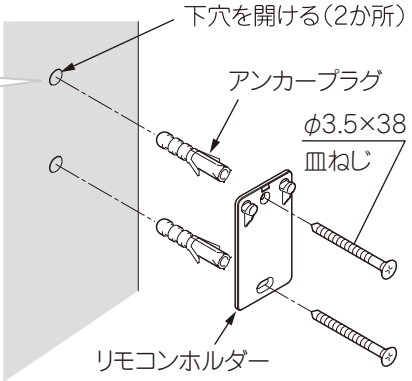
3 壁の種類別の取付方法でリモコンホルダーを取り付ける

（寸法単位: mm）

タイル・コンクリートなどの場合

φ5.5mm、深さ38mmの
下穴を開ける（2か所）





手 順 4

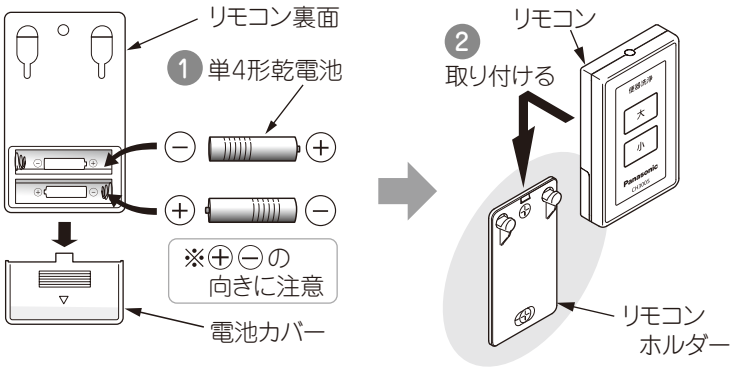
リモコンの取り付け（オプション）

1 単4形乾電池をリモコンに入れる
2 リモコンをリモコンホルダーに差し込む

⚠注意

必ず守る

● **電池の ⊕、⊖ を正しく入れる**
取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。



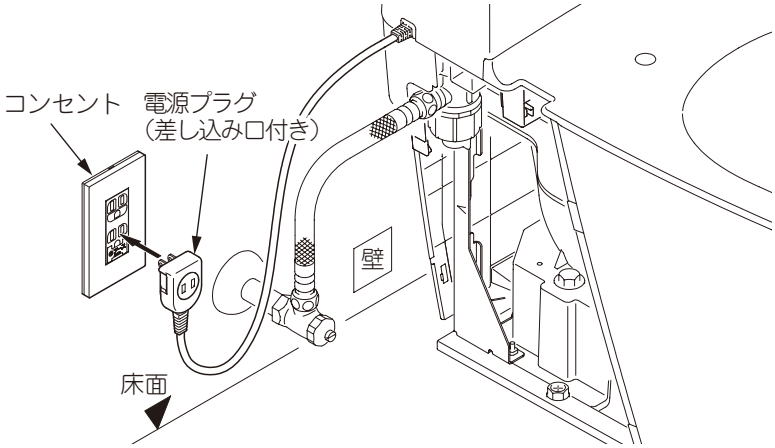
手 順 5

電源プラグの差し込み

1 水道の元栓を開ける
2 電源プラグ(差し込み口付き)をコンセントに差し込む

寒冷地仕様の場合

- 凍結のおそれがある場合は、凍結防止ヒーターの電源プラグもコンセントに差し込んでください。



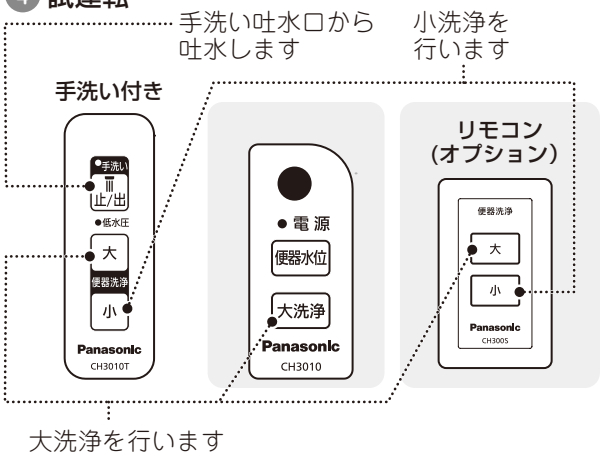
手 順 6

試運転と水漏れの確認

1. 止水栓を開く
2. 便器洗浄[大]ボタンを押し、通水する
3. 右図を参照し、止水栓および各部から水漏れがないことを確認する
4. 各操作ボタンを押し、動作を確認する

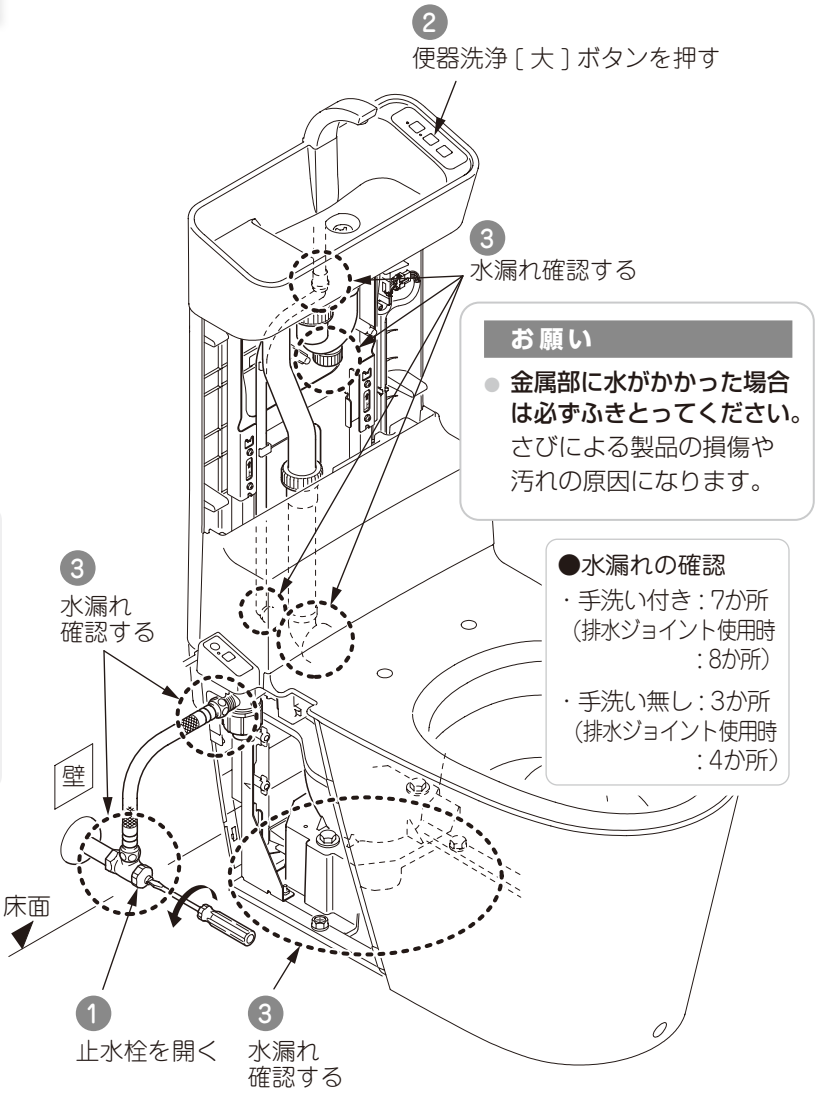
- **通水経路に空気が残っている場合、便器洗浄後に手洗い吐水口から水が出ることがありますが故障ではありません。何度か通水すると止まります。**

4 試運転



「手洗い付き」でボタンを押しても水が出ない場合

- 手洗いコネクタが接続されているか確認してください。44ページ参照



お願い

- **金属部に水がかかった場合は必ずふきとってください。**さびによる製品の損傷や汚れの原因になります。

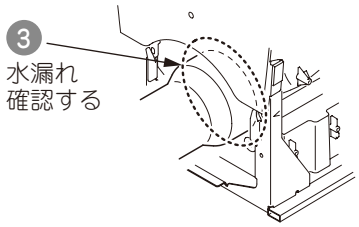
●水漏れの確認

・手洗い付き：7か所（排水ジョイント使用時：8か所）

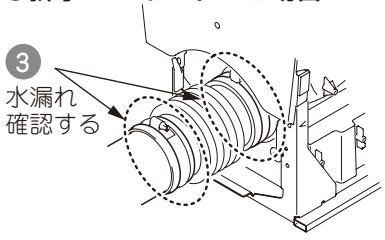
・手洗い無し：3か所（排水ジョイント使用時：4か所）

水漏れの確認（壁排水タイプ）

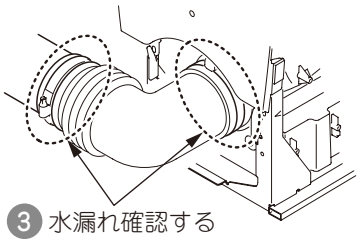
●後ろ抜きの場合



●排水ジョイントSの場合



●排水ジョイントLの場合



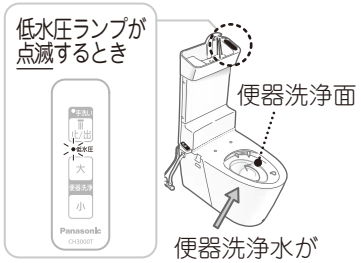
低水圧地域の場合

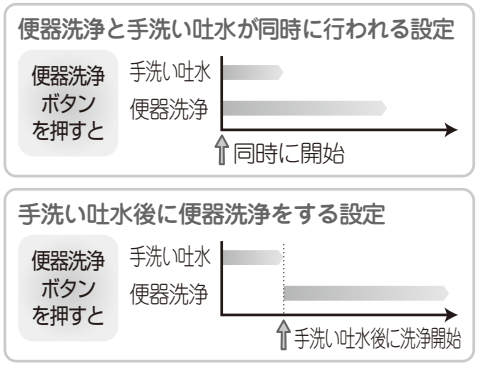
手洗い吐水と便器洗浄のタイミングの変更（手洗い付きの場合）

出荷時は「便器洗浄と手洗い吐水が同時に行われる設定」になっています。止水栓が全開になっていることをご確認のうえ、下記の場合は、「手洗い吐水後に便器洗浄をする設定」に変更してください。

- **便器洗浄水の勢いが弱く、便器洗浄水が1周回らないとき**
- **低水圧ランプが点滅するとき**

・設定しないと十分な洗浄水量が得られないため、便やトイレットペーパーが便器洗浄面に残ったり、排水管が詰まることがあります。
・設定を変更しても便器洗浄水が1周回らないときは水圧が不足しています。水圧をご確認ください。





1 [便器水位]ボタンを5秒以上押し続け、設定変更モードにする

- [便器水位]ボタンを押すと「ピ」と音がします。そのままボタンを5秒以上押し続けると、「ピピ」と音がして、電源ランプが点滅し、設定変更モードになります。

2 手順**1**の後、10秒以内に便器洗浄[小]ボタンを押す

- 「ピ」と音がして、低水圧ランプが点灯し、「手洗い吐水後に便器洗浄する設定」に変更されます。

10秒以上放置すると設定変更ができなくなります。その場合は、便器洗浄ボタンを押して一度便器洗浄をした後、再び手順1からやり直してください。便器洗浄をしないと設定変更ができません。
リモコン(オプション)の[小]ボタンでは設定できません。

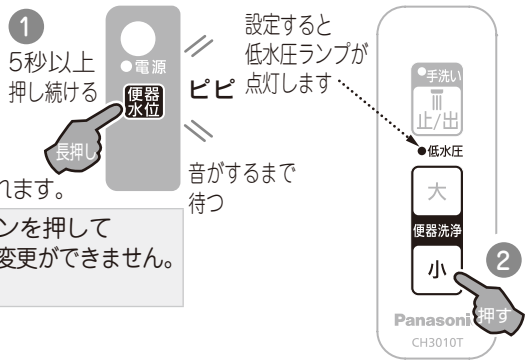
3 設定を変更後、約10秒待つ、または[便器水位]ボタンを押す

- 「ピー」と音がして、電源ランプが点灯に変わり、通常動作に戻ります。

通常動作に戻らないと便器洗浄および手洗い吐水ができません。また便器水位を下げることができません。

4 元に戻したい場合は、再び **1** ～ **3** と同じ手順を行う

- 「ピー」と音がして、「便器洗浄と手洗い吐水が同時に行われる設定」に変更され、低水圧ランプが消灯します。



手順 7

便器洗浄水量の調節（市町村指定の場合）

お願い

- **一部の地域では、使用条件が決められています。各行政機関の指示に従って設定してください。**

■モード一覧表（流動時:0.2MPaの時）

モード	大洗浄	小洗浄
標準モード(出荷時)	4.6L	3L
増量モード1	5.7L	3L
増量モード2	8L	3L

1 電源プラグをコンセントから抜いて、10秒以上待つ

2 [便器水位]ボタンを押しながら電源プラグをコンセントに差し込み、「ピピ」と音がするまでボタンを押し続ける

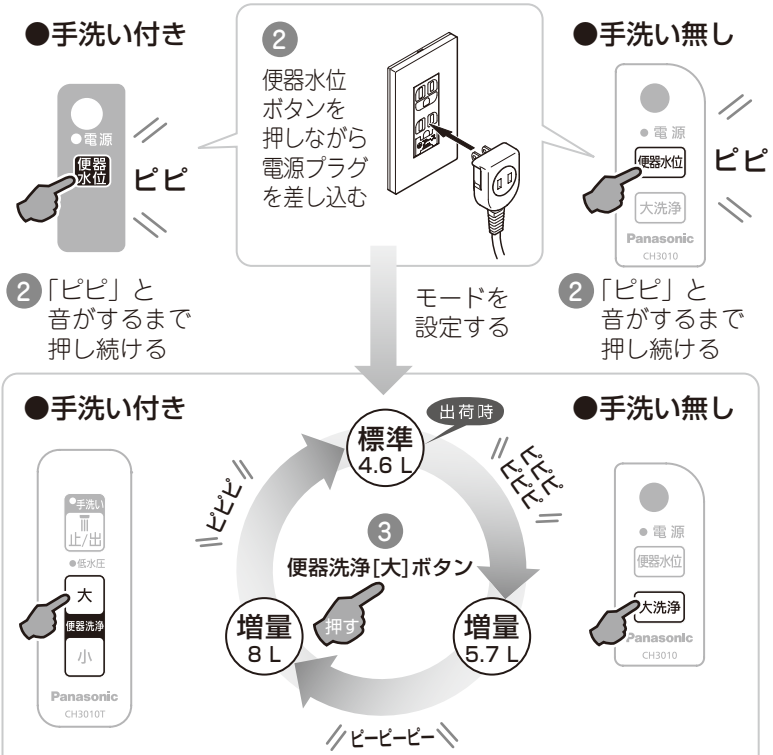
3 手順**2**の後、10秒以内に便器洗浄[大]ボタンを押して、洗浄水量を設定する

10秒以上放置すると設定変更ができなくなります。
再びはじめからやり直してください。

4 設定を変更後、約10秒間待つ

- 通常動作に戻ります。

通常動作に戻ります。通常動作に戻らないと便器洗浄および手洗い吐水ができません。
また便器水位を下げることができません。



水栓数の変更（手洗い付きの場合）

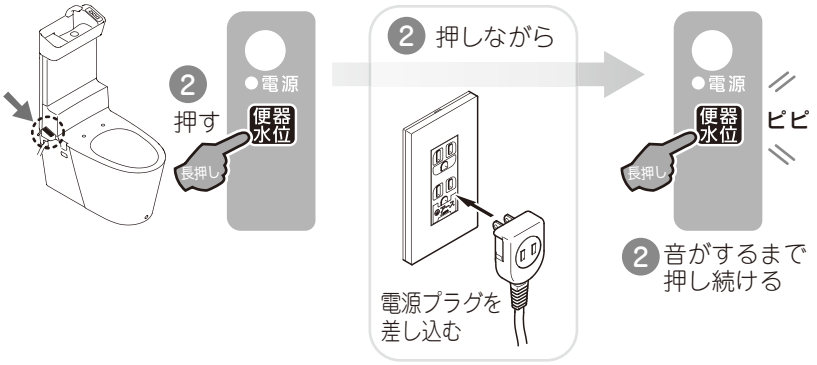
・水道料金の算出にあたり、水栓数の変更が有効となる場合に設定してください。
一部の市町村において、本製品の水栓数のカウントは2栓となりますが、下記の設定により、1栓とカウントされる場合があります。

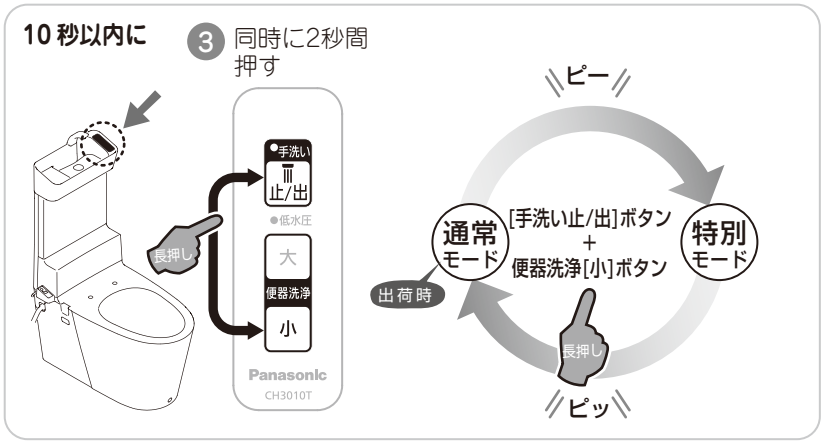
この設定変更により、手洗い操作部の［手洗い止/出］ボタンが無効となります。必ずご使用されるお客様にご説明ください。

1. 電源プラグをコンセントから抜き10秒以上待つ
2. 便器操作部の[便器水位]ボタンを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込み、設定変更モードにする
   - [便器水位]ボタンを押し続けると「ピピ」と音がして設定変更モードになります。
3. 手順2の後、10秒以内に手洗い操作部の[手洗い止/出]ボタン+便器洗浄[小]ボタンを同時に2秒間押す

   10秒以上放置すると設定変更ができなくなります。その場合は、再び手順1からやり直してください。
   リモコン(オプション)の[小]ボタンでは設定できません。
4. 設定を変更後、約10秒待つ
   - 「ピー」と音がして、電源ランプが点灯に変わり、通常動作に戻ります。

   通常動作に戻らないと便器洗浄および手洗い吐水ができません。また便器水位を下げることができません。





手 順 8

ストレーナの掃除

1. 止水栓を閉じ、便器洗浄[大]ボタンを押す
2. 水受けをストレーナの下に置く

お願い
- **必ず水受けを置いてください。**
  ストレーナの取り外しのときに、約50 cc～100 cc程度の水がで出ますので、ストレーナを締めるまで水受けをご用意ください。
- **便器や床に水がかかった場合は必ずふきとってください。**

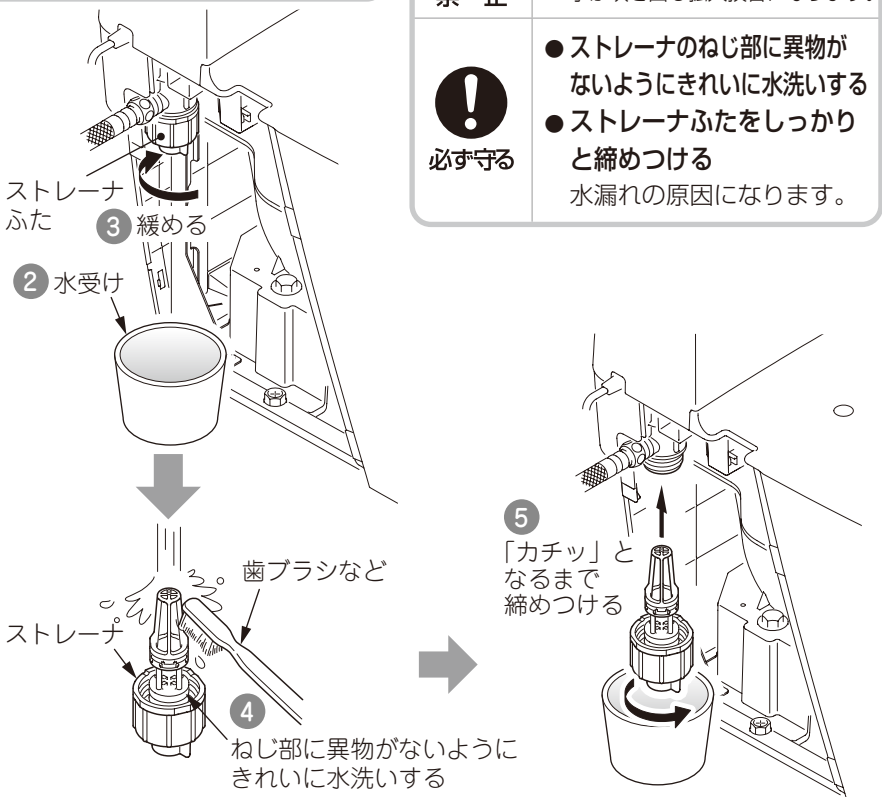
3. ストレーナふたを緩めストレーナを取り外す

お願い
- **ストレーナの取り外しの際に、指をはさまないように注意してください。**

4. ブラシなどを使い、ストレーナをきれいに水洗いする
5. ストレーナを元通りに取り付ける
   (ストレーナふたを「カチッ」となるまで締めつけてください。)
6. 止水栓を開け、水漏れがないことを確認する

お願い
- **施工後、長期間使用しない場合は、水抜きを行ってください。** 52ページ参照

お願い
- **必ずストレーナを掃除してください。**
  施工直後は、ストレーナに配管内の水アカやゴミ、シールテープなどが詰まります。



⚠注意

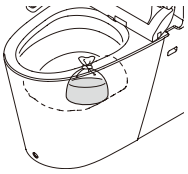
禁 止	**●止水栓を開いたままストレーナを外さない** 水が吹き出し拡大損害になります。
必ず守る	**●ストレーナのねじ部に異物がないようにきれいに水洗いする** **●ストレーナふたをしっかりと締めつける** 水漏れの原因になります。

施工後に、長期間使用しない場合（施工後、直ちに使用しない場合など）

便器内部の水抜き

お願い

- **長期間使用しないときは、便器内部の水を抜き、電源プラグとリモコンの電池を抜いてください。**
  便器洗浄面のため水は抜かないでください。
- **ため水が蒸発し、排水管から腐食性のガスが流入して金属、電気部品にさびが発生するおそれがあります。ため水を足すか、ビニール袋に水を入れて排水口をふさいでください。（取扱説明書参照）**



- **ストレーナの取り外しの際に、指をはさまないように注意してください。**
- **必ず水受けを置いてください。**
  ストレーナの取り外しのときに、約50 cc ～ 100 cc程度の水が出ますので、ストレーナを締めるまで水受けをご用意ください。

手洗い付きの場合

1. 止水栓を閉じる
2. 便器洗浄[大]ボタンを押す（「ピピピ・ピピピ」の後に「ピー」と音がするまで待つ）
3. 水受けをストレーナの下に置く
4. ストレーナふたを緩め、ストレーナを取り外す
5. [手洗い止/出]ボタンを5秒以上押し続ける（再び、手洗い給水ホース内の残圧 を抜く）
6. 「ピピ」と音がするまで待つ（手洗いランプが点滅する）
7. 10分以上待って、手洗いランプが点滅しなくなることを確認する
8. ストレーナを元通りに取り付ける（ストレーナふたを「カチッ」となるまで締めつけてください。）

手洗い無しの場合

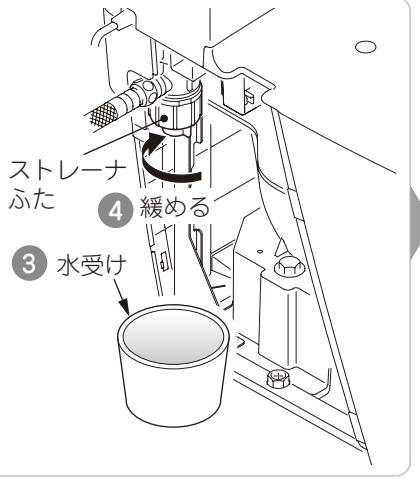
1. 止水栓を閉じる
2. 大洗浄ボタンを押す（「ピピピ・ピピピ」の後に「ピー」と音がするまで待つ）
3. 水受けをストレーナの下に置く
4. ストレーナふたを緩め、ストレーナを取り外す
5. ストレーナを元通りに取り付ける（ストレーナふたを「カチッ」となるまで締めつけてください。）

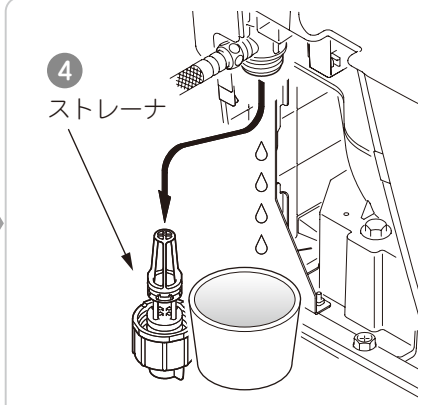
⚠注意

禁止	必ず守る
●止水栓を開いたままストレーナを外さない 水が噴き出し拡大損害になります。	●ストレーナふたをしっかりと締めつける 水漏れの原因になります。



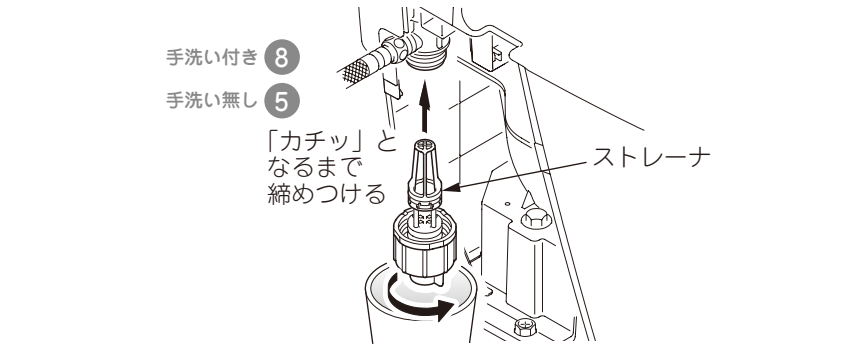
※「ピピピ・ピピピ」のあとに「ピー」と音がします。





水（約 50 cc ～ 100 cc）を受ける





手 順 9

シーリング方法
(CH3010WSG(7)・
CH3010WSTG(7)の場合)

シーリング材が乾いてから、
サイドカバーの取り付け(下記参照)を
行ってください。

現場手配…シーリング材

1 フレームと床面のすき間、および便器と床面のすき間をシーリング処理する

お願い
- サイドカバーは必ず取り外してください。



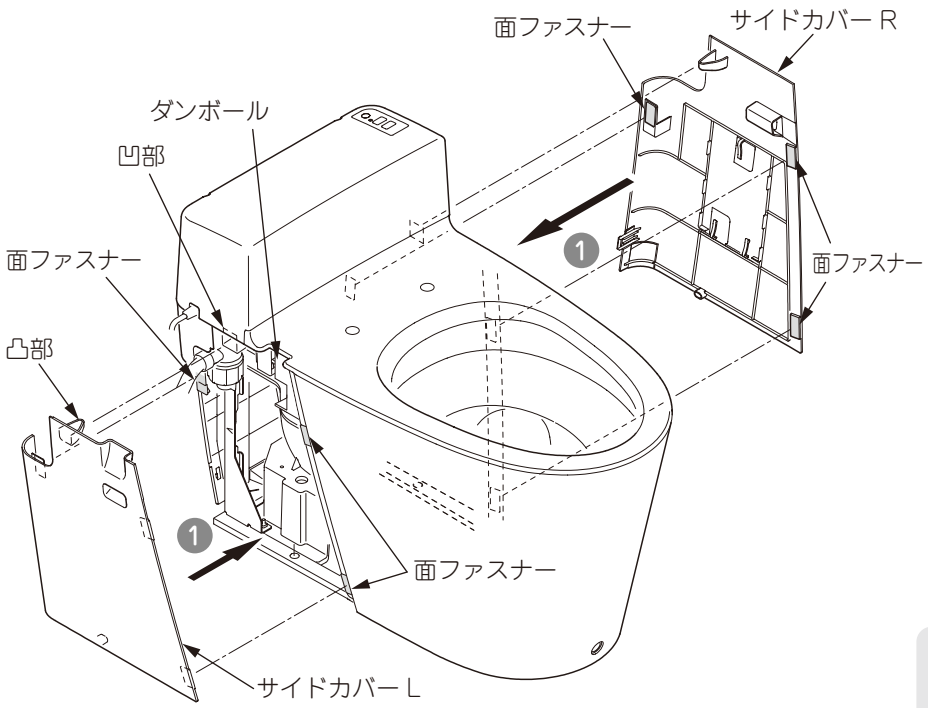
手順10

サイドカバーの取り付け

1 ダンボールを外す
2 サイドカバー上部の凸部とフレームの凹部を合わせ、面ファスナー 3か所 を貼りあわせる

お願い
- **サイドカバーとリアカバーのすき間が大きく開いた場合は、つまみ付ボルトの取り付け方をご参照ください。(手洗い付きの場合)** 43ページ参照

ポイント
- 床仕上材によって便器が沈み込む場合は、スペーサーを入れてください。サイドカバーが取り付けしづらい事があります。



手順11

配管カバーの取り付け
（手洗い付きの場合）

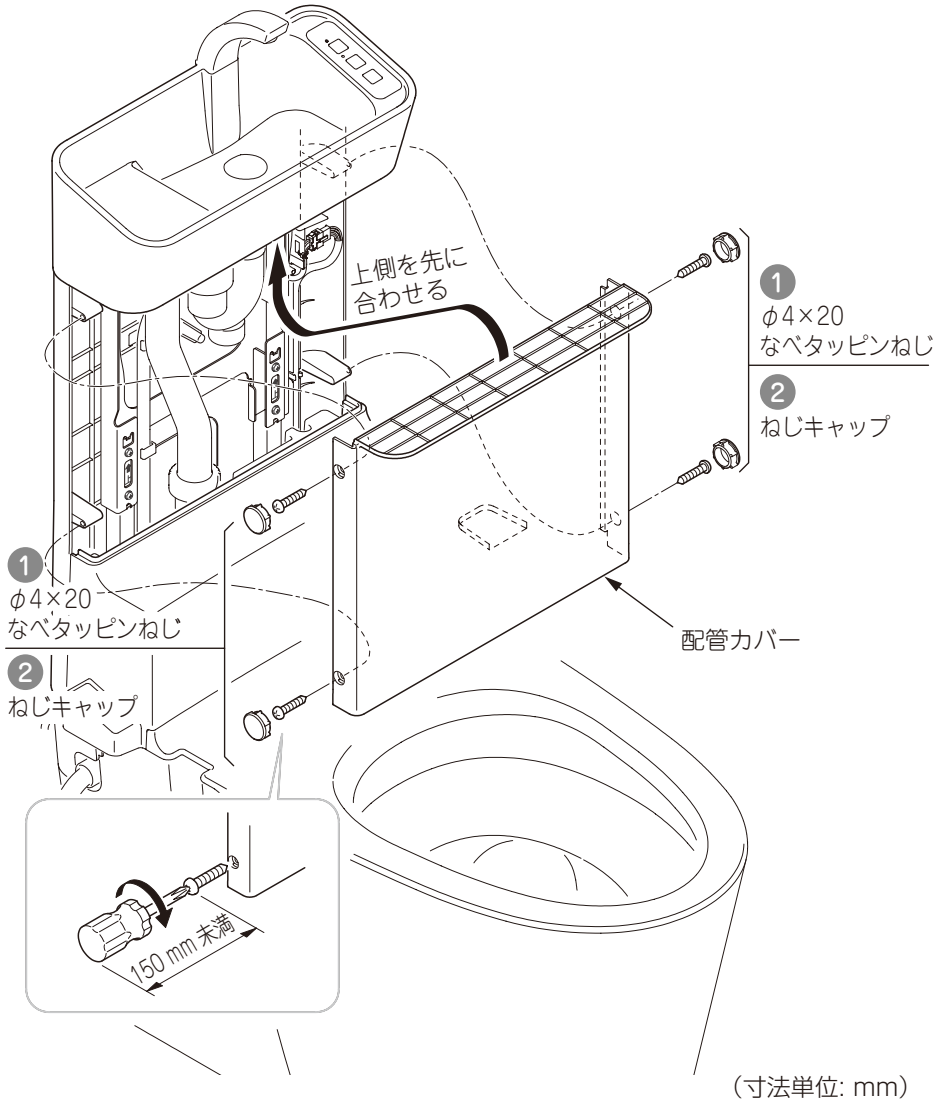
1. 配管カバーを手洗いになべタッピンねじ φ4×20 mmで取り付ける 4か所
2. ねじキャップを配管カバーにはめ込む 4か所

お願い

- **ねじキャップに浮きがないことを確認してください。**
  ねじが確実に締まっていないと
  ねじキャップに浮きがでることがあります。

お願い

- **取り付けには電動ドリルドライバーを使用しないでください。**
  強いトルクで締めつけると破損の原因になります。



（寸法単位: mm）

MEMO

▶施工完了チェックリスト

▶施工後必ず動作確認を行い、この施工完了チェックリストに施工点検結果を記入の上、お客様へお渡しください。

No.	内容	結果
1	浴室内など、湿気の多い場所に設置していませんか？	
2	中水道や工業用水、井戸水に接続していませんか？	
3	便器にがたつきがありませんか？	
4	便器は床に固定しましたか？	
5	「止水栓」は開いていますか？（長期間使用しない場合を除く）	
6	交流100Vに適した電源コンセントに接続していますか？	
7	電源コンセントに、がたつき・緩みはありませんか？	
8	サイドカバーは確実に取り付けてありますか？	
9	手洗いコネクタは確実に接続されていますか？	
10	洗浄ボタンを操作し、次項を確認してください。	
	●大洗浄でトイレットペーパーが確実に流れますか？	
	●洗浄水は、一周まわっていますか？一周まわらない場合は、 ①水圧を確認してください。 ②ストレーナを掃除してください。	
	●便器と床面に水漏れはありませんか？	
	●配管部の水漏れはありませんか？ （事前に配管をふき、トイレットペーパーを当て、水漏れがないことを確認してください。）	
11	ストレーナは掃除しましたか？	
12	長期間使用しない場合、水抜きを行いましたか？ （この場合、便器ボール面の水の補給が必要です。）	
13	長期間使用しない場合、ため水を足すか、ビニール袋に水を入れて排水口をふさぐようお客様にお伝えください。	

▶引き渡し

▶取扱説明書に従って取扱方法をお施主様にご説明ください。
▶施工説明書、取扱説明書、保証書(別添付)に必要事項を記入し、お客様にお渡しください。
※CH3010＊Gの場合、保証書は取扱説明書付きです。

施工日	施工店名	担当者

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
水廻りシステム事業部
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Housing Solutions Co.,Ltd. 2019-2024
SEMS130
2024年8月発行　Dx0919-6084